

平成 20 年度  
市民意識調査報告書

平成 21 年 3 月  
つくば市



# 目 次

序 調査目的	1
1 アンケート調査の実施概要	2
(1) 調査方法	2
(2) 実施期間	2
(3) 調査対象	2
(4) 回収数及び回収率	2
(5) アンケート票の内容	2
2 調査結果	3
2-1 回答者の属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢構成	3
(3) 居住地	4
2-2 住まいの環境や市政運営全般について	5
問1 住み良さに関する変化	5
問2 居住継続希望の有無	7
問3 市政情報の伝わり方に関する評価	9
問4 市政情報の入手手段	10
問5-1 つくば市の「優れている点」	11
問5-2 つくば市の「劣っている点」	13
問6 市政全般で重視すべき施策	15
問7 行財政改革において重視すべき事項	17
問8 市職員の仕事への取組み方	18
問9 医療供給体制への評価	19
問10 市立病院の受診経験の有無	20
問11 負担と給付の関係に関する考え	21
2-3 主要施策に関する回答結果	22
問12 少子・高齢化対策における重要施策	22
問13 環境・地球温暖化対策における重要施策	23
問14 安心・安全なまちづくりにおける重要施策	24

<b>2-4</b>	<b>総合計画における個別のまちづくり施策に関する回答結果</b>	<b>25</b>
問 15	自然と都市が調和した快適で住み良いまちづくり (土地利用と都市基盤整備)	25
問 16	つくばエクスプレスをいかした活力のあるまちづくり (交通網整備と都市開発)	31
問 17	環境に優しく人と文化がふれあうまちづくり (市民活動・国際交流・文化活動・環境共生)	37
問 18	災害や犯罪に強い安全なまちづくり (防犯・防災・交通安全・消費者保護)	43
問 19	互いに助け合う心安らぐまちづくり (福祉・健康・医療・社会保障)	49
問 20	安定した暮らしを支える生き生きとしたまちづくり (産業と観光振興・勤労者福祉)	55
問 21	健やかな人を育む教育・スポーツのまちづくり (教育・青少年育成・生涯学習・文化振興)	61
問 22	効率的・効果的で健全な都市経営 (行財政改革・電子市役所の構築・地方分権への対応・ 情報の共有と市民参加)	67
<b>2-5</b>	<b>記述式回答の結果</b>	<b>73</b>
I	つくば市の「良いところ」	74
II	つくば市の「悪いところ」	78
III	自由意見	82
<b>参考資料</b>	<b>アンケート票</b>	<b>86</b>

## 序 調査目的

本調査は、市民の行政サービスに関する意識や意見を把握するためにアンケート調査を実施し、その結果を整理することで、今後の市政運営と施策実施の基礎資料として活用することを目的として実施した。

また、本調査の結果は、総合計画後期基本計画の策定に活用する。

# 1 アンケート調査の実施概要

## (1) 調査方法

郵送配布・郵送回収によるアンケート調査とした。

## (2) 実施期間

平成 21 年（2009 年）3 月 6 日（金）にアンケート票を発送し，3 月 22 日（日）を返送の締め切り日とした。

## (3) 調査対象

住民基本台帳に記載された 20 歳以上の男女 5,000 人を無作為に抽出した。

## (4) 回収数及び回収率

回収数 2,707 票

回収率 54.1%

## (5) アンケート票の内容

「住まいの環境や市政運営全般」「主要施策」「総合計画に基づくまちづくり施策（8 分野）」について，合計 22 の設問としたほか，市の「良いところ」「悪いところ」「自由意見」について，記述式の問とした。

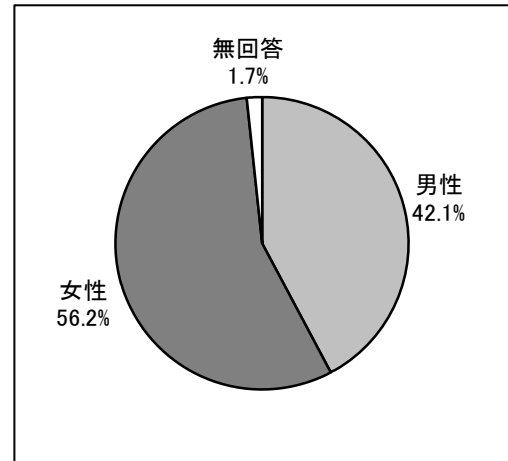
## 2 調査結果

### 2-1 回答者の属性

#### (1) 性別 (問 23)

回答者の性別は、「女性」が56.2%、「男性」が42.1%であった。

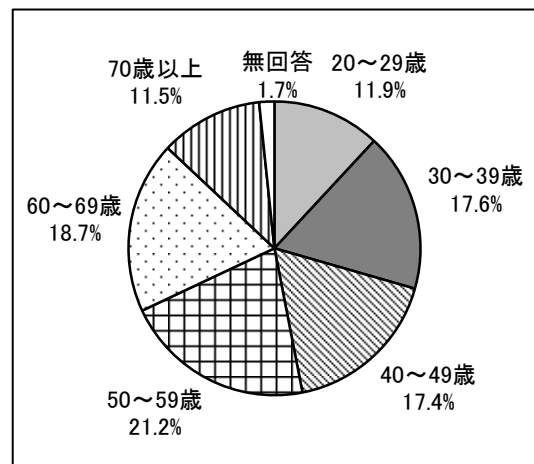
類型	回答数 (人)	構成比 (%)
男性	1,140	42.1%
女性	1,522	56.2%
無回答	45	1.7%
合計	2,707	100.0%



#### (2) 年齢構成 (問 24)

回答者の年齢構成は、「50～59 歳」が 21.2%で最も高く、「60～69 歳」(18.7%)、「30～39 歳」(17.6%)が続いている。比較的、年齢面での偏りは少ない。

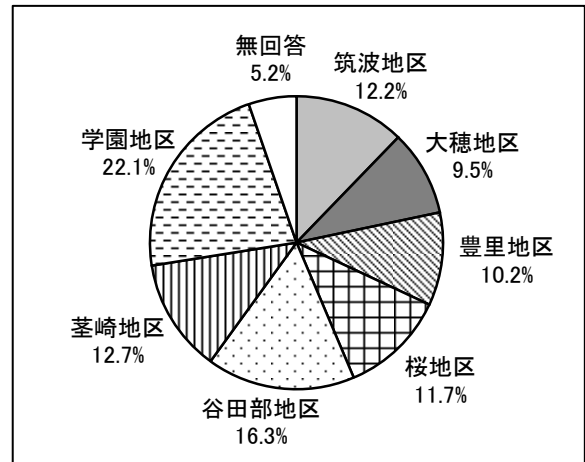
類型	回答数 (人)	構成比 (%)
20～29 歳	323	11.9%
30～39 歳	476	17.6%
40～49 歳	471	17.4%
50～59 歳	574	21.2%
60～69 歳	507	18.7%
70 歳以上	311	11.5%
無回答	45	1.7%
合計	2,707	100.0%



### (3) 居住地（問 25）

回答者の居住地は、人口の多い「学園地区」が 22.1%で最も高く、「谷田部地区」（16.3%）、「荃崎地区」（12.7%）が続いている。

類型	回答数（人）	構成比（%）
筑波地区	331	12.2%
大穂地区	256	9.5%
豊里地区	277	10.2%
桜地区	318	11.7%
谷田部地区	440	16.3%
荃崎地区	344	12.7%
学園地区	599	22.1%
無回答	142	5.2%
合計	2,707	100.0%



\*注：数表，グラフの%数字は小数点第2位を四捨五入のため，合計は100%にならない。



## 2-2 住まいの環境や市政運営全般について

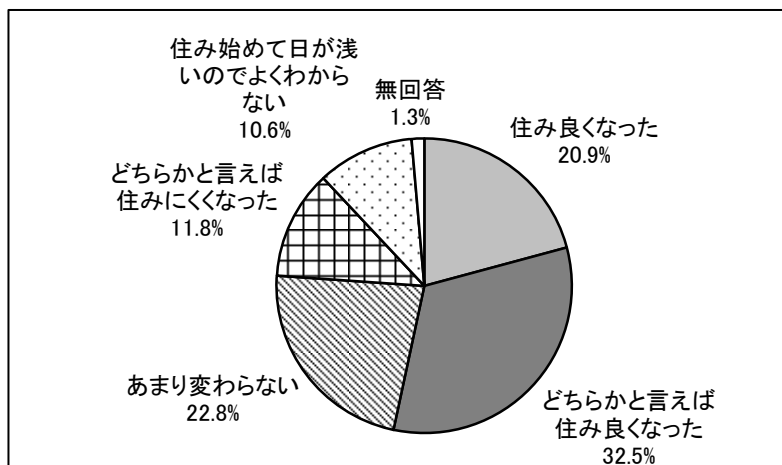
### 問1 住み良さに関する変化

「住み良くなった」と「どちらかと言えば住みよくなった」を合わせると53.4%となり、半数以上の方が以前（10年位前）と比べて住み良くなったと答えている。

また、住みよくなった理由については、「TXの開通で便利になった」「商業施設が充実してきた」「つくバスなど公共交通が充実してきた」などの意見が多い。

類型	回答数（人）	構成比（%）	
住み良くなった	565	20.9%	53.4%
どちらかと言えば住み良くなった	881	32.5%	
あまり変わらない	617	22.8%	
どちらかと言えば住みにくくなった	320	11.8%	
住み始めて日が浅いのでよくわからない	288	10.6%	
無回答	36	1.3%	
合計	2,707	100.0%	

\*注：数表，グラフの%数字は小数点第2位を四捨五入のため，合計は100%にならない。



理由

住みよくなった		意見数	選択割合
1	TXの開通で便利になった	96	17.0%
2	商業施設が充実してきた	60	10.6%
3	つくバスなど公共交通が充実してきた	26	4.6%
4	道路整備や都市施設等の整備水準が高い	14	2.5%
5	ごみ収集、見やすい広報紙など行政水準が高い	3	0.5%
6	その他	13	2.3%

選択割合は「住みよくなった」と回答した人数(565人)に対する割合

どちらかと言えば住みよくなった		意見数	回答割合
1	TXの開通で便利になった	94	10.7%
2	商業施設が充実してきた	61	6.9%
3	道路や上下水道など都市施設等の整備水準が高い	28	3.2%
4	つくバスなど公共交通が充実してきた	21	2.4%
5	医療機関が充実している	3	0.3%
6	行政水準が上がってきた	2	0.2%
7	その他	33	3.7%

選択割合は「どちらかと言えば住みよくなった」と回答した人数(881人)に対する割合

どちらかと言えば住みにくくなった		回答人数	選択割合
1	交通量の増加, 交通マナーの低下, 交通事故の心配など交通環境が悪化している	38	11.9%
2	税金などの公共料金が上がった	31	9.7%
3	地域格差がある, 又は, 地域格差が拡大している	22	6.9%
4	行政サービスが低下した	15	4.7%
5	自然環境が悪化している	13	4.1%
6	新旧住民間の争いなど関係がうまくいかない	13	4.1%
7	公共交通網の整備が不十分	10	3.1%
8	治安が悪化してきた	8	2.5%
9	合併して不便になった。交流が少なくなった。行政との距離が遠くなった	6	1.9%
10	高層マンション等が増え景観などが悪化してきた	6	1.9%
11	その他	35	10.9%

選択割合は「どちらかと言えば住みにくくなった」と回答した人数(320人)に対する割合

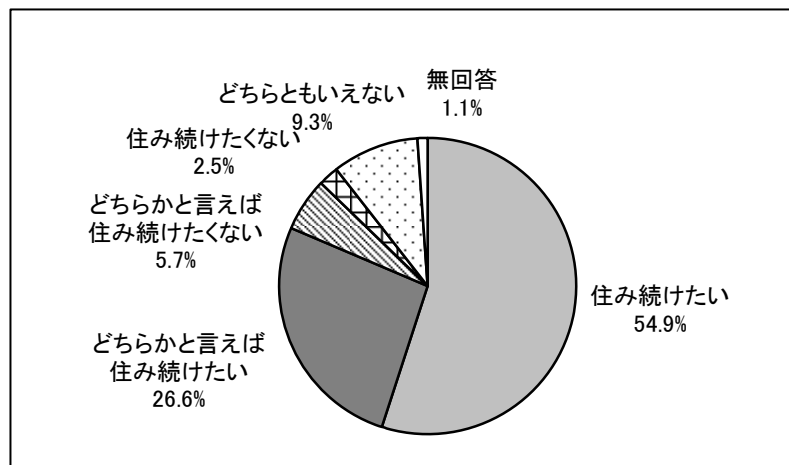
## 問2 居住継続希望の有無

「住み続けたい」という回答が過半数（54.9%）に達しており、「どちらかと言えば住み続けたい」（26.6%）と合わせると、80%を超えている。市民の居住継続の意向は高いといえる。

また、住み続けたい理由については、「生まれた所又は長年住んでいるから」「持ち家がある」「自然環境に恵まれている」などの意見が比較的多い。

類型	回答数（人）	構成比（%）	
住み続けたい	1,486	54.9%	81.5%
どちらかと言えば住み続けたい	719	26.6%	
どちらかと言えば住み続けたくない	153	5.7%	8.2%
住み続けたくない	67	2.5%	
どちらともいえない	252	9.3%	
無回答	30	1.1%	
合計	2,707	100.0%	

\*注：数表，グラフの%数字は小数点第2位を四捨五入のため，合計は100%にならない。



## 理由

住み続けたい		意見数	選択割合
1	生まれた所又は長年住んでいるから	65	4.4%
2	持ち家がある	57	3.8%
3	自然環境に恵まれている	52	3.5%
4	病院の便や買い物の便などが良い	20	1.3%
5	TXやバス交通など利便性が高い	15	1.0%
6	公園や都市環境が整備されている。景観が良い	10	0.7%
7	都会と田舎が調和している	10	0.7%
8	将来の発展性が期待できる	8	0.5%
9	教育水準が高い	7	0.5%
10	子育て環境が良い	6	0.4%
11	その他	52	3.5%

選択割合は「住み続けたい」と回答した人数(1,486人)に対する割合

どちらかと言えば住み続けたい		意見数	選択割合
1	生まれた所又は長年住んでいるから	14	1.9%
2	持ち家がある	9	1.3%
3	自然環境に恵まれている	8	1.1%
4	病院の便や買い物の便などが良い	5	0.7%
5	公園や都市環境が整備されている。景観が良い	4	0.6%
6	TXやバス交通など利便性が高い	4	0.6%
7	教育水準が高い	4	0.6%
8	子育て環境が良い	4	0.6%
9	将来の発展性が期待できる	3	0.4%
10	その他	50	7.0%

選択割合は「どちらかと言えば住み続けたい」と回答した人数(719人)に対する割合

どちらかと言えば住み続けたくない		意見数	選択割合
1	交通が不便	16	10.5%
2	ほかに住みたい所がある	10	6.5%
3	税金や交通費等が高い	6	3.9%
4	生活するのに不便	4	2.6%
5	周辺部が開発されない	3	2.0%
6	運転マナーの悪さや自動車が速くて危険	2	1.3%
7	その他	24	15.7%

選択割合は「どちらかと言えば住み続けたくない」と回答した人数(153人)に対する割合

住み続けたくない		意見数	選択割合
1	交通が不便	10	14.9%
2	税金や交通費等が高い	6	9.0%
3	ほかに住みたい所がある	3	4.5%
5	周辺部が開発されない。地域格差がある	2	3.0%
6	運転マナーの悪さや自動車が速くて危険	2	3.0%
7	その他	11	16.4%

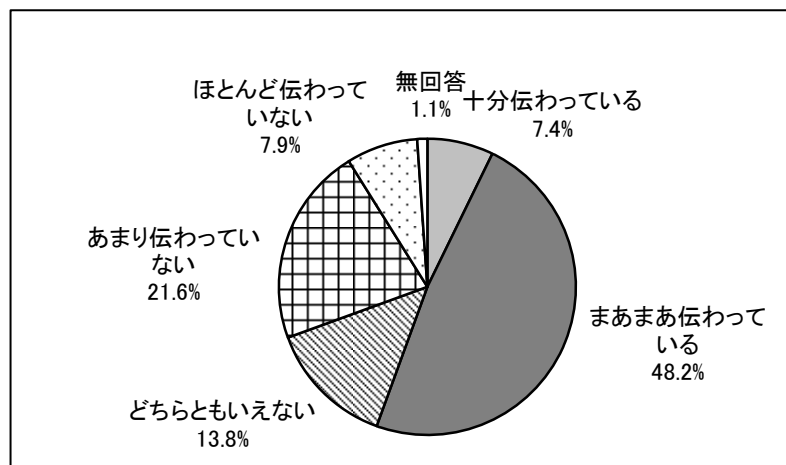
選択割合は「住み続けたくない」と回答した人数(67人)に対する割合

### 問3 市政情報の伝わり方に関する評価

市政情報が「十分伝わっている」と「まあまあ伝わっている」を合わせると 55.6%となり、半数以上の方が市の情報は伝わっていると答えている。

一方、「あまり伝わっていない」と「ほとんど伝わっていない」を合わせた回答が 29.5%と3割近い回答となっていることから、情報提供のための取組みを強化する必要があるといえる。

類型	回答数（人）	構成比（%）	
十分伝わっている	199	7.4%	55.6%
まあまあ伝わっている	1,305	48.2%	
どちらともいえない	374	13.8%	29.5%
あまり伝わっていない	586	21.6%	
ほとんど伝わっていない	213	7.9%	
無回答	30	1.1%	
合計	2,707	100.0%	



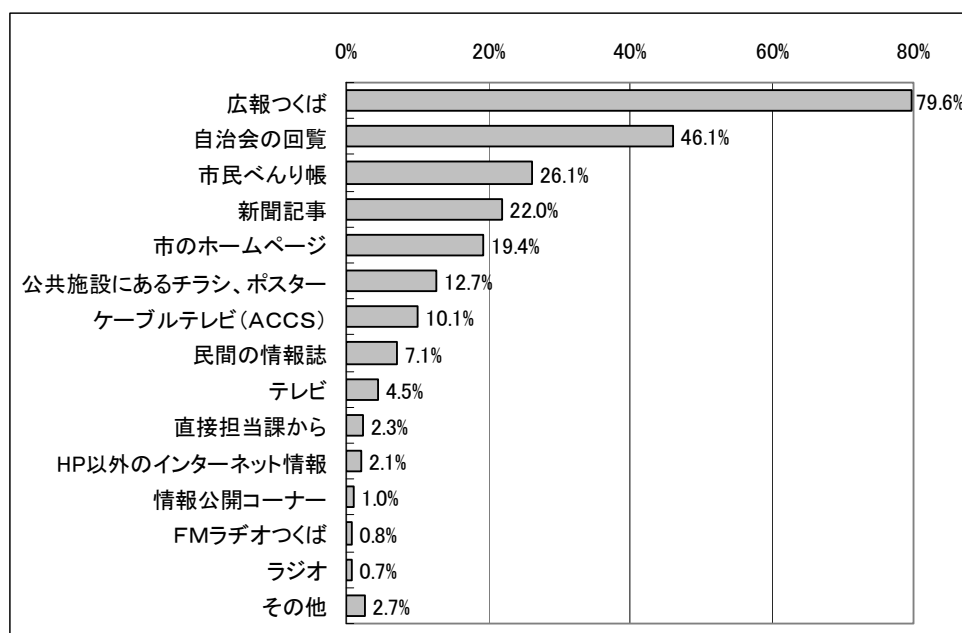
#### 問4 市政情報の入手手段

市政情報の入手手段としては、「広報つくば」を選択した回答が 79.6% と最も高く、以下、「自治会の回覧」(46.1%)、「市民べんり帳」(26.1%)、「新聞記事」(22.0%)などの順になっており、主に紙媒体が利用されていることがうかがえる。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
広報つくば	2,156	79.6%
自治会の回覧	1,248	46.1%
市民べんり帳	707	26.1%
新聞記事	596	22.0%
市のホームページ	524	19.4%
公共施設にあるチラシ、ポスター	344	12.7%
ケーブルテレビ(ACCS)	273	10.1%
民間の情報誌	191	7.1%
テレビ	121	4.5%
直接担当課から	63	2.3%
HP以外のインターネット情報	56	2.1%
情報公開コーナー	27	1.0%
FMラヂオつくば	21	0.8%
ラヂオ	18	0.7%
その他	72	2.7%
合計	6,417	—

\*注1：複数回答可能(いくつでも)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



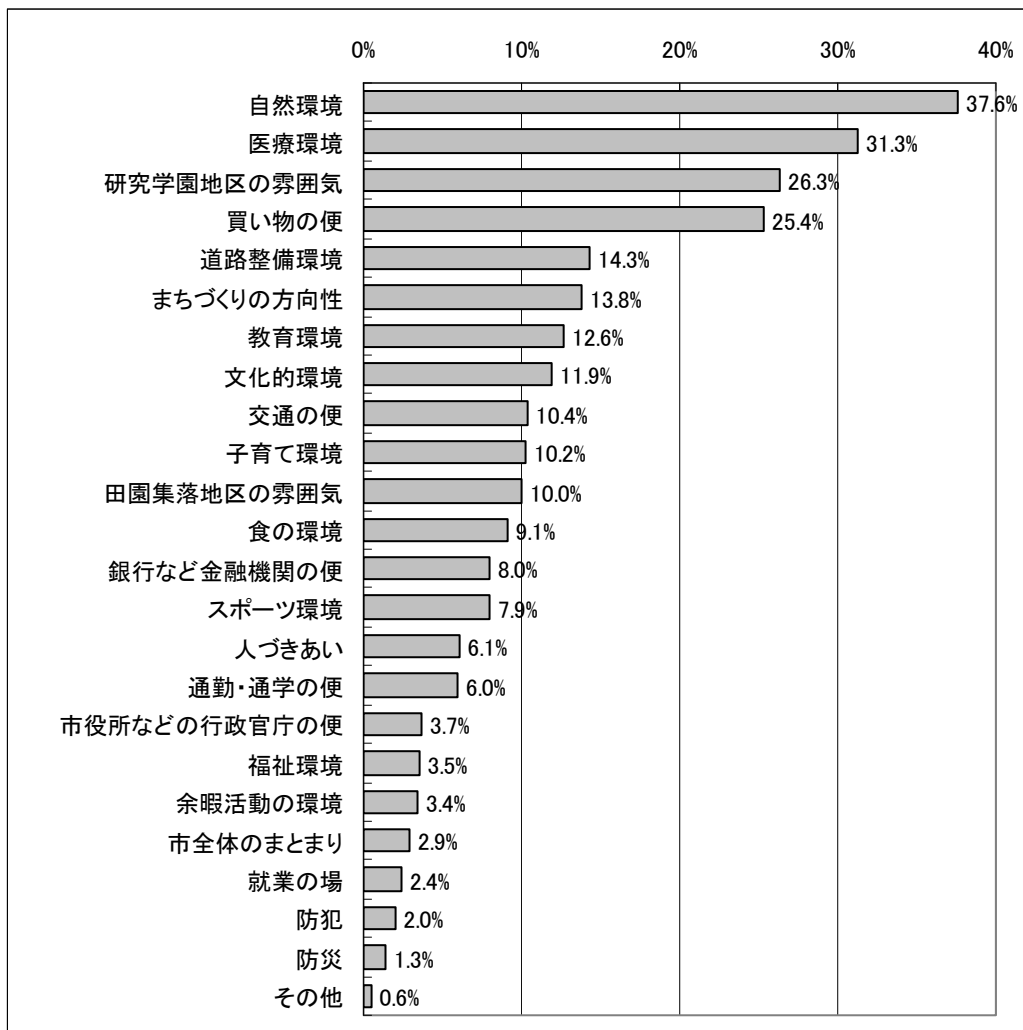
### 問5-1 つくば市の「優れている点」

つくば市の「優れている点」については、「自然環境」と回答した割合が37.6%と最も高く、以下、「医療環境」(31.3%)、「研究学園地区の雰囲気」(26.3%)、「買い物の便」(25.4%)が続いている。これら、つくばの優位性ともいえる資源を、有効に活用していくことが求められる。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
自然環境	1,017	37.6%
医療環境	848	31.3%
研究学園地区の雰囲気	713	26.3%
買い物の便	687	25.4%
道路整備環境	388	14.3%
まちづくりの方向性	373	13.8%
教育環境	341	12.6%
文化的環境	322	11.9%
交通の便	281	10.4%
子育て環境	277	10.2%
田園集落地区の雰囲気	270	10.0%
食の環境	246	9.1%
銀行など金融機関の便	216	8.0%
スポーツ環境	215	7.9%
人づきあい	166	6.1%
通勤・通学の便	162	6.0%
市役所などの行政官庁の便	99	3.7%
福祉環境	96	3.5%
余暇活動の環境	91	3.4%
市全体のまとめり	78	2.9%
就業の場	65	2.4%
防犯	54	2.0%
防災	36	1.3%
その他	15	0.6%
合計	7,056	—

\*注1：複数回答可能(3項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。





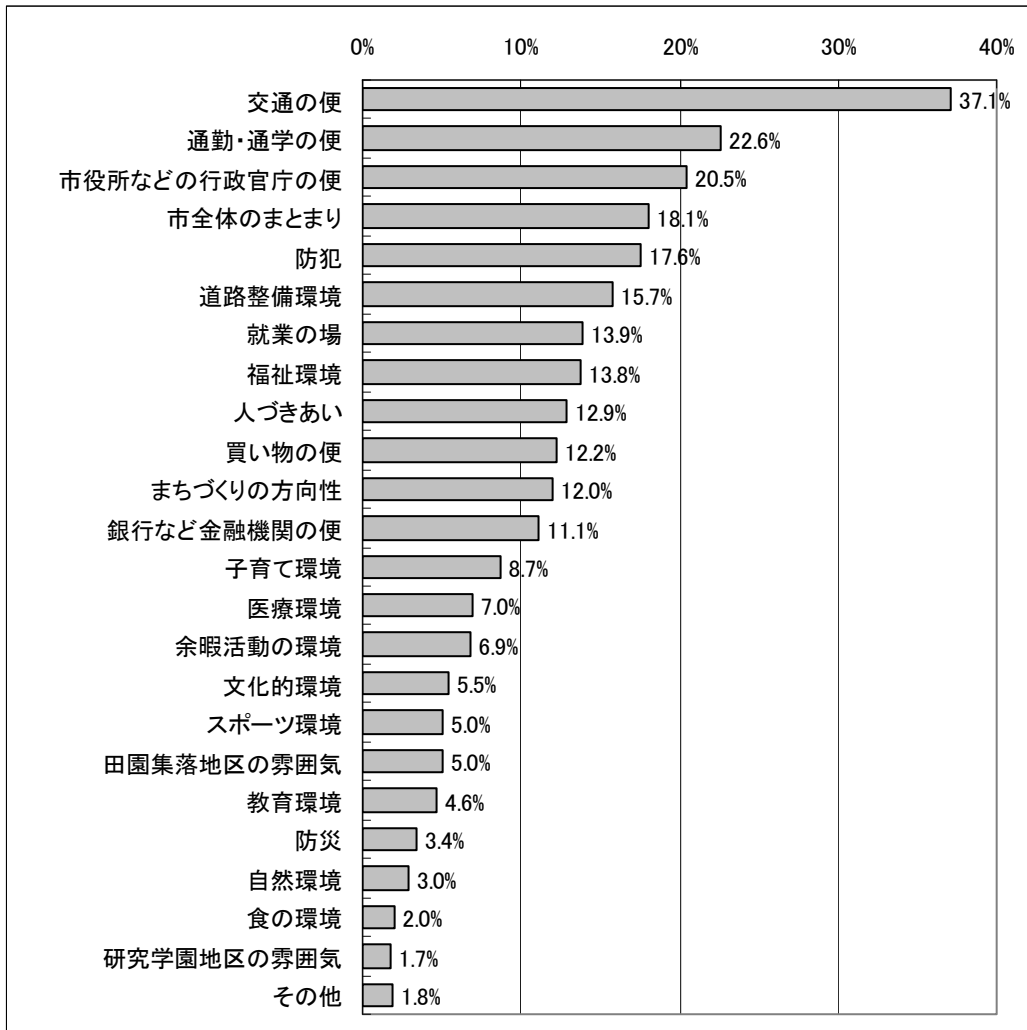
## 問5-2 つくば市の「劣っている点」

つくば市の「劣っている点」については、「交通の便」と回答した割合が37.1%と最も高く、次いで「通勤・通学の便」(22.6%)、「市役所などの行政官庁の便」(20.5%)が続いている。交通面での不便さを指摘する回答が比較的多くなっている。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
交通の便	1,004	37.1%
通勤・通学の便	613	22.6%
市役所などの行政官庁の便	554	20.5%
市全体のまとめり	489	18.1%
防犯	476	17.6%
道路整備環境	426	15.7%
就業の場	376	13.9%
福祉環境	373	13.8%
人づきあい	349	12.9%
買い物の便	330	12.2%
まちづくりの方向性	325	12.0%
銀行など金融機関の便	300	11.1%
子育て環境	236	8.7%
医療環境	189	7.0%
余暇活動の環境	186	6.9%
文化的環境	148	5.5%
スポーツ環境	136	5.0%
田園集落地区の雰囲気	135	5.0%
教育環境	125	4.6%
防災	91	3.4%
自然環境	80	3.0%
食の環境	53	2.0%
研究学園地区の雰囲気	47	1.7%
その他	50	1.8%
合計	7,091	—

\*注1：複数回答可能(3項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



## 問6 市政全般で重視すべき施策

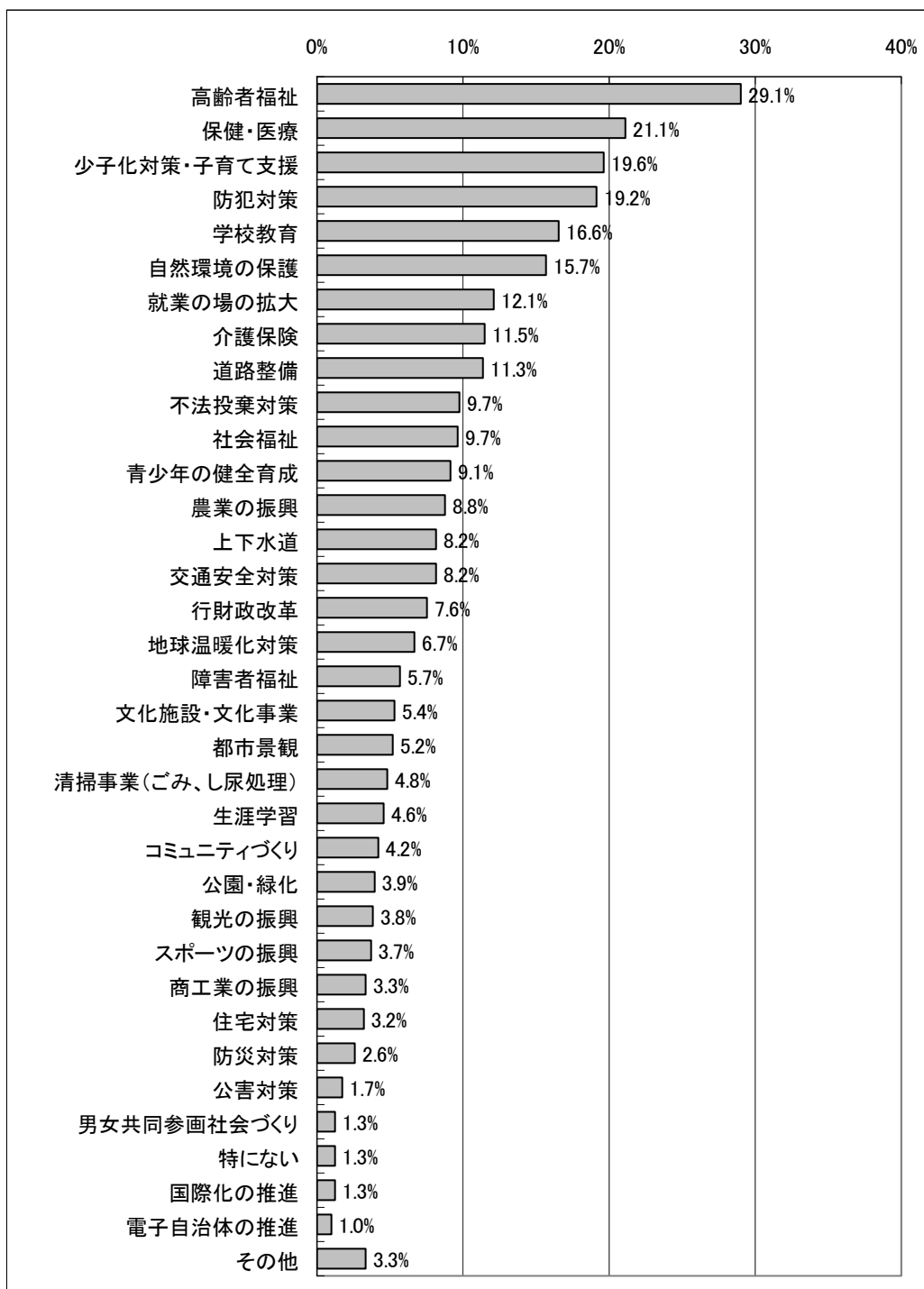
重視すべき施策としては、「高齢者福祉」を選択した回答の割合が29.1%と最も高く、「保健・医療」(21.1%)、「少子化対策・子育て支援」(19.6%)が続いている。いずれも社会福祉に関連した分野となっている。

次いで、「防犯対策」(19.2%)、「学校教育」(16.6%)などの順になっている。

類型	回答数(件)	選択割合(%)	類型	回答数(件)	選択割合(%)
高齢者福祉	787	29.1%	文化施設・文化事業	145	5.4%
保健・医療	570	21.1%	都市景観	142	5.2%
少子化対策・子育て支援	530	19.6%	清掃事業(ごみ, し尿処理)	131	4.8%
防犯対策	519	19.2%	生涯学習	125	4.6%
学校教育	449	16.6%	コミュニティづくり	114	4.2%
自然環境の保護	425	15.7%	公園・緑化	106	3.9%
就業の場の拡大	327	12.1%	観光の振興	104	3.8%
介護保険	310	11.5%	スポーツの振興	100	3.7%
道路整備	306	11.3%	商工業の振興	89	3.3%
不法投棄対策	263	9.7%	住宅対策	86	3.2%
社会福祉	262	9.7%	防災対策	70	2.6%
青少年の健全育成	246	9.1%	公害対策	47	1.7%
農業の振興	237	8.8%	男女共同参画社会づくり	35	1.3%
上下水道	222	8.2%	特にない	35	1.3%
交通安全対策	221	8.2%	国際化の推進	34	1.3%
行財政改革	205	7.6%	電子自治体の推進	28	1.0%
地球温暖化対策	181	6.7%	その他	90	3.3%
障害者福祉	153	5.7%	—	—	—
			合計	7,694	—

\*注1：複数回答可能(3項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



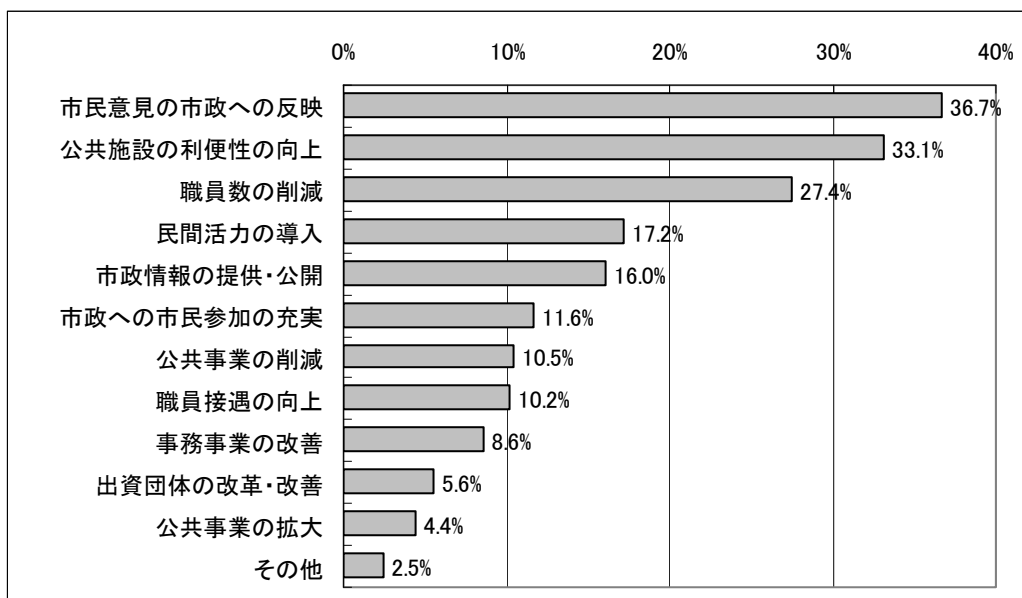
## 問7 行財政改革において重視すべき事項

行財政改革に関しては、「市民意見の市政への反映」を選択した回答の割合が36.7%と最も高く、「公共施設の利便性の向上」が33.1%、「職員数の削減」が27.4%で続いている。

類型	回答数（件）	選択割合（%）
市民意見の市政への反映	993	36.7%
公共施設の利便性の向上	896	33.1%
職員数の削減	743	27.4%
民間活力の導入	466	17.2%
市政情報の提供・公開	434	16.0%
市政への市民参加の充実	315	11.6%
公共事業の削減	283	10.5%
職員待遇の向上	276	10.2%
事務事業の改善	233	8.6%
出資団体の改革・改善	151	5.6%
公共事業の拡大	120	4.4%
その他	68	2.5%
合計	4,978	—

\*注1：複数回答可能（2項目まで）のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数（=2,707票）に対する各類型項目の回答数の割合である。



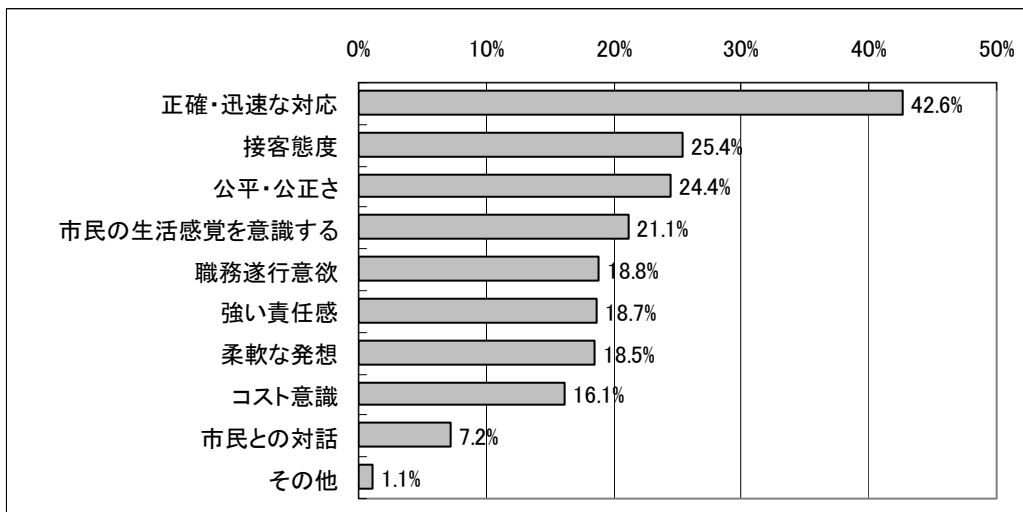
## 問8 市職員の仕事への取り組み方

市職員の仕事への取り組み方について重要と思うこととしては、「正確・迅速な対応」を選択した割合が42.6%と最も高く、次いで「接客態度」(25.4%)、「公平・公正さ」(24.4%)と続くが、第2順位以降は比較的回答が分かれる結果となった。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
正確・迅速な対応	1,153	42.6%
接客態度	687	25.4%
公平・公正さ	661	24.4%
市民の生活感覚を意識する	572	21.1%
職務遂行意欲	508	18.8%
強い責任感	505	18.7%
柔軟な発想	502	18.5%
コスト意識	435	16.1%
市民との対話	195	7.2%
その他	30	1.1%
合計	5,248	—

\*注1：複数回答可能(2項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。

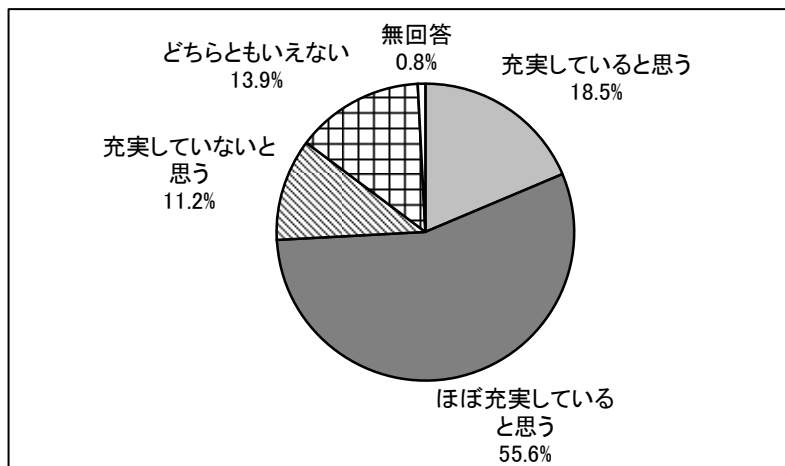


### 問9 医療供給体制への評価

医療供給体制については、「充実していると思う」（18.5%）と「ほぼ充実していると思う」（55.6%）を合わせると7割以上を占めている。

市内の医療供給体制の評価は高くなっている。

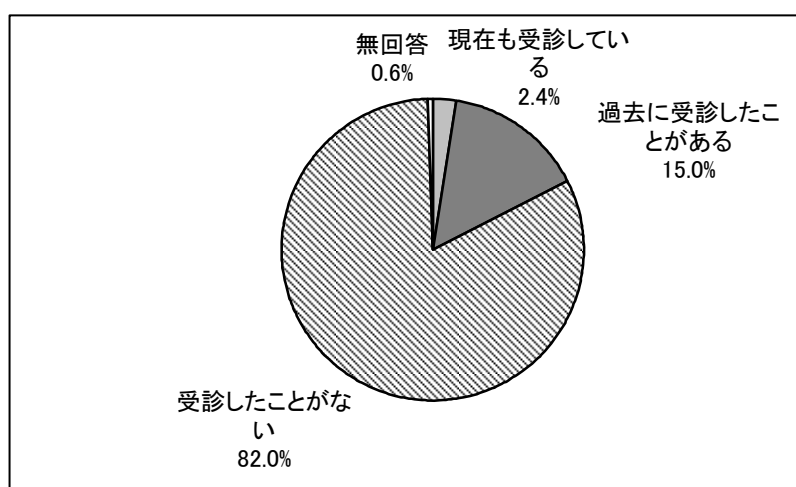
類型	回答数（人）	構成比（%）	
充実していると思う	501	18.5%	74.1%
ほぼ充実していると思う	1,504	55.6%	
充実していないと思う	303	11.2%	
どちらともいえない	377	13.9%	
無回答	22	0.8%	
合計	2,707	100.0%	



## 問 10 市立病院の受診経験の有無

市立病院の受診経験については、「現在も受診している」（2.4%）と「過去に受診したことがある」（15.0%）を合わせて 17.4%となっている。また、「受診したことがない」との回答が8割を超えている。

類型	回答数（人）	構成比（%）	
現在も受診している	66	2.4%	17.4%
過去に受診したことがある	405	15.0%	
受診したことがない	2,221	82.0%	
無回答	15	0.6%	
合計	2,707	100.0%	



地区別にみると、受診経験者は筑波地区に集中しており 70.1%となっている。他地区では「受診経験なし」がほとんどであり、荃崎地区（95.3%）、学園地区（94.2%）、谷田部地区（93.9%）、桜地区（91.5%）では、いずれも9割を超えている。

単位：人

類型	筑波地区	大穂地区	豊里地区	桜地区	谷田部地区	荃崎地区	学園地区	無回答	合計
現在も受診している	35 10.6%	9 3.5%	4 1.4%	2 0.6%	4 0.9%	3 0.9%	4 0.7%	5 3.5%	66 2.4%
過去に受診したことがある	197 59.5%	73 28.5%	23 8.3%	22 6.9%	20 4.5%	13 3.8%	30 5.0%	27 19.0%	405 15.0%
受診したことがない	96 29.0%	174 68.0%	249 89.9%	291 91.5%	413 93.9%	328 95.3%	564 94.2%	106 74.6%	2,221 82.0%
無回答	3 0.9%	0 0.0%	1 0.4%	3 0.9%	3 0.7%	0 0.0%	1 0.2%	4 2.8%	15 0.6%
合計	331	256	277	318	440	344	599	142	2,707

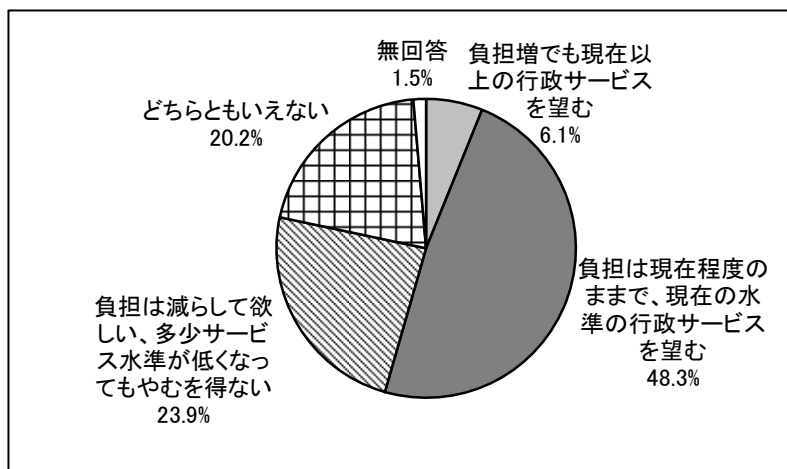


## 問 11 負担と給付の関係に関する考え

行政サービスに関する負担と給付との関係については、「負担は現在程度のみままで、現在の水準の行政サービスを望む」という回答が 48.3%と半数近くを占めている。

次いで、「負担を減らして欲しい。そのことによって、多少サービス水準が低くなってもやむを得ない」という回答が 23.9%、「どちらともいえない」という回答が 20.2%となっている。

類型	回答数（人）	構成比（%）
負担が増えても現在以上の行政サービスを望む	166	6.1%
負担は現在程度のみままで、現在の水準の行政サービスを望む	1,307	48.3%
負担は減らして欲しい。そのことによって、多少サービス水準が低くなってもやむを得ない	647	23.9%
どちらともいえない	547	20.2%
無回答	40	1.5%
合計	2,707	100.0%



## 2-3 主要施策に関する回答結果

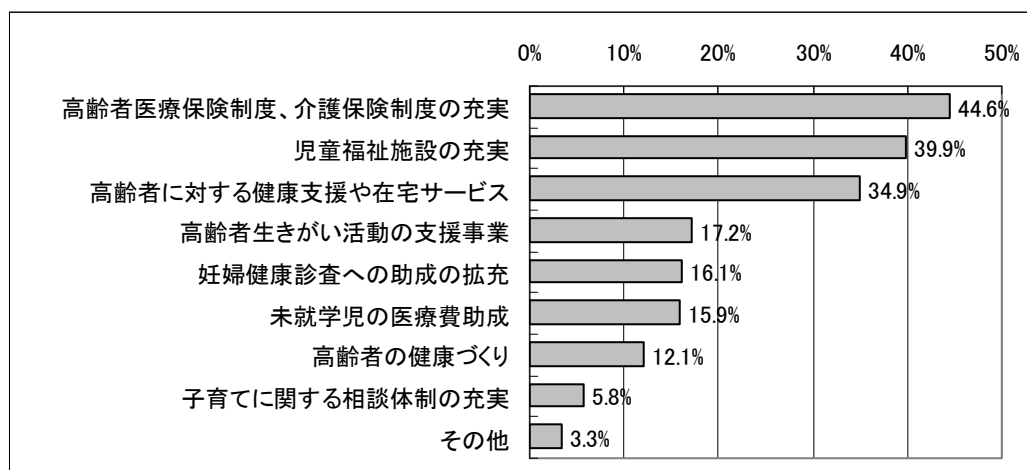
### 問 12 少子・高齢化対策における重要施策

少子・高齢化対策における重要施策については、「高齢者医療保険制度、介護保険制度の充実」を選択した割合が 44.6%と最も高く、「児童福祉施設の充実」(39.9%)や「高齢者に対する健康支援や在宅サービス」(34.9%)が続いている。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
高齢者医療保険制度、介護保険制度の充実	1,206	44.6%
児童福祉施設の充実	1,080	39.9%
高齢者に対する健康支援や在宅サービス	944	34.9%
高齢者生きがい活動の支援事業	466	17.2%
妊婦健康診査への助成の拡充	436	16.1%
未就学児の医療費助成	431	15.9%
高齢者の健康づくり	327	12.1%
子育てに関する相談体制の充実	156	5.8%
その他	89	3.3%
合計	5,135	—

\*注1：複数回答可能(2項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



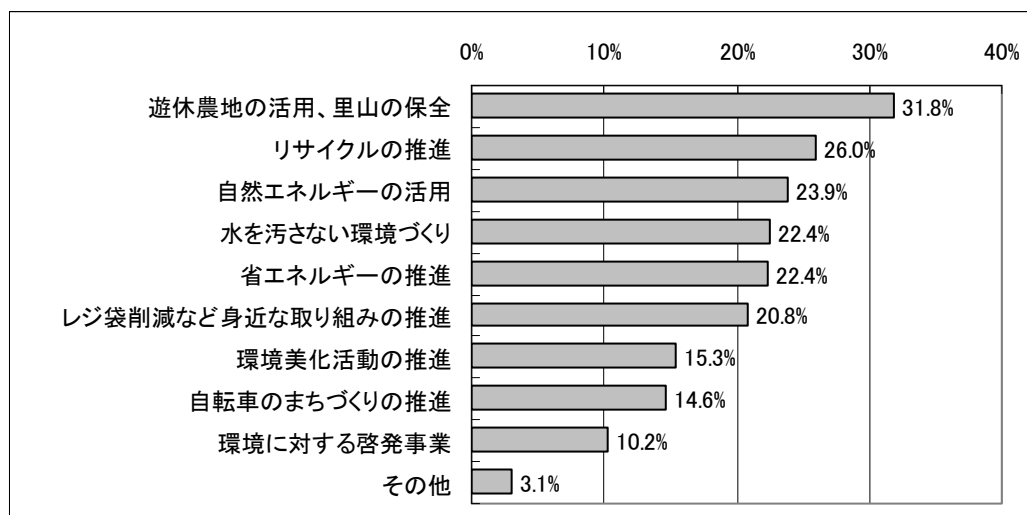
### 問 13 環境・地球温暖化対策における重要施策

環境・地球温暖化対策における重要施策については、「遊休農地の活用、里山の保全」を選択した割合が 31.8%と最も高いが、「リサイクルの推進」(26.0%)、「自然エネルギーの活用」(23.9%)、「水を汚さない環境づくり」(22.4%)、「省エネルギーの推進」(22.4%)、など、比較的回答が分かれる結果となった。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
遊休農地の活用、里山の保全	862	31.8%
リサイクルの推進	704	26.0%
自然エネルギーの活用	647	23.9%
水を汚さない環境づくり	607	22.4%
省エネルギーの推進	606	22.4%
レジ袋削減など身近な取り組みの推進	562	20.8%
環境美化活動の推進	415	15.3%
自転車のまちづくりの推進	396	14.6%
環境に対する啓発事業	277	10.2%
その他	83	3.1%
合計	5,159	—

\*注1：複数回答可能(2項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



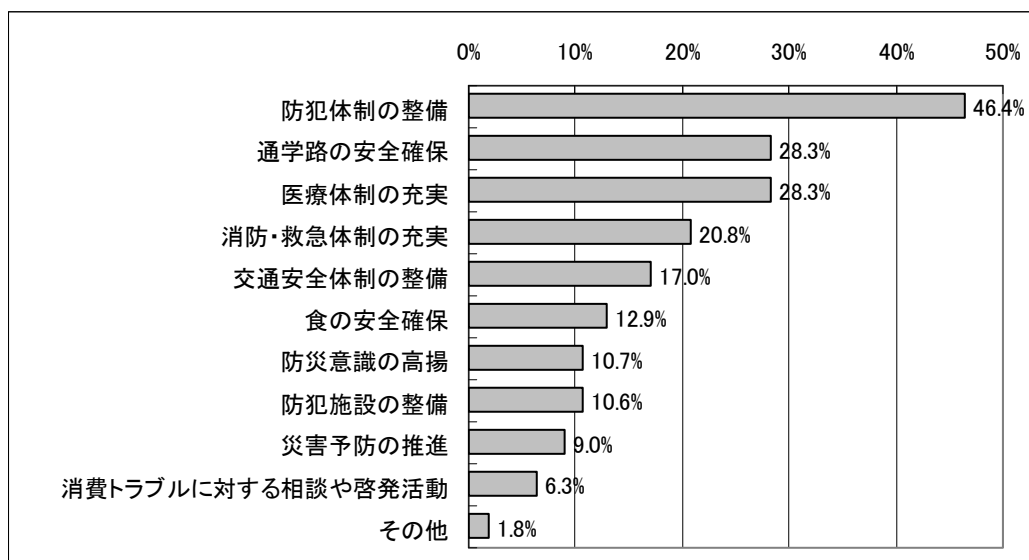
## 問 14 安心・安全なまちづくりにおける重要施策

安心・安全なまちづくりにおける重要施策については、「防犯体制の整備」(46.4%)を選択した割合が最も高く、次いで「通学路の安全確保」(28.3%)と「医療体制の充実」(28.3%)が続いている。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
防犯体制の整備	1,255	46.4%
通学路の安全確保	766	28.3%
医療体制の充実	765	28.3%
消防・救急体制の充実	562	20.8%
交通安全体制の整備	461	17.0%
食の安全確保	348	12.9%
防災意識の高揚	289	10.7%
防犯施設の整備	288	10.6%
災害予防の推進	244	9.0%
消費トラブルに対する相談や啓発活動	170	6.3%
その他	50	1.8%
合計	5,198	—

\*注1：複数回答可能(2項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



## 2-4 総合計画における個別のまちづくり施策に関する回答結果

### 問 15 自然と都市が調和した快適で住み良いまちづくり（土地利用と都市基盤整備）

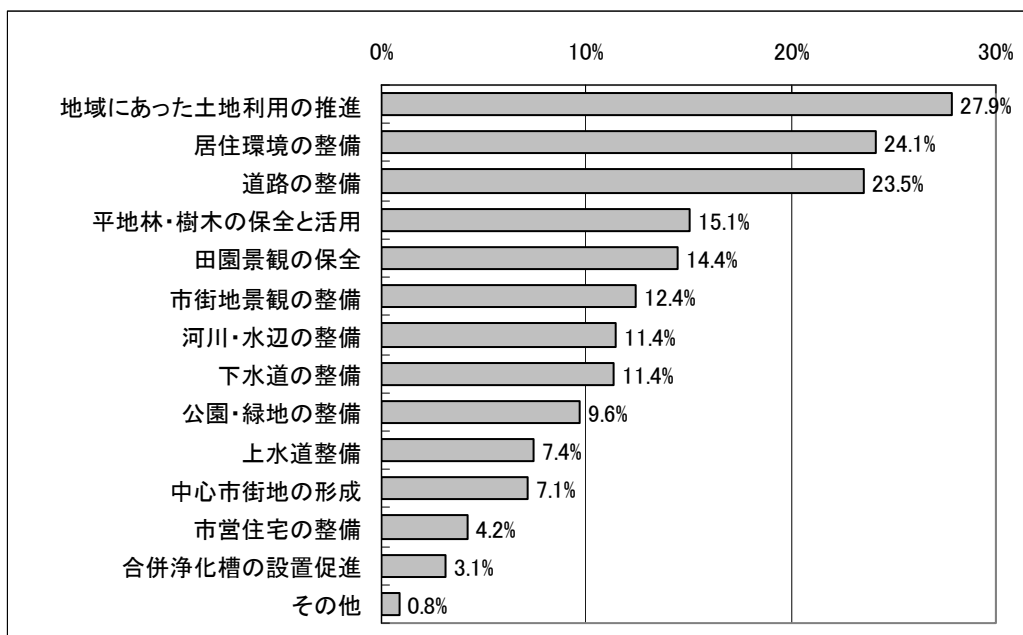
#### (1) 特に重要な施策

「土地利用と都市基盤整備に関する分野」において、最も重要な施策とされたのは「地域にあった土地利用の推進」（27.9%）で、「居住環境の整備」（24.1%）、「道路の整備」（23.5%）が続いている。

類型	回答数（件）	選択割合（%）
地域にあった土地利用の推進	755	27.9%
居住環境の整備	653	24.1%
道路の整備	637	23.5%
平地林・樹木の保全と活用	408	15.1%
田園景観の保全	391	14.4%
市街地景観の整備	337	12.4%
河川・水辺の整備	309	11.4%
下水道の整備	308	11.4%
公園・緑地の整備	261	9.6%
上水道整備	201	7.4%
中心市街地の形成	193	7.1%
市営住宅の整備	114	4.2%
合併浄化槽の設置促進	85	3.1%
その他	23	0.8%
合計	4,675	—

\*注1：複数回答可能（2項目まで）のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数（=2,707票）に対する各類型項目の回答数の割合である。



### ○ 地区別集計結果

谷田部地区や学園地区といった比較的宅地化が進行している地区においては、「地域にあった土地利用の推進」を重要視する回答が多いのに対して、筑波地区などでは「道路の整備」が上位になっている。

類型	重要とされている上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	道路の整備 (100件 30.2%)	地域にあった土地利用の推進 (89件 26.9%)	居住環境の整備 (84件 25.4%)
大穂地区 (n=256)	地域にあった土地利用の推進 (74件 28.9%)	道路の整備 (67件 26.2%)	居住環境の整備 (50件 19.5%)
豊里地区 (n=277)	地域にあった土地利用の推進 (77件 27.8%)	道路の整備 (68件 24.5%)	居住環境の整備 (55件 19.9%)
桜地区 (n=318)	地域にあった土地利用の推進 (92件 28.9%)	居住環境の整備 (80件 25.2%)	道路の整備 (59件 18.6%)
谷田部地区 (n=440)	地域にあった土地利用の推進 (126件 28.6%)	居住環境の整備 (105件 23.9%)	道路の整備 (91件 20.7%)
荃崎地区 (n=344)	居住環境の整備 (109件 31.7%)	地域にあった土地利用の推進 (107件 31.1%)	道路の整備 (103件 29.9%)
学園地区 (n=599)	地域にあった土地利用の推進 (158件 26.4%)	居住環境の整備 (142件 23.7%)	市街地景観の整備 (123件 20.5%)

\*注：( ) 内の%は地区回収数 (=n) に対する各項目の回答数の割合である。

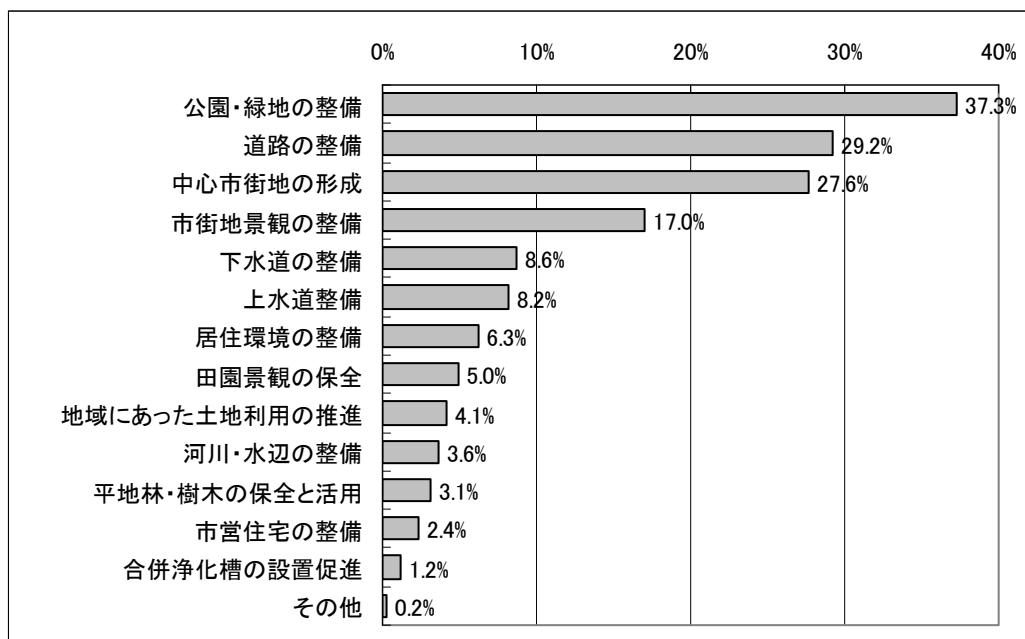
## (2) 進んでいる施策

「土地利用と都市基盤整備に関する分野」において進捗が評価されているのは、「公園・緑地の整備」(37.3%)が最も高く、次いで「道路の整備」(29.2%)、「中心市街地の整備」(27.6%)が続いている。(1)の「特に重要な施策」と合わせてみると、「道路の整備」は重要視され、かつ、一定の進捗があると評価されていることになる。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
公園・緑地の整備	1,009	37.3%
道路の整備	790	29.2%
中心市街地の形成	748	27.6%
市街地景観の整備	461	17.0%
下水道の整備	234	8.6%
上水道整備	221	8.2%
居住環境の整備	170	6.3%
田園景観の保全	134	5.0%
地域にあった土地利用の推進	112	4.1%
河川・水辺の整備	97	3.6%
平地林・樹木の保全と活用	84	3.1%
市営住宅の整備	65	2.4%
合併浄化槽の設置促進	32	1.2%
その他	6	0.2%
合計	4,163	—

\*注1：複数回答可能(2項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



### ○ 地区別集計結果

谷田部地区や学園地区など、「公園・緑地の整備」に対する評価が比較的高い地区が多い。筑波地区と大穂地区では、「中心市街地の形成」に対する評価が最も高くなっている。

類型	進捗がみられる上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	中心市街地の形成 (105件 31.7%)	市街地景観の整備 (79件 23.9%)	公園・緑地の整備 (77件 23.3%)
大穂地区 (n=256)	中心市街地の形成 (76件 29.7%) 道路の整備 (76件 29.7%)		公園・緑地の整備 (75件 29.3%)
豊里地区 (n=277)	公園・緑地の整備 (100件 36.1%)	中心市街地の形成 (91件 32.9%)	道路の整備 (85件 30.7%)
桜地区 (n=318)	公園・緑地の整備 (136件 42.8%)	道路の整備 (101件 31.8%)	中心市街地の形成 (80件 25.2%)
谷田部地区 (n=440)	公園・緑地の整備 (171件 38.9%)	道路の整備 (150件 34.1%)	中心市街地の形成 (120件 27.3%)
荃崎地区 (n=344)	公園・緑地の整備 (110件 32.0%)	中心市街地の形成 (95件 27.6%)	道路の整備 (77件 22.4%)
学園地区 (n=599)	公園・緑地の整備 (293件 48.9%)	道路の整備 (182件 30.4%)	中心市街地の形成 (158件 26.4%)

\*注：( ) 内の%は地区回収数 (=n) に対する各項目の回答数の割合である。



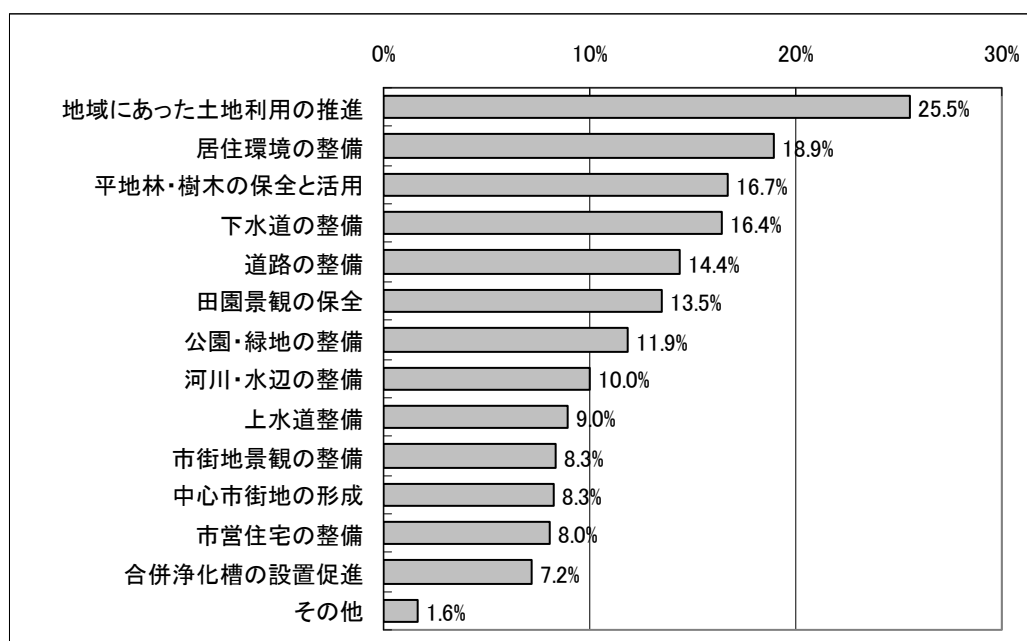
### (3) 充実してほしい施策

「土地利用と都市基盤整備に関する分野」において充実が要望されているのは、「地域にあった土地利用の推進」(25.5%)で、「居住環境の整備」(18.9%)が続いている。そのほかには、「平地林・樹木の保全と活用」(16.7%)、「下水道の整備」(16.4%)を望む回答が続いている。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
地域にあった土地利用の推進	691	25.5%
居住環境の整備	512	18.9%
平地林・樹木の保全と活用	453	16.7%
下水道の整備	443	16.4%
道路の整備	389	14.4%
田園景観の保全	365	13.5%
公園・緑地の整備	321	11.9%
河川・水辺の整備	270	10.0%
上水道整備	243	9.0%
市街地景観の整備	225	8.3%
中心市街地の形成	224	8.3%
市営住宅の整備	217	8.0%
合併浄化槽の設置促進	194	7.2%
その他	44	1.6%
合計	4,591	—

\*注1：複数回答可能(2項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

「地域にあった土地利用の推進」について、充実を要望する回答比率が高い地区が多い。谷田部地区では「下水道の整備」が第1位となっている。

類型	充実が要望されている上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	地域にあった土地利用の推進 (90件 27.2%)	下水道の整備 (69件 20.8%)	居住環境の整備 (65件 19.6%)
大穂地区 (n=256)	地域にあった土地利用の推進 (74件 28.9%)	平地林・樹木の保全と活用 (47件 18.4%)	田園景観の保全 下水道の整備 (38件 14.8%)
豊里地区 (n=277)	地域にあった土地利用の推進 (74件 26.7%)	下水道の整備 (53件 19.1%)	居住環境の整備 (50件 18.1%)
桜地区 (n=318)	地域にあった土地利用の推進 (102件 32.1%)	平地林・樹木の保全と活用 (64件 20.1%)	下水道の整備 (60件 18.9%)
谷田部地区 (n=440)	下水道の整備 (103件 23.4%)	地域にあった土地利用の推進 (98件 22.3%)	居住環境の整備 (78件 17.7%)
荃崎地区 (n=344)	地域にあった土地利用の推進 (85件 24.7%)	居住環境の整備 (84件 24.4%)	道路の整備 (62件 18.0%)
学園地区 (n=599)	地域にあった土地利用の推進 (133件 22.2%)	居住環境の整備 (130件 21.7%)	道路の整備 (101件 16.9%)

\*注：()内の%は地区回収数(=n)に対する各項目の回答数の割合である。

問 16 つくばエクスプレスをいかした活力のあるまちづくり（交通網整備と都市開発）

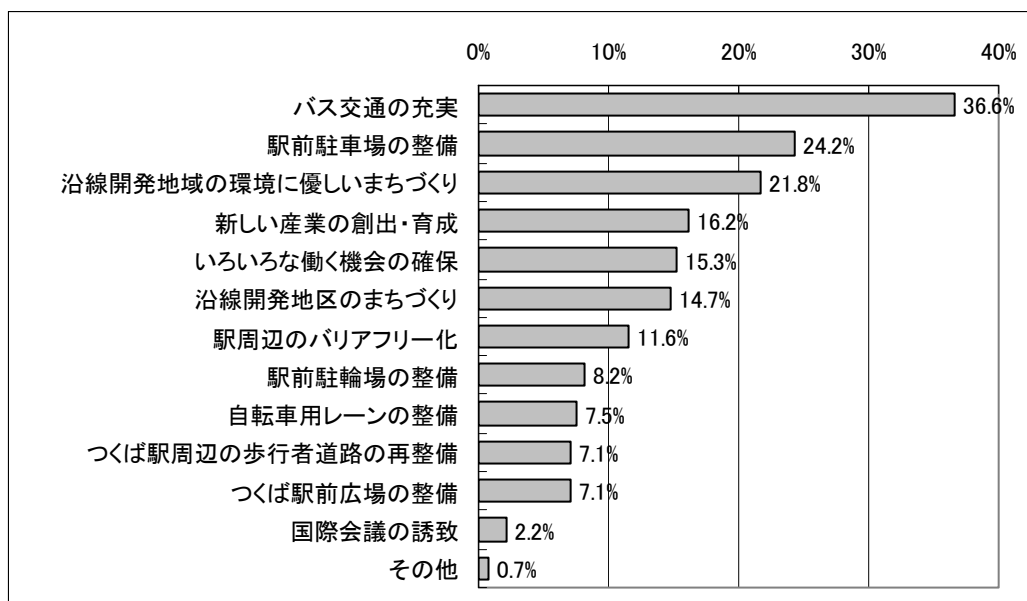
(1) 特に重要な施策

「交通網整備と都市開発に関する分野」において最も重要な施策とされたのは「バス交通の充実」（36.6％）で、「駅前駐車場の整備」（24.2％）、「沿線開発地域の環境に優しいまちづくり」（21.8％）が続いている。

類型	回答数（件）	選択割合（％）
バス交通の充実	991	36.6%
駅前駐車場の整備	656	24.2%
沿線開発地域の環境に優しいまちづくり	589	21.8%
新しい産業の創出・育成	439	16.2%
いろいろな働く機会の確保	413	15.3%
沿線開発地区のまちづくり	398	14.7%
駅周辺のバリアフリー化	313	11.6%
駅前駐輪場の整備	221	8.2%
自転車用レーンの整備	203	7.5%
つくば駅周辺の歩行者道路の再整備	193	7.1%
つくば駅前広場の整備	191	7.1%
国際会議の誘致	60	2.2%
その他	20	0.7%
合計	4,687	—

\*注1：複数回答可能（2項目まで）のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数（=2,707票）に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

すべての地区で、「バス交通の充実」を重要視している回答の比率が最も高く、「駅前駐車場の整備」または「沿線開発地域の環境に優しいまちづくり」が続いている。地区による差は少ない。

類型	重要とされている上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	バス交通の充実 (131件 39.6%)	駅前駐車場の整備 (96件 29%)	新しい産業の創出・育成 (59件 17.8%)
大穂地区 (n=256)	バス交通の充実 (96件 37.5%)	駅前駐車場の整備 (75件 29.3%)	沿線開発地域の環境に優しいまちづくり (55件 21.5%)
豊里地区 (n=277)	バス交通の充実 (89件 32.1%)	沿線開発地域の環境に優しいまちづくり (83件 30.0%)	駅前駐車場の整備 (69件 24.9%)
桜地区 (n=318)	バス交通の充実 (112件 35.2%)	駅前駐車場の整備 (87件 27.4%)	沿線開発地域の環境に優しいまちづくり (60件 18.9%)
谷田部地区 (n=440)	バス交通の充実 (136件 30.9%)	沿線開発地域の環境に優しいまちづくり (122件 27.7%)	沿線開発地区のまちづくり (96件 21.8%)
荃崎地区 (n=344)	バス交通の充実 (155件 45.1%)	駅前駐車場の整備 (75件 21.8%) 沿線開発地域の環境に優しいまちづくり (75件 21.8%)	
学園地区 (n=599)	バス交通の充実 (232件 38.7%)	駅前駐車場の整備 (149件 24.9%)	沿線開発地域の環境に優しいまちづくり (112件 18.7%)

\*注：( ) 内の%は地区回収数 (=n) に対する各項目の回答数の割合である。

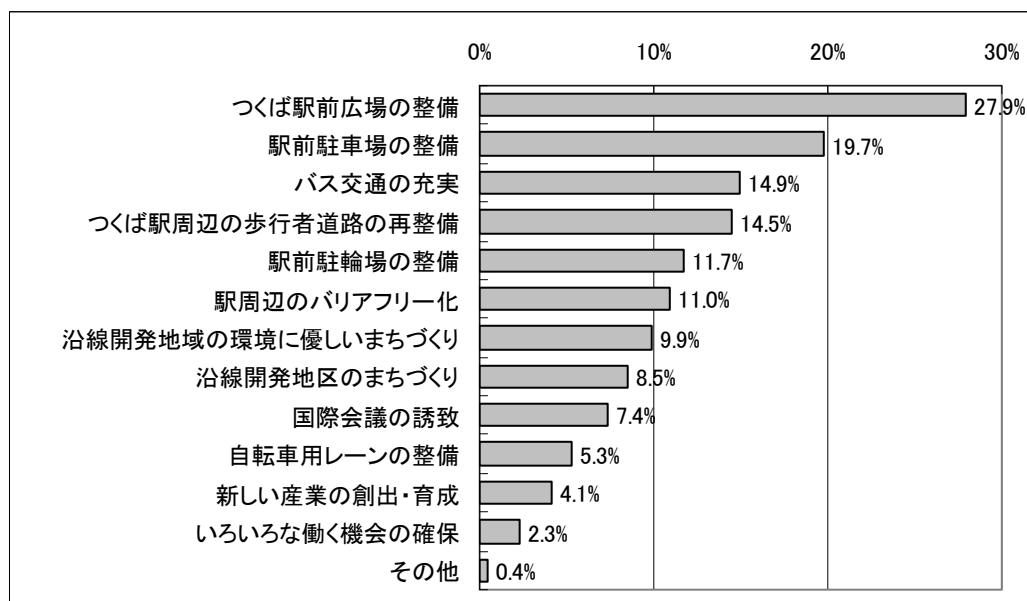
## (2) 進んでいる施策

「交通網整備と都市開発に関する分野」において進捗が評価されているのは、「つくば駅前広場の整備」(27.9%)で、「駅前駐車場の整備」(19.7%)、「バス交通の充実」(14.9%)、「つくば駅周辺の歩行者道路の再整備」(14.5%)が続いている。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
つくば駅前広場の整備	755	27.9%
駅前駐車場の整備	534	19.7%
バス交通の充実	404	14.9%
つくば駅周辺の歩行者道路の再整備	392	14.5%
駅前駐輪場の整備	318	11.7%
駅周辺のバリアフリー化	297	11.0%
沿線開発地域の環境に優しいまちづくり	267	9.9%
沿線開発地区のまちづくり	231	8.5%
国際会議の誘致	200	7.4%
自転車用レーンの整備	144	5.3%
新しい産業の創出・育成	112	4.1%
いろいろな働く機会の確保	61	2.3%
その他	11	0.4%
合計	3,726	—

\*注1：複数回答可能(2項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

すべての地区で、「つくば駅前広場の整備」に対する評価が最も高くなっている。学園地区を除いて「駅前駐車場の整備」に対する評価も高い。

類型	進捗がみられる上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	つくば駅前広場の整備 (87件 26.3%)	駅前駐車場の整備 (67件 20.2%)	沿線開発地域の環境に 優しいまちづくり (51件 15.4%)
大穂地区 (n=256)	つくば駅前広場の整備 (79件 30.9%)	駅前駐車場の整備 (57件 22.3%)	バス交通の充実 (48件 18.8%)
豊里地区 (n=277)	つくば駅前広場の整備 (80件 28.9%)	駅前駐車場の整備 (60件 21.7%)	バス交通の充実 (50件 18.1%)
桜地区 (n=318)	つくば駅前広場の整備 (76件 23.9%)	駅前駐車場の整備 (62件 19.5%)	駅前駐輪場の整備 (53件 16.7%)
谷田部地区 (n=440)	つくば駅前広場の整備 (125件 28.4%)	駅前駐車場の整備 (120件 27.3%)	バス交通の充実 (74件 16.8%)
荃崎地区 (n=344)	つくば駅前広場の整備 (99件 28.8%)	駅前駐車場の整備 (60件 17.4%)	つくば駅周辺の歩行者 道路の再整備 (55件 16.0%)
学園地区 (n=599)	つくば駅前広場の整備 (181件 30.2%)	バス交通の充実 (92件 15.4%)	つくば駅周辺の歩行者 道路の再整備 (85件 14.2%)

\*注：()内の%は地区回収数(=n)に対する各項目の回答数の割合である。

### (3) 充実してほしい施策

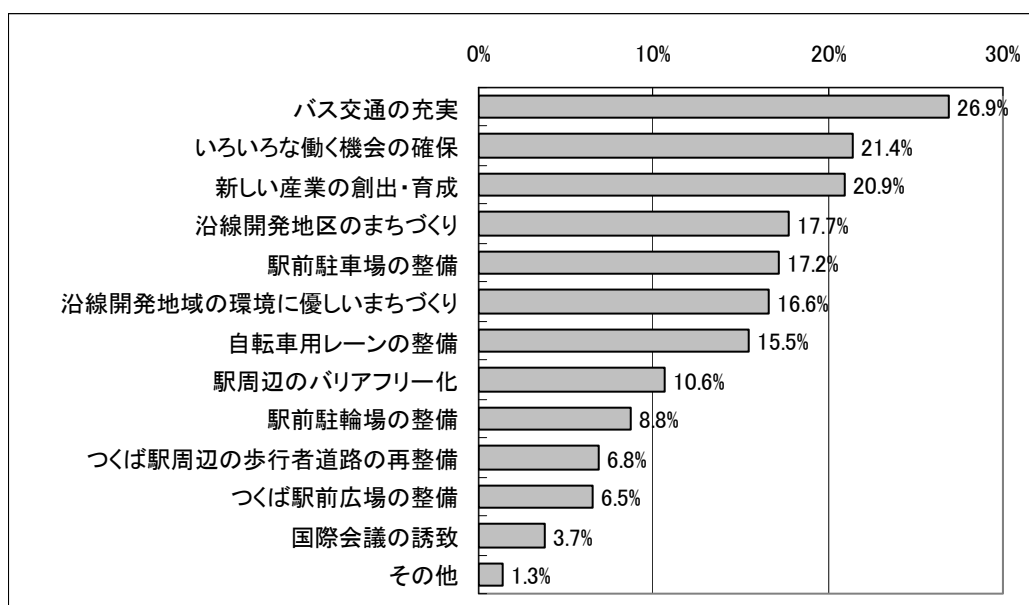
「交通網整備と都市開発に関する分野」において充実が要望されているのは、「バス交通の充実」が 26.9%となっており、引き続き、公共交通の確保が課題となっていることがうかがえる。

次いで、「いろいろな働く機会の確保」(21.4%)、「新しい産業の創出・育成」(20.9%)といった、産業振興を望む回答が比較的多くみられる。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
バス交通の充実	728	26.9%
いろいろな働く機会の確保	580	21.4%
新しい産業の創出・育成	567	20.9%
沿線開発地区のまちづくり	480	17.7%
駅前駐車場の整備	465	17.2%
沿線開発地域の環境に優しいまちづくり	449	16.6%
自転車用レーンの整備	419	15.5%
駅周辺のバリアフリー化	287	10.6%
駅前駐輪場の整備	237	8.8%
つくば駅周辺の歩行者道路の再整備	185	6.8%
つくば駅前広場の整備	177	6.5%
国際会議の誘致	101	3.7%
その他	36	1.3%
合計	4,711	—

\*注1：複数回答可能(2項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

谷田部地区や学園地区などで「バス交通の充実」を要望する回答比率が高くなっている。筑波地区と大穂地区では「いろいろな働く機会の確保」を要望する回答比率が最も高くなっており、地区によって差がみられるものの、比率に大きな開きはみられない。

類型	充実が要望されている上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	いろいろな働く機会の確保 (87件 26.3%)	バス交通の充実 (77件 23.3%)	沿線開発地区のまちづくり (69件 20.8%)
大穂地区 (n=256)	いろいろな働く機会の確保 (65件 25.4%)	駅前駐車場の整備 (60件 23.4%)	バス交通の充実 (56件 21.9%)
豊里地区 (n=277)	新しい産業の創出・育成 (72件 26.0%)	沿線開発地区のまちづくり (68件 24.5%)	バス交通の充実 (67件 24.2%)
桜地区 (n=318)	バス交通の充実 (79件 24.8%)	新しい産業の創出・育成 (75件 23.6%)	いろいろな働く機会の確保 (73件 23.0%)
谷田部地区 (n=440)	バス交通の充実 (110件 25.0%)	新しい産業の創出・育成 (101件 23.0%)	沿線開発地区のまちづくり (99件 22.5%)
荃崎地区 (n=344)	バス交通の充実 (97件 28.2%)	新しい産業の創出・育成 (85件 24.7%)	いろいろな働く機会の確保 (78件 22.7%)
学園地区 (n=599)	バス交通の充実 (211件 35.2%)	駅前駐車場の整備 (117件 19.5%)	自転車用レーンの整備 (116件 19.4%)

\*注：()内の%は地区回収数(=n)に対する各項目の回答数の割合である。



問 17 環境に優しく人と文化がふれあうまちづくり（市民活動・国際交流・文化活動・環境共生）

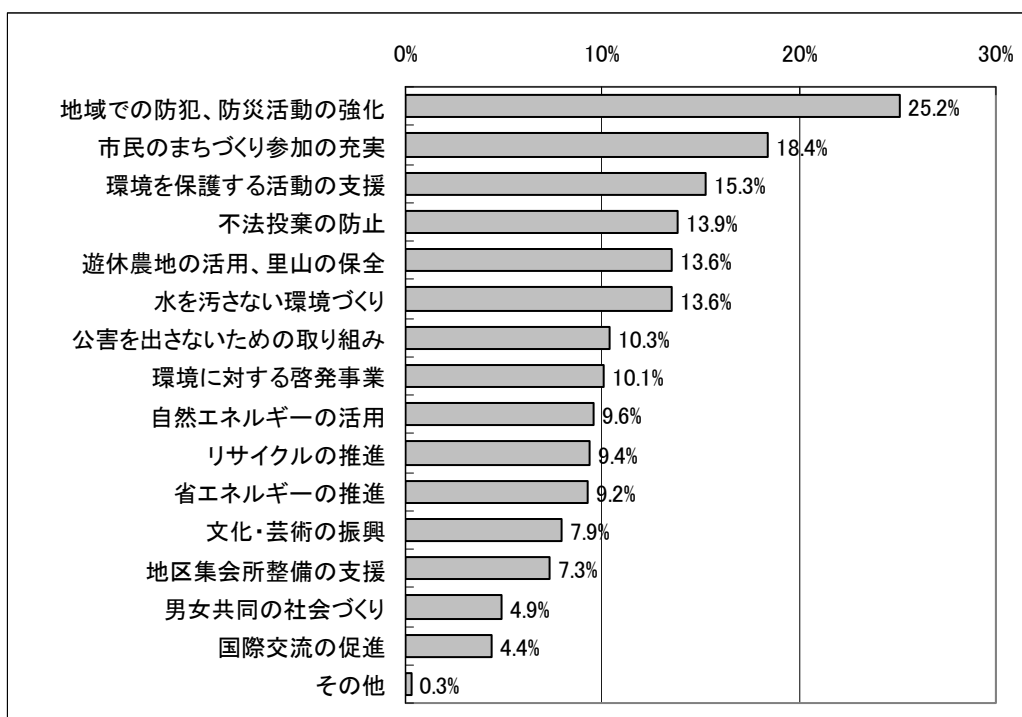
(1) 特に重要な施策

「市民活動・国際交流・文化活動・環境共生に関する分野」において最も重要な施策とされたのは「地域での防犯，防災活動の強化」（25.2％）で，次いで「市民のまちづくり参加の充実」（18.4％），「環境を保護する活動の支援」（15.3％）が続いている。

類型	回答数（件）	選択割合（％）
地域での防犯，防災活動の強化	681	25.2%
市民のまちづくり参加の充実	497	18.4%
環境を保護する活動の支援	413	15.3%
不法投棄の防止	375	13.9%
遊休農地の活用，里山の保全	367	13.6%
水を汚さない環境づくり	367	13.6%
公害を出さないための取り組み	280	10.3%
環境に対する啓発事業	273	10.1%
自然エネルギーの活用	259	9.6%
リサイクルの推進	254	9.4%
省エネルギーの推進	250	9.2%
文化・芸術の振興	215	7.9%
地区集会所整備の支援	197	7.3%
男女共同の社会づくり	132	4.9%
国際交流の促進	118	4.4%
その他	8	0.3%
合計	4,686	—

\*注1：複数回答可能（2項目まで）のため，回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数（=2,707票）に対する各類型項目の回答数の割合である。



### ○ 地区別集計結果

すべての地区で「地域での防犯、防災活動」の重要性が第1位となっている。「市民のまちづくり参加の充実」が続いており、地区による差は少ない。

類型	重要とされている上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	地域での防犯、防災活動の強化 (71件 21.5%)	市民のまちづくり参加の充実 (66件 19.9%)	不法投棄の防止 (52件 15.7%)
大穂地区 (n=256)	地域での防犯、防災活動の強化 (74件 28.9%)	市民のまちづくり参加の充実 (53件 20.7%)	環境を保護する活動の支援 (40件 15.6%)
豊里地区 (n=277)	地域での防犯、防災活動の強化 (83件 30.0%)	市民のまちづくり参加の充実 (49件 17.7%)	環境を保護する活動の支援 (44件 15.9%)
桜地区 (n=318)	地域での防犯、防災活動の強化 (87件 27.4%)	市民のまちづくり参加の充実 (58件 18.2%)	不法投棄の防止 (51件 16.0%)
谷田部地区 (n=440)	地域での防犯、防災活動の強化 (100件 22.7%)	市民のまちづくり参加の充実 (82件 18.6%)	環境を保護する活動の支援 不法投棄の防止 (71件 16.1%)
荃崎地区 (n=344)	地域での防犯、防災活動の強化 (75件 21.8%)	市民のまちづくり参加の充実 (62件 18.0%) 水を汚さない環境づくり (62件 18.0%)	
学園地区 (n=599)	地域での防犯、防災活動の強化 (161件 26.9%)	市民のまちづくり参加の充実 (108件 18.0%)	環境を保護する活動の支援 (97件 16.2%)

\*注：( )内の%は地区回収数 (=n) に対する各項目の回答数の割合である。

## (2) 進んでいる施策

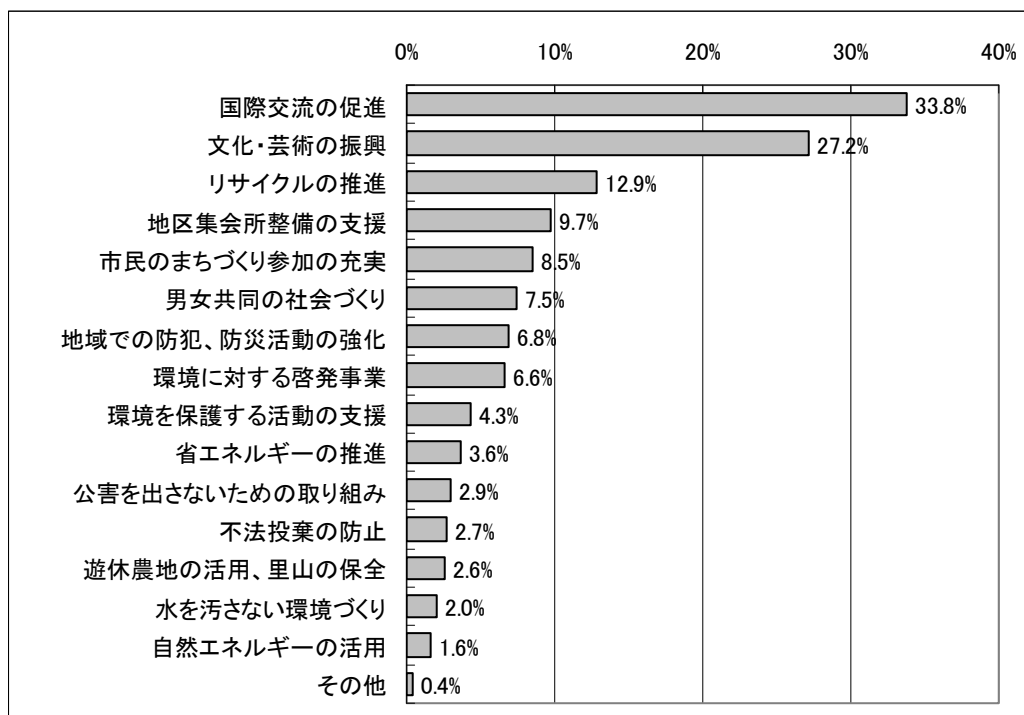
「市民活動・国際交流・文化活動・環境共生に関する分野」において進捗が評価されているのは、「国際交流の促進」(33.8%)で、「文化・芸術の振興」(27.2%)が続いている。

そのほかには、「リサイクルの推進」(12.9%)、「地区集会所整備の支援」(9.7%)の回答が比較的多くみられる。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
国際交流の促進	914	33.8%
文化・芸術の振興	737	27.2%
リサイクルの推進	349	12.9%
地区集会所整備の支援	263	9.7%
市民のまちづくり参加の充実	231	8.5%
男女共同の社会づくり	203	7.5%
地域での防犯, 防災活動の強化	185	6.8%
環境に対する啓発事業	179	6.6%
環境を保護する活動の支援	116	4.3%
省エネルギーの推進	98	3.6%
公害を出さないための取り組み	79	2.9%
不法投棄の防止	72	2.7%
遊休農地の活用, 里山の保全	70	2.6%
水を汚さない環境づくり	55	2.0%
自然エネルギーの活用	44	1.6%
その他	10	0.4%
合計	3,605	—

\*注1: 複数回答可能(2項目まで)のため, 回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2: 「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

すべての地区で「国際交流の促進」に対する評価が第1位となっており、「文化・芸術の振興」が続いている。

類型	進捗がみられる上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	国際交流の促進 (103件 31.1%)	文化・芸術の振興 (90件 27.2%)	リサイクルの推進 (45件 13.6%)
大穂地区 (n=256)	国際交流の促進 (78件 30.5%)	文化・芸術の振興 (76件 29.7%)	リサイクルの推進 (33件 12.9%)
豊里地区 (n=277)	国際交流の促進 (95件 34.3%)	文化・芸術の振興 (73件 26.4%)	リサイクルの推進 (46件 16.6%)
桜地区 (n=318)	国際交流の促進 (118件 37.1%)	文化・芸術の振興 (106件 33.3%)	リサイクルの推進 (40件 12.6%)
谷田部地区 (n=440)	国際交流の促進 (142件 32.3%)	文化・芸術の振興 (123件 28.0%)	リサイクルの推進 (55件 12.5%)
葦崎地区 (n=344)	国際交流の促進 (93件 27.0%) 文化・芸術の振興 (93件 27.0%)		リサイクルの推進 (69件 20.1%)
学園地区 (n=599)	国際交流の促進 (258件 43.1%)	文化・芸術の振興 (155件 25.9%)	環境に対する啓発事業 (53件 8.8%)

\*注：( ) 内の%は地区回収数 (=n) に対する各項目の回答数の割合である。

### (3) 充実してほしい施策

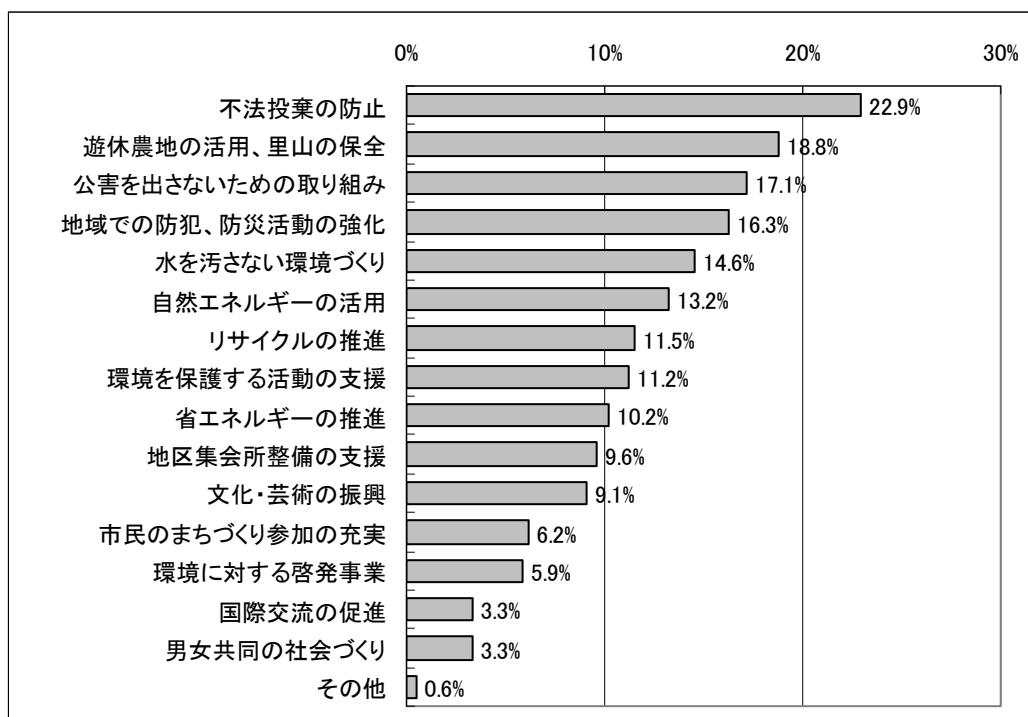
「市民活動・国際交流・文化活動・環境共生に関する分野」において充実が要望されているのは、「不法投棄の防止」(22.9%)で、「遊休農地の活用, 里山の保全」(18.8%), 「公害を出さないための取り組み」(17.1%)が続いている。

生活環境の保全を望む回答が比較的多くみられる。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
不法投棄の防止	621	22.9%
遊休農地の活用, 里山の保全	509	18.8%
公害を出さないための取り組み	464	17.1%
地域での防犯, 防災活動の強化	440	16.3%
水を汚さない環境づくり	395	14.6%
自然エネルギーの活用	357	13.2%
リサイクルの推進	311	11.5%
環境を保護する活動の支援	304	11.2%
省エネルギーの推進	276	10.2%
地区集会所整備の支援	261	9.6%
文化・芸術の振興	247	9.1%
市民のまちづくり参加の充実	167	6.2%
環境に対する啓発事業	159	5.9%
国際交流の促進	90	3.3%
男女共同の社会づくり	89	3.3%
その他	15	0.6%
合計	4,705	—

\*注1: 複数回答可能(2項目まで)のため, 回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2: 「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

学園地区を除いて「不法投棄の防止」を第1位としている。学園地区では「地域での防犯、防災活動の強化」を求める回答が最多である。

類型	充実が要望されている上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	不法投棄の防止 (88件 26.6%)	遊休農地の活用、里山の保全 (79件 23.9%)	水を汚さない環境づくり (53件 16.0%)
大穂地区 (n=256)	不法投棄の防止 (64件 25.0%)	遊休農地の活用、里山の保全 (51件 19.9%)	公害を出さないための取り組み (49件 19.1%)
豊里地区 (n=277)	不法投棄の防止 (67件 24.2%)	公害を出さないための取り組み (65件 23.5%)	遊休農地の活用、里山の保全 (55件 19.9%)
桜地区 (n=318)	不法投棄の防止 (81件 25.5%)	地域での防犯、防災活動の強化 (60件 18.9%)	公害を出さないための取り組み (54件 17.0%)
谷田部地区 (n=440)	不法投棄の防止 (108件 24.5%)	遊休農地の活用、里山の保全 (87件 19.8%)	公害を出さないための取り組み (85件 19.3%)
荃崎地区 (n=344)	不法投棄の防止 (89件 25.9%)	公害を出さないための取り組み (72件 20.9%)	遊休農地の活用、里山の保全 (66件 19.2%)
学園地区 (n=599)	地域での防犯、防災活動の強化 (115件 19.2%)	不法投棄の防止 (98件 16.4%)	遊休農地の活用、里山の保全 (96件 16.0%)

\*注：( )内の%は地区回収数 (=n) に対する各項目の回答数の割合である。

問 18 災害や犯罪に強い安全なまちづくり（防犯・防災・交通安全・消費者保護）

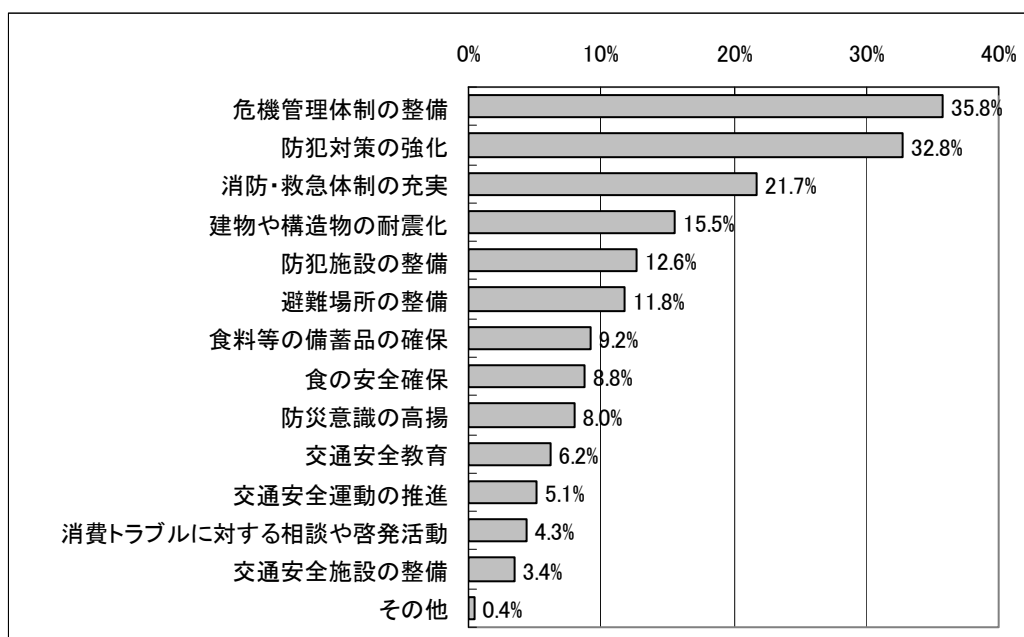
(1) 特に重要な施策

「防犯・防災・交通安全・消費者保護に関する分野」において最も重要な施策とされたのは「危機管理体制の整備」（35.8%）で、「防犯対策の強化」（32.8%）、「消防・救急体制の充実」（21.7%）が続いている。

類型	回答数（件）	選択割合（%）
危機管理体制の整備	970	35.8%
防犯対策の強化	887	32.8%
消防・救急体制の充実	588	21.7%
建物や構造物の耐震化	419	15.5%
防犯施設の整備	342	12.6%
避難場所の整備	319	11.8%
食料等の備蓄品の確保	250	9.2%
食の安全確保	237	8.8%
防災意識の高揚	217	8.0%
交通安全教育	168	6.2%
交通安全運動の推進	139	5.1%
消費トラブルに対する相談や啓発活動	117	4.3%
交通安全施設の整備	92	3.4%
その他	12	0.4%
合計	4,757	—

\*注1：複数回答可能（2項目まで）のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数（=2,707票）に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

「危機管理体制の整備」を最重要視している地区が多いが、筑波地区と桜地区では「防犯対策の強化」が第1位となっている。

類型	重要とされている上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	防犯対策の強化 (108件 32.6%)	危機管理体制の整備 (103件 31.1%)	消防・救急体制の充実 (78件 23.6%)
大穂地区 (n=256)	危機管理体制の整備 (91件 35.5%)	防犯対策の強化 (82件 32.0%)	消防・救急体制の充実 (54件 21.1%)
豊里地区 (n=277)	危機管理体制の整備 (104件 37.5%)	防犯対策の強化 (93件 33.6%)	消防・救急体制の充実 (60件 21.7%)
桜地区 (n=318)	防犯対策の強化 (118件 37.1%)	危機管理体制の整備 (115件 36.2%)	消防・救急体制の充実 (69件 21.7%)
谷田部地区 (n=440)	危機管理体制の整備 (144件 32.7%)	防犯対策の強化 (142件 32.3%)	消防・救急体制の充実 (94件 21.4%)
荃崎地区 (n=344)	危機管理体制の整備 (159件 46.2%)	防犯対策の強化 (91件 26.5%)	消防・救急体制の充実 (70件 20.3%)
学園地区 (n=599)	危機管理体制の整備 (223件 37.2%)	防犯対策の強化 (207件 34.6%)	消防・救急体制の充実 (127件 21.2%)

\*注：()内の%は地区回収数(=n)に対する各項目の回答数の割合である。



## (2) 進んでいる施策

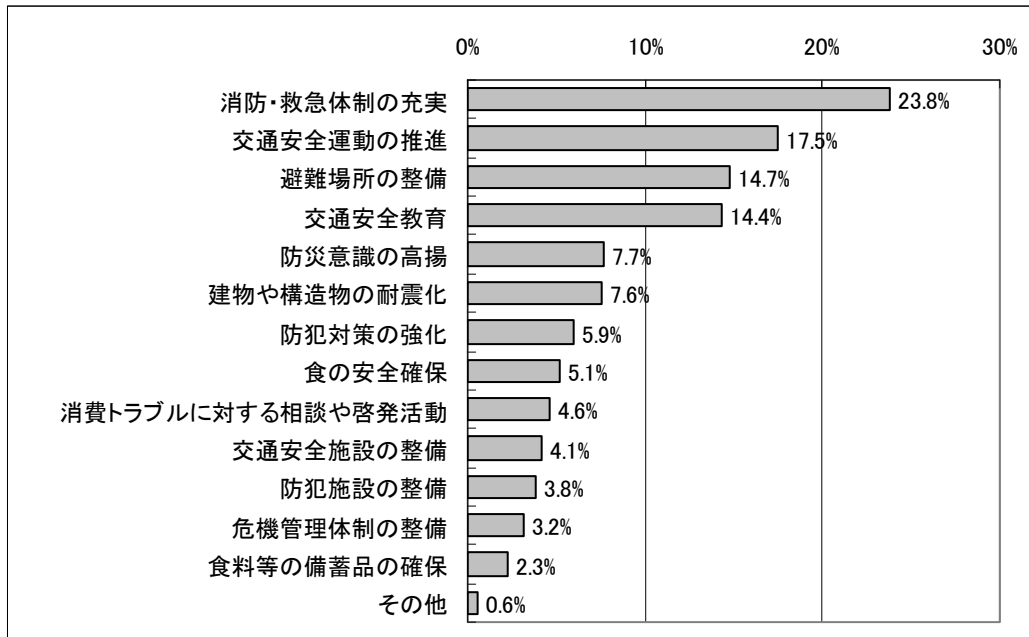
「防犯・防災・交通安全・消費者保護に関する分野」において進捗が評価されているのは、「消防・救急対策の充実」(23.8%)で、「交通安全運動の推進」(17.5%)が続いている。

そのほかには、「避難場所の整備」(14.7%)、「交通安全教育」(14.4%)について相対的に高い評価がされている。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
消防・救急体制の充実	645	23.8%
交通安全運動の推進	474	17.5%
避難場所の整備	399	14.7%
交通安全教育	389	14.4%
防災意識の高揚	209	7.7%
建物や構造物の耐震化	205	7.6%
防犯対策の強化	161	5.9%
食の安全確保	139	5.1%
消費トラブルに対する相談や啓発活動	124	4.6%
交通安全施設の整備	112	4.1%
防犯施設の整備	103	3.8%
危機管理体制の整備	87	3.2%
食料等の備蓄品の確保	62	2.3%
その他	15	0.6%
合計	3,124	—

\*注1：複数回答可能(2項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



### ○ 地区別集計結果

すべての地区で「消防・救急体制の充実」に対する評価が最も高くなっている。「交通安全運動の推進」についても、ほとんどの地区で比較的高い評価を得ている。

類型	進捗がみられる上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	消防・救急体制の充実 (87件 26.3%)	交通安全運動の推進 (70件 21.1%)	交通安全教育 (52件 15.7%)
大穂地区 (n=256)	消防・救急体制の充実 (76件 29.7%)	交通安全運動の推進 (60件 23.4%)	交通安全教育 (39件 15.2%)
豊里地区 (n=277)	消防・救急体制の充実 (90件 32.5%)	交通安全運動の推進 (59件 21.3%)	交通安全教育 (47件 17.0%)
桜地区 (n=318)	消防・救急体制の充実 (81件 25.5%)	交通安全運動の推進 (61件 19.2%)	避難場所の整備 (53件 16.7%)
谷田部地区 (n=440)	消防・救急体制の充実 (106件 24.1%)	交通安全運動の推進 (80件 18.2%)	交通安全教育 (67件 15.2%)
荃崎地区 (n=344)	消防・救急体制の充実 (77件 22.4%)	避難場所の整備 (64件 18.6%)	交通安全教育 (52件 15.1%)
学園地区 (n=599)	消防・救急体制の充実 (110件 18.4%)	避難場所の整備 (105件 17.5%)	交通安全教育 (79件 13.2%)

\*注：○内の%は地区回収数(=n)に対する各項目の回答数の割合である。

### (3) 充実してほしい施策

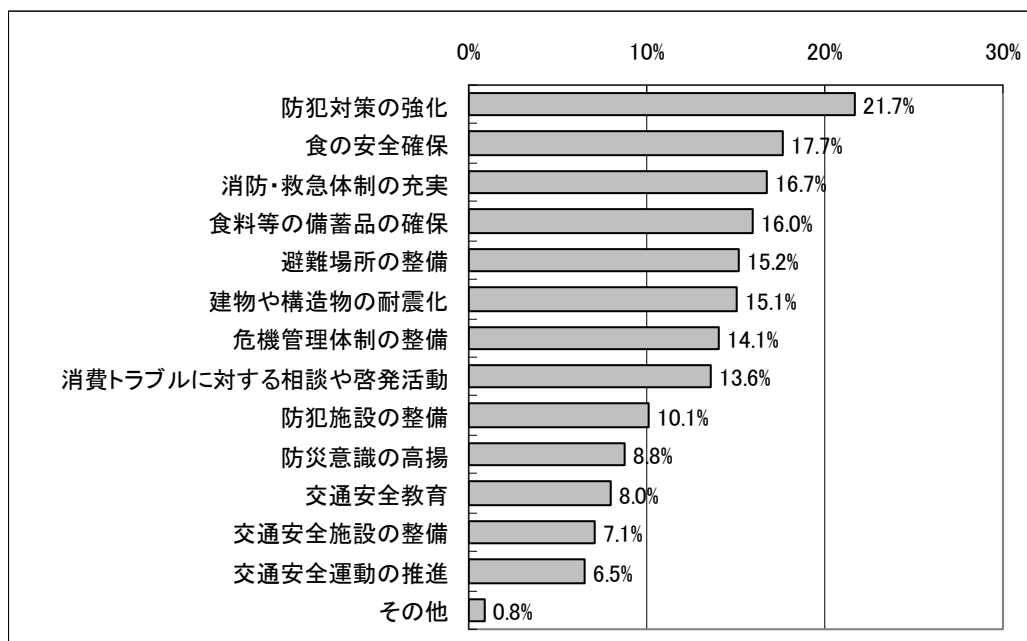
「防犯・防災・交通安全・消費者保護に関する分野」において充実が要望されているのは、「防犯対策の強化」(21.7%)で、「食の安全確保」(17.7%),「消防・救急体制の充実」(16.7%)が続いている。

「消防・救急体制の充実」については、「(2)進んでいる施策」で評価されている割合も高かったが、ここでも比較的高い割合になっている。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
防犯対策の強化	588	21.7%
食の安全確保	478	17.7%
消防・救急体制の充実	452	16.7%
食料等の備蓄品の確保	432	16.0%
避難場所の整備	412	15.2%
建物や構造物の耐震化	408	15.1%
危機管理体制の整備	381	14.1%
消費トラブルに対する相談や啓発活動	367	13.6%
防犯施設の整備	274	10.1%
防災意識の高揚	237	8.8%
交通安全教育	217	8.0%
交通安全施設の整備	193	7.1%
交通安全運動の推進	176	6.5%
その他	23	0.8%
合計	4,638	—

\*注1：複数回答可能(2項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



### ○ 地区別集計結果

「防犯対策の強化」を望む地区が多くなっているが、豊里地区と谷田部地区においては「食の安全確保」への要望が第1位となっている。

類型	充実が要望されている上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	防犯対策の強化 (69件 20.8%)	食の安全確保 (61件 18.4%)	避難場所の整備 (57件 17.2%)
大穂地区 (n=256)	防犯対策の強化 (55件 21.5%)	食の安全確保 (48件 18.8%)	避難場所の整備 (47件 18.4%)
豊里地区 (n=277)	食の安全確保 (60件 21.7%)	防犯対策の強化 (58件 20.9%)	消費トラブルに対する 相談や啓発活動 (49件 17.7%)
桜地区 (n=318)	防犯対策の強化 (64件 20.1%)	消防・救急体制の充実 (58件 18.2%)	食の安全確保 (54件 17.0%)
谷田部地区 (n=440)	食の安全確保 (86件 19.5%)	防犯対策の強化 (85件 19.3%)	食料等の備蓄品の確保 (74件 16.8%)
荃崎地区 (n=344)	防犯対策の強化 (73件 21.2%)	消防・救急体制の充実 (71件 20.6%)	食の安全確保 (69件 20.1%)
学園地区 (n=599)	防犯対策の強化 (162件 27.0%)	消防・救急体制の充実 (109件 18.2%)	建物や構造物の耐震化 (98件 16.4%)

\*注：()内の%は地区回収数 (=n) に対する各項目の回答数の割合である。

## 問 19 互いに助け合う心安らくまちづくり（福祉・健康・医療・社会保障）

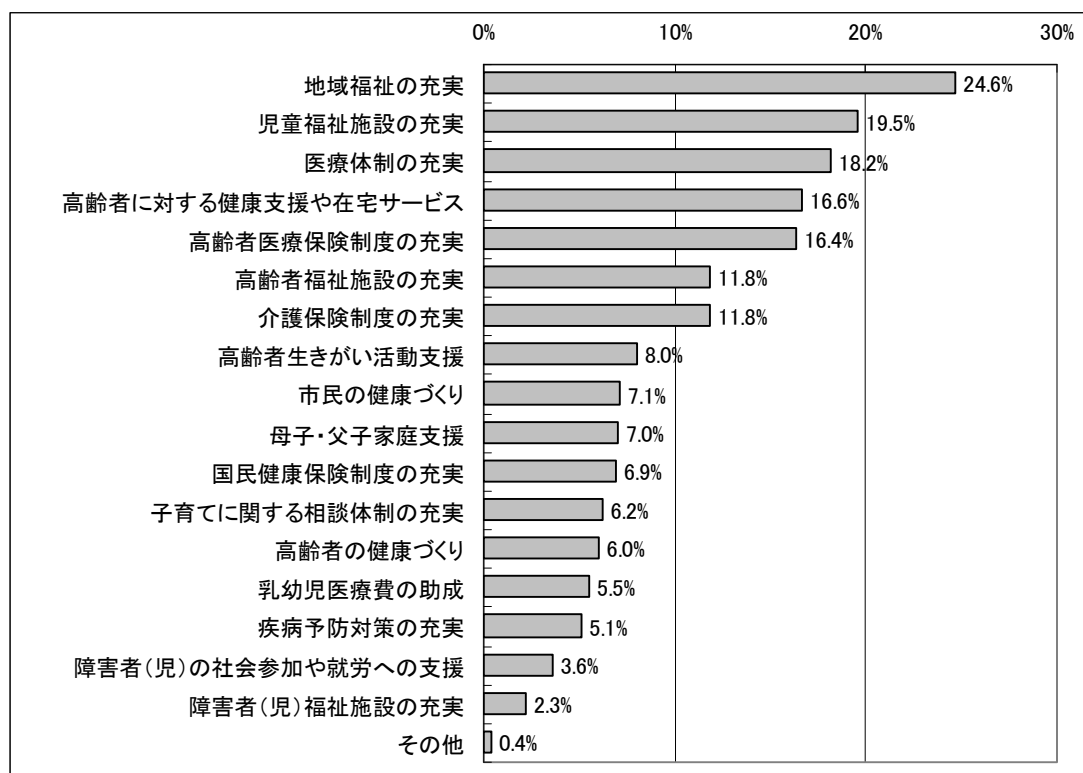
### (1) 特に重要な施策

「福祉・健康・医療・社会保障に関する分野」において最も重要な施策とされたのは「地域福祉の充実」（24.6%）で、「児童福祉施設の充実」（19.5%）、「医療体制の充実」（18.2%）が続いている。

類型	回答数（件）	選択割合（%）
地域福祉の充実	667	24.6%
児童福祉施設の充実	529	19.5%
医療体制の充実	492	18.2%
高齢者に対する健康支援や在宅サービス	450	16.6%
高齢者医療保険制度の充実	443	16.4%
高齢者福祉施設の充実	320	11.8%
介護保険制度の充実	320	11.8%
高齢者生きがい活動支援	217	8.0%
市民の健康づくり	193	7.1%
母子・父子家庭支援	189	7.0%
国民健康保険制度の充実	187	6.9%
子育てに関する相談体制の充実	168	6.2%
高齢者の健康づくり	163	6.0%
乳幼児医療費の助成	150	5.5%
疾病予防対策の充実	138	5.1%
障害者（児）の社会参加や就労への支援	98	3.6%
障害者（児）福祉施設の充実	61	2.3%
その他	12	0.4%
合計	4,797	—

\*注1：複数回答可能（2項目まで）のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数（=2,707票）に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

学園地区を除いて「地域福祉の充実」を最重要視している。学園地区では「児童福祉施設の充実」が第1位となっている。

類型	重要とされている上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	地域福祉の充実 (85件 25.7%)	高齢者医療保険制度の充実 (64件 19.3%)	児童福祉施設の充実 (59件 17.8%)
大穂地区 (n=256)	地域福祉の充実 (56件 21.9%)	高齢者に対する健康支援 や在宅サービス (55件 21.5%)	児童福祉施設の充実 高齢者医療保険制度の充実 (49件 19.1%)
豊里地区 (n=277)	地域福祉の充実 (71件 25.6%)	医療体制の充実 (51件 18.4%)	児童福祉施設の充実 (49件 17.7%)
桜地区 (n=318)	地域福祉の充実 (89件 28.0%)	高齢者に対する健康支援 や在宅サービス (63件 19.8%)	児童福祉施設の充実 (57件 17.9%)
谷田部地区 (n=440)	地域福祉の充実 (98件 22.3%)	児童福祉施設の充実 (86件 19.5%)	医療体制の充実 (82件 18.6%)
荃崎地区 (n=344)	地域福祉の充実 (103件 29.9%)	高齢者医療保険制度の充実 (70件 20.3%)	医療体制の充実 (64件 18.6%)
学園地区 (n=599)	児童福祉施設の充実 (157件 26.2%)	地域福祉の充実 (141件 23.5%)	医療体制の充実 (137件 22.9%)

\*注：( )内の%は地区回収数(=n)に対する各項目の回答数の割合である。

## (2) 進んでいる施策

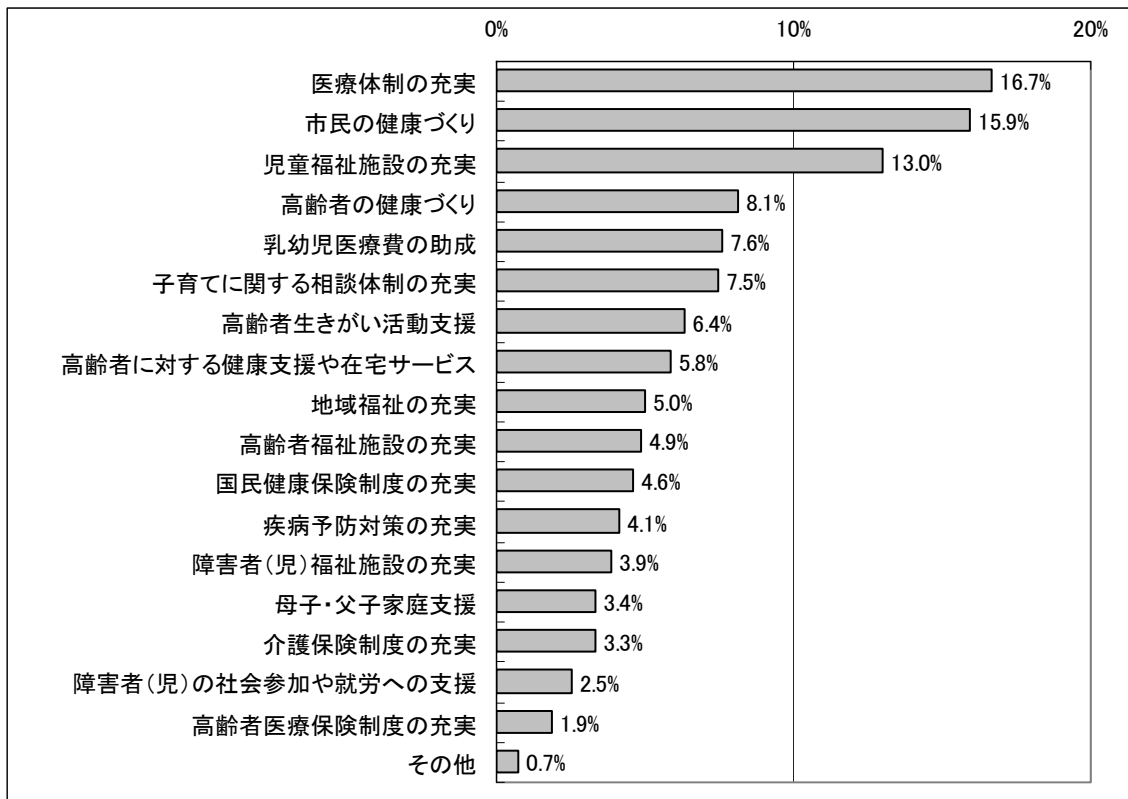
「福祉・健康・医療・社会保障に関する分野」において進捗が評価されているのは、「医療体制の充実」（16.7%）で、「市民の健康づくり」（15.9%）が続いている。保健・医療に関する施策は比較的评价が高いといえる。

そのほかには、「児童福祉施設の充実」（13.0%）が比較的高い評価となっている。

類型	回答数（件）	選択割合（%）
医療体制の充実	451	16.7%
市民の健康づくり	431	15.9%
児童福祉施設の充実	352	13.0%
高齢者の健康づくり	220	8.1%
乳幼児医療費の助成	206	7.6%
子育てに関する相談体制の充実	203	7.5%
高齢者生きがい活動支援	172	6.4%
高齢者に対する健康支援や在宅サービス	158	5.8%
地域福祉の充実	135	5.0%
高齢者福祉施設の充実	132	4.9%
国民健康保険制度の充実	124	4.6%
疾病予防対策の充実	111	4.1%
障害者（児）福祉施設の充実	105	3.9%
母子・父子家庭支援	91	3.4%
介護保険制度の充実	90	3.3%
障害者（児）の社会参加や就労への支援	68	2.5%
高齢者医療保険制度の充実	51	1.9%
その他	19	0.7%
合計	3,119	—

\*注1：複数回答可能（2項目まで）のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数（=2,707票）に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

各地区とも「医療体制の充実」や「市民の健康づくり」が高い評価となっている。

類型	進捗がみられる上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	医療体制の充実 (56件 16.9%)	市民の健康づくり (45件 13.6%)	児童福祉施設の充実 (41件 12.4%)
大穂地区 (n=256)	医療体制の充実 (51件 19.9%)	児童福祉施設の充実 (44件 17.2%)	市民の健康づくり (39件 15.2%)
豊里地区 (n=277)	医療体制の充実 (56件 20.2%)	市民の健康づくり (43件 15.5%)	児童福祉施設の充実 (40件 14.4%)
桜地区 (n=318)	医療体制の充実 (67件 21.1%)	市民の健康づくり (57件 17.9%)	児童福祉施設の充実 (54件 17.0%)
谷田部地区 (n=440)	市民の健康づくり (70件 15.9%)	医療体制の充実 (69件 15.7%)	児童福祉施設の充実 (53件 12.0%)
荃崎地区 (n=344)	市民の健康づくり (62件 18.0%)	高齢者の健康づくり (52件 15.1%)	医療体制の充実 (42件 12.2%)
学園地区 (n=599)	市民の健康づくり (100件 16.7%)	医療体制の充実 (96件 16.0%)	児童福祉施設の充実 (70件 11.7%)

\*注：( ) 内の%は地区回収数 (=n) に対する各項目の回答数の割合である。



### (3) 充実してほしい施策

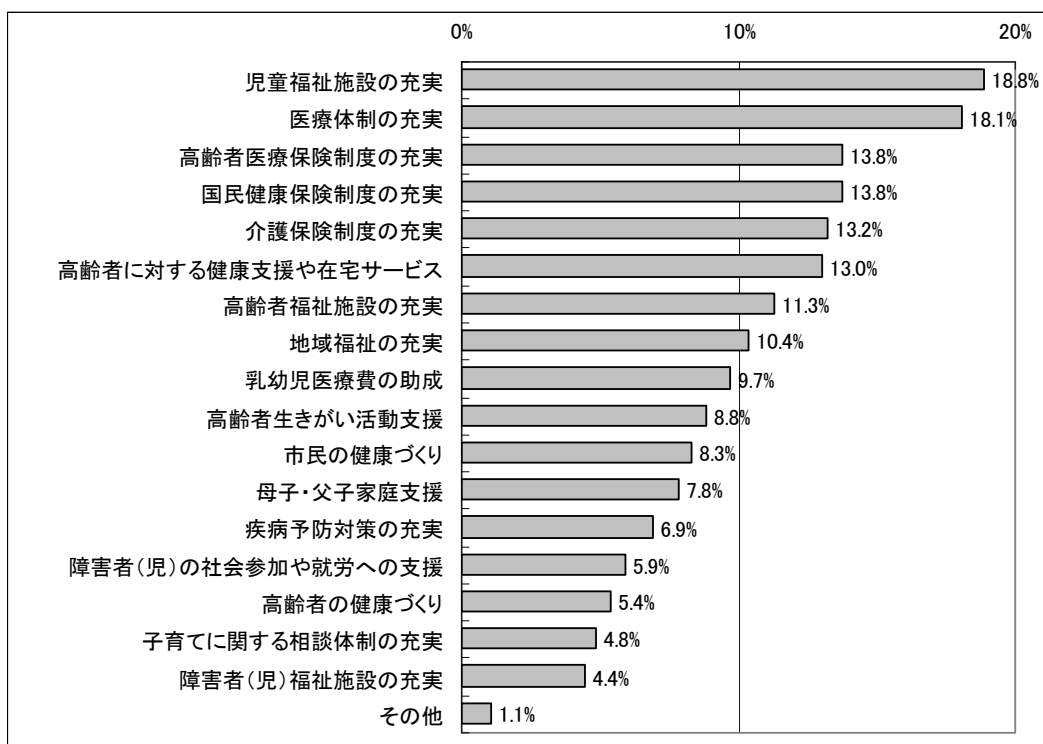
「福祉・健康・医療・社会保障に関する分野」において充実が要望されているのは、「児童福祉施設の充実」(18.8%)となっている。「児童福祉施設の充実」については、(2)の「進んでいる施策」でも高い評価となっているが、さらなる充実を求める声強いことがうかがえる。

「医療体制の充実」(18.1%)についても同様のことがいえる。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
児童福祉施設の充実	510	18.8%
医療体制の充実	490	18.1%
高齢者医療保険制度の充実	373	13.8%
国民健康保険制度の充実	373	13.8%
介護保険制度の充実	358	13.2%
高齢者に対する健康支援や在宅サービス	353	13.0%
高齢者福祉施設の充実	305	11.3%
地域福祉の充実	281	10.4%
乳幼児医療費の助成	263	9.7%
高齢者生きがい活動支援	239	8.8%
市民の健康づくり	225	8.3%
母子・父子家庭支援	212	7.8%
疾病予防対策の充実	187	6.9%
障害者(児)の社会参加や就労への支援	160	5.9%
高齢者の健康づくり	146	5.4%
子育てに関する相談体制の充実	131	4.8%
障害者(児)福祉施設の充実	120	4.4%
その他	29	1.1%
合計	4,755	—

\*注1：複数回答可能(2項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

桜地区・谷田部地区・学園地区で「児童福祉施設」の要望が比較的高くなっているが、地区による差は少ない。

類型	充実が要望されている上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	医療体制の充実 (55件 16.6%)	高齢者医療保険制度の充実 (54件 16.3%)	介護保険制度の充実 (51件 15.4%)
大穂地区 (n=256)	高齢者医療保険制度の充実 (51件 19.9%)	児童福祉施設の充実 (44件 17.2%)	医療体制の充実 国民健康保険制度の充実 (41件 16.0%)
豊里地区 (n=277)	介護保険制度の充実 (47件 17.0%)	児童福祉施設の充実 (46件 16.6%)	医療体制の充実 (45件 16.2%)
桜地区 (n=318)	児童福祉施設の充実 (57件 17.9%)	医療体制の充実 (55件 17.3%)	介護保険制度の充実 (54件 17.0%)
谷田部地区 (n=440)	児童福祉施設の充実 (86件 19.5%)	医療体制の充実 (75件 17.0%)	国民健康保険制度の充実 (67件 15.2%)
荃崎地区 (n=344)	医療体制の充実 (68件 19.8%)	高齢者に対する健康支援 や在宅サービス (58件 16.9%)	児童福祉施設の充実 (57件 16.6%)
学園地区 (n=599)	児童福祉施設の充実 (156件 26.0%)	医療体制の充実 (131件 21.9%)	高齢者に対する健康支援 や在宅サービス 乳幼児医療費の助成 (71件 11.9%)

\*注：( ) 内の%は地区回収数 (=n) に対する各項目の回答数の割合である。

## 問 20 安定した暮らしを支える生き生きとしたまちづくり（産業と観光振興・勤労者福祉）

### (1) 特に重要な施策

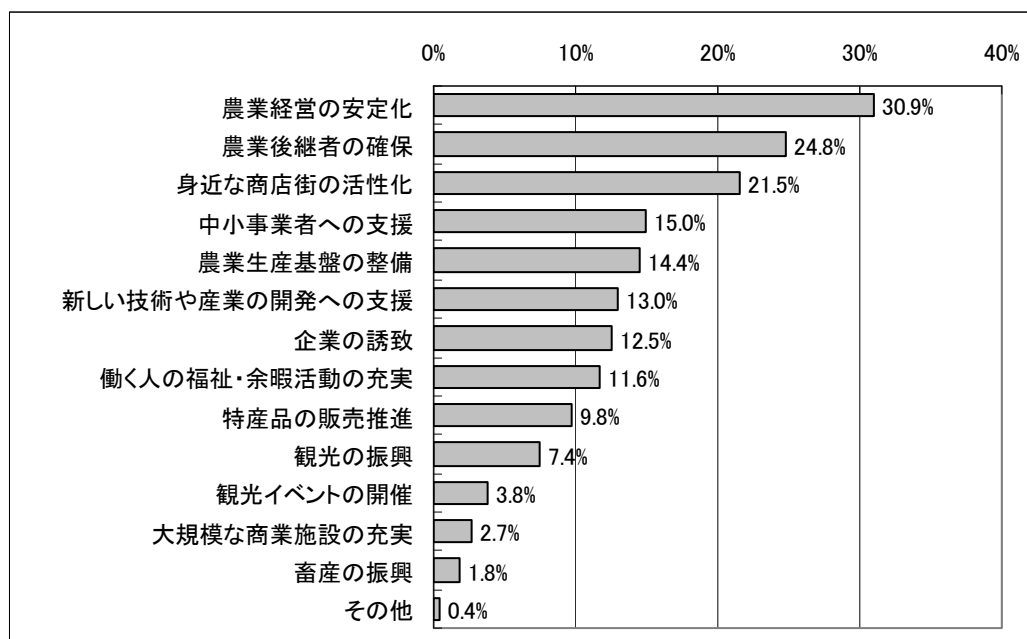
「産業と観光振興・勤労者福祉に関する分野」において、最も重要な施策とされたのは「農業経営の安定化」（30.9%）で「農業後継者の確保」（24.8%）が続いており、農業振興を重要視する意見が多くなっている。

「身近な商店街の活性化」を望む回答も 21.5%にのぼっている。

類型	回答数（件）	選択割合（%）
農業経営の安定化	837	30.9%
農業後継者の確保	670	24.8%
身近な商店街の活性化	582	21.5%
中小事業者への支援	406	15.0%
農業生産基盤の整備	391	14.4%
新しい技術や産業の開発への支援	351	13.0%
企業の誘致	338	12.5%
働く人の福祉・余暇活動の充実	315	11.6%
特産品の販売推進	264	9.8%
観光の振興	201	7.4%
観光イベントの開催	104	3.8%
大規模な商業施設の充実	73	2.7%
畜産の振興	48	1.8%
その他	10	0.4%
合計	4,590	—

\*注1：複数回答可能（2項目まで）のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数（=2,707票）に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

すべての地区で、「農業経営の安定化」を重要視する回答が最多となっている。また、多くの地区で「農業後継者の確保」が続いているが、荃崎地区及び学園地区では「身近な商店街の活性化」が続いている。

類型	重要とされている上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	農業経営の安定化 (116件 35.0%)	農業後継者の確保 (106件 32.0%)	身近な商店街の活性化 (74件 22.4%)
大穂地区 (n=256)	農業経営の安定化 (104件 40.6%)	農業後継者の確保 (67件 26.2%)	身近な商店街の活性化 (52件 20.3%)
豊里地区 (n=277)	農業経営の安定化 (84件 30.3%)	農業後継者の確保 (76件 27.4%)	身近な商店街の活性化 (57件 20.6%)
桜地区 (n=318)	農業経営の安定化 (102件 32.1%)	農業後継者の確保 (85件 26.7%)	身近な商店街の活性化 (78件 24.5%)
谷田部地区 (n=440)	農業経営の安定化 (149件 33.9%)	農業後継者の確保 (110件 25.0%)	身近な商店街の活性化 (82件 18.6%)
荃崎地区 (n=344)	農業経営の安定化 (98件 28.5%)	身近な商店街の活性化 (86件 25.0%)	農業後継者の確保 (71件 20.6%)
学園地区 (n=599)	農業経営の安定化 (143件 23.9%)	身近な商店街の活性化 (130件 21.7%)	農業後継者の確保 (122件 20.4%)

\*注：( )内の%は地区回収数 (=n) に対する各項目の回答数の割合である。

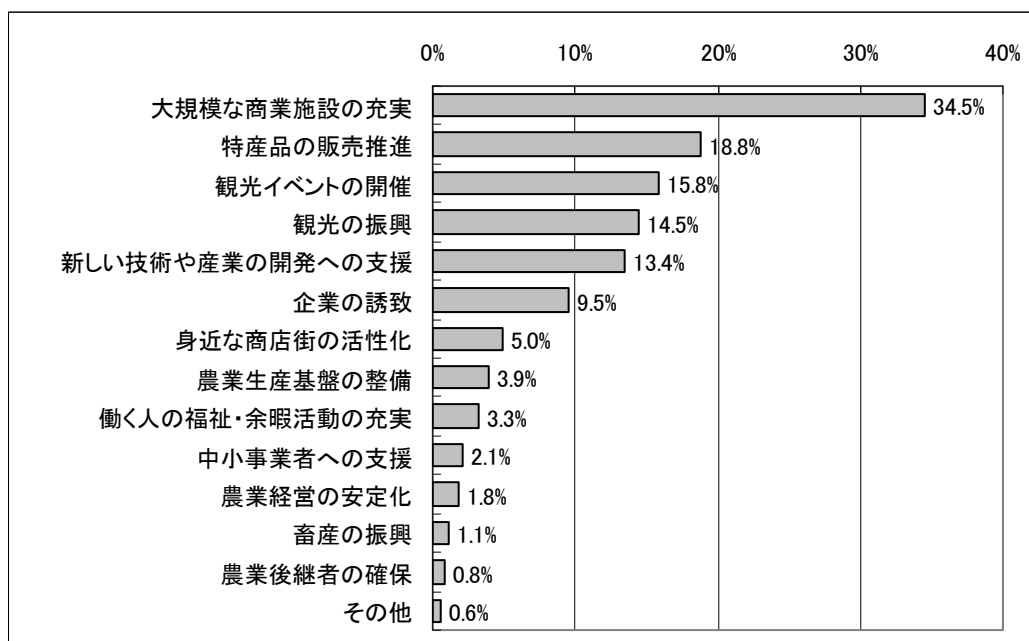
## (2) 進んでいる施策

「産業と観光振興・勤労者福祉に関する分野」において、進捗が評価されているのは、「大規模な商業施設の充実」(34.5%)が最も高く、近年の大型ショッピングセンターの進出を肯定的にとらえている意見であるといえる。次いで、「特産品の販売推進」(18.8%)、「観光イベントの開催」(15.8%)が続いている。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
大規模な商業施設の充実	934	34.5%
特産品の販売推進	509	18.8%
観光イベントの開催	429	15.8%
観光の振興	393	14.5%
新しい技術や産業の開発への支援	364	13.4%
企業の誘致	257	9.5%
身近な商店街の活性化	134	5.0%
農業生産基盤の整備	106	3.9%
働く人の福祉・余暇活動の充実	88	3.3%
中小事業者への支援	58	2.1%
農業経営の安定化	49	1.8%
畜産の振興	30	1.1%
農業後継者の確保	22	0.8%
その他	16	0.6%
合計	3,389	—

\*注1：複数回答可能(2項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

すべての地区で「大規模な商業施設の充実」が第1位となっている。また、「特産品の販売促進」が続いている地区が多いが、荃崎地区では「観光の振興」が第2位となっている。

類型	進捗がみられる上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	大規模な商業施設の充実 (96件 29.0%)	特産品の販売推進 (76件 23.0%)	観光イベントの開催 (55件 16.6%)
大穂地区 (n=256)	大規模な商業施設の充実 (105件 41.0%)	特産品の販売推進 (45件 17.6%)	観光イベントの開催 (41件 16.0%)
豊里地区 (n=277)	大規模な商業施設の充実 (98件 35.4%)	特産品の販売推進 (56件 20.2%)	観光イベントの開催 (50件 18.1%)
桜地区 (n=318)	大規模な商業施設の充実 (121件 38.1%)	特産品の販売推進 (58件 18.2%)	観光イベントの開催 (55件 17.3%)
谷田部地区 (n=440)	大規模な商業施設の充実 (159件 36.1%)	特産品の販売推進 (88件 20.0%)	観光イベントの開催 (63件 14.3%)
荃崎地区 (n=344)	大規模な商業施設の充実 (105件 30.5%)	観光の振興 (61件 17.7%)	観光イベントの開催 (60件 17.4%)
学園地区 (n=599)	大規模な商業施設の充実 (223件 37.2%)	特産品の販売推進 (114件 19.0%)	観光イベントの開催 (94件 15.7%)

\*注：()内の%は地区回収数(=n)に対する各項目の回答数の割合である。

### (3) 充実してほしい施策

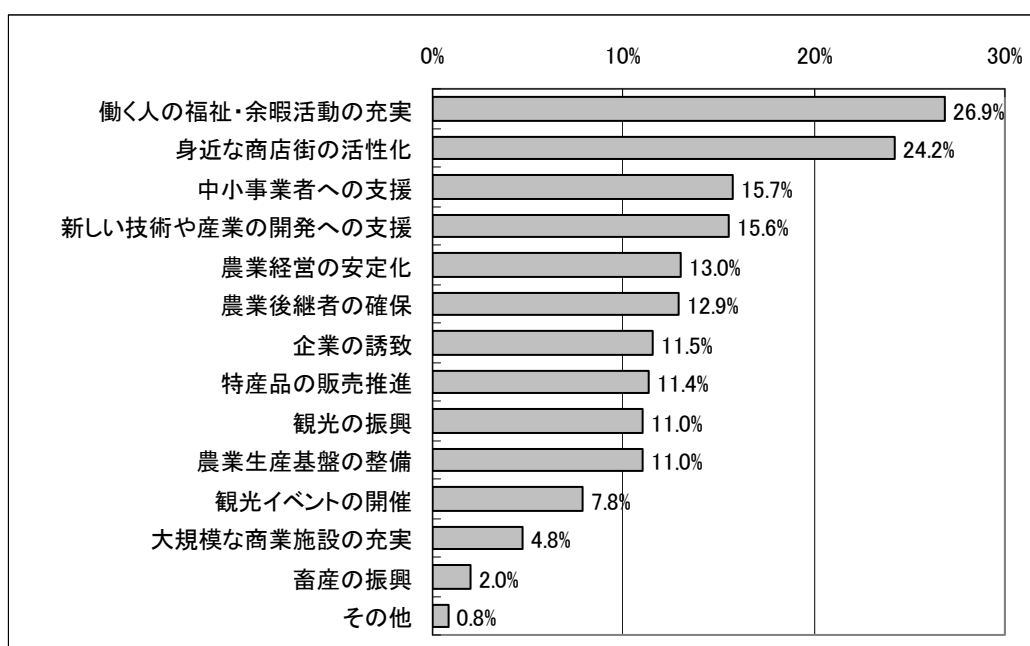
「産業と観光振興・勤労者福祉に関する分野」において、充実が要望されているのは、「働く人の福祉・余暇活動の充実」(26.9%)となっている。

「身近な商店街の活性化」(24.2%)が続いており、(2)の「進んでいる施策」として評価されている大規模な商業施設との両立が求められる。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
働く人の福祉・余暇活動の充実	727	26.9%
身近な商店街の活性化	656	24.2%
中小事業者への支援	425	15.7%
新しい技術や産業の開発への支援	421	15.6%
農業経営の安定化	352	13.0%
農業後継者の確保	350	12.9%
企業の誘致	312	11.5%
特産品の販売推進	308	11.4%
観光の振興	299	11.0%
農業生産基盤の整備	298	11.0%
観光イベントの開催	212	7.8%
大規模な商業施設の充実	129	4.8%
畜産の振興	53	2.0%
その他	22	0.8%
合計	4,564	—

\*注1：複数回答可能(2項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

荃崎地区を除いて、「働く人の福祉・余暇活動の充実」を望む回答が最多となっている。荃崎地区では「身近な商店街の活性化」に対する要望が最も多くなっている。

類型	充実が要望されている上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	働く人の福祉・余暇活動の充実 (96件 29.0%)	身近な商店街の活性化 (92件 27.8%)	中小事業者への支援 (53件 16.0%)
大穂地区 (n=256)	働く人の福祉・余暇活動の充実 (74件 28.9%)	身近な商店街の活性化 (57件 22.3%)	中小事業者への支援 (51件 19.9%)
豊里地区 (n=277)	働く人の福祉・余暇活動の充実 (88件 31.8%)	身近な商店街の活性化 (63件 22.7%)	農業経営の安定化 (48件 17.3%)
桜地区 (n=318)	働く人の福祉・余暇活動の充実 (83件 26.1%) 身近な商店街の活性化 (83件 26.1%)		中小事業者への支援 (64件 20.1%)
谷田部地区 (n=440)	働く人の福祉・余暇活動の充実 (120件 27.3%)	身近な商店街の活性化 (96件 21.8%)	新しい技術や産業の開発への支援 (68件 15.5%)
荃崎地区 (n=344)	身近な商店街の活性化 (99件 28.8%)	働く人の福祉・余暇活動の充実 (83件 24.1%)	新しい技術や産業の開発への支援 (71件 20.6%)
学園地区 (n=599)	働く人の福祉・余暇活動の充実 (152件 25.4%)	身近な商店街の活性化 (136件 22.7%)	新しい技術や産業の開発への支援 (98件 16.4%)

\*注：( ) 内の%は地区回収数 (=n) に対する各項目の回答数の割合である。



問 21 健やかな人を育む教育・スポーツのまちづくり（教育・青少年育成・生涯学習・文化振興）

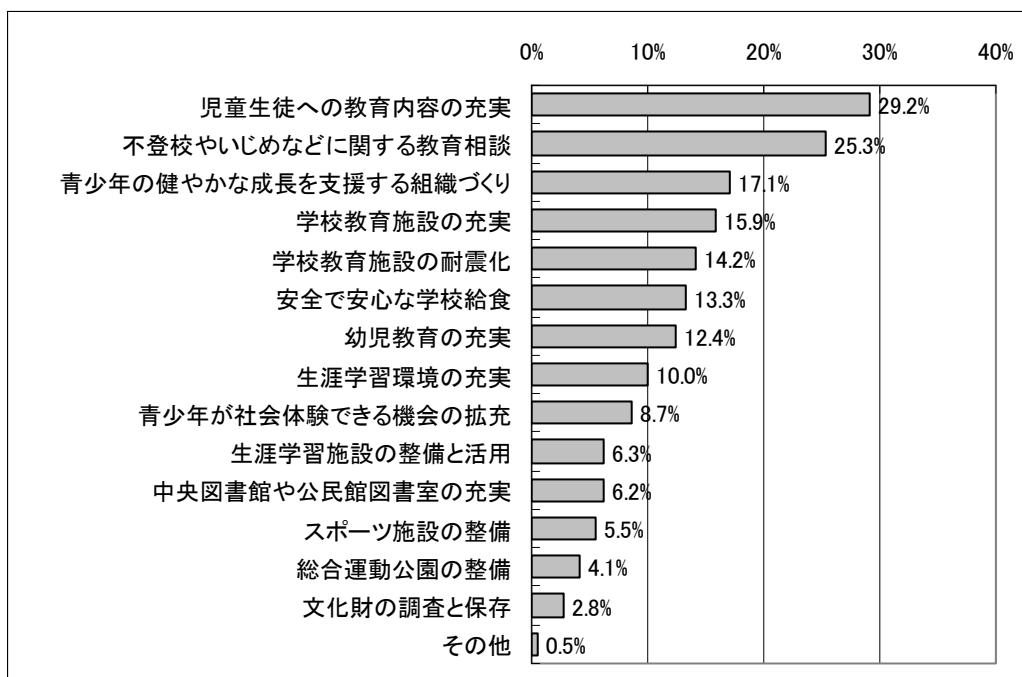
(1) 特に重要な施策

「教育・青少年育成・生涯学習・文化振興に関する分野」において最も重要な施策とされたのは「児童生徒への教育内容の充実」（29.2%）で、「不登校やいじめなどに関する教育相談」（25.3%）,「青少年の健やかな成長を支援する組織づくり」（17.1%）が続いている。

類型	回答数（件）	選択割合（%）
児童生徒への教育内容の充実	791	29.2%
不登校やいじめなどに関する教育相談	686	25.3%
青少年の健やかな成長を支援する組織づくり	463	17.1%
学校教育施設の充実	431	15.9%
学校教育施設の耐震化	385	14.2%
安全で安心な学校給食	359	13.3%
幼児教育の充実	336	12.4%
生涯学習環境の充実	271	10.0%
青少年が社会体験できる機会の拡充	235	8.7%
生涯学習施設の整備と活用	170	6.3%
中央図書館や公民館図書室の充実	168	6.2%
スポーツ施設の整備	149	5.5%
総合運動公園の整備	112	4.1%
文化財の調査と保存	75	2.8%
その他	13	0.5%
合計	4,644	—

\*注1：複数回答可能（2項目まで）のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数（=2,707票）に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

「児童生徒への教育内容の充実」を重要視する回答と「不登校やいじめなどに関する教育相談」を第1位と回答する地区とに分かれている。

類型	重要とされている上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	不登校やいじめなどに関する教育相談 (92件 27.8%)	児童生徒への教育内容の充実 (90件 27.2%)	学校教育施設の充実 (52件 15.7%)
大穂地区 (n=256)	児童生徒への教育内容の充実 (76件 29.7%)	不登校やいじめなどに関する教育相談 (70件 27.3%)	学校教育施設の充実 (49件 19.1%)
豊里地区 (n=277)	不登校やいじめなどに関する教育相談 (81件 29.2%)	児童生徒への教育内容の充実 (80件 28.9%)	青少年の健やかな成長を支援する組織づくり (60件 21.7%)
桜地区 (n=318)	児童生徒への教育内容の充実 (102件 32.1%)	不登校やいじめなどに関する教育相談 (77件 24.2%)	青少年の健やかな成長を支援する組織づくり (58件 18.2%)
谷田部地区 (n=440)	児童生徒への教育内容の充実 (139件 31.6%)	不登校やいじめなどに関する教育相談 (109件 24.8%)	学校教育施設の耐震化 (73件 16.6%)
荃崎地区 (n=344)	不登校やいじめなどに関する教育相談 (96件 27.9%)	児童生徒への教育内容の充実 (92件 26.7%)	青少年の健やかな成長を支援する組織づくり (69件 20.1%)
学園地区 (n=599)	児童生徒への教育内容の充実 (179件 29.9%)	不登校やいじめなどに関する教育相談 (131件 21.9%)	学校教育施設の充実 (107件 17.9%)

\*注：()内の%は地区回収数(=n)に対する各項目の回答数の割合である。

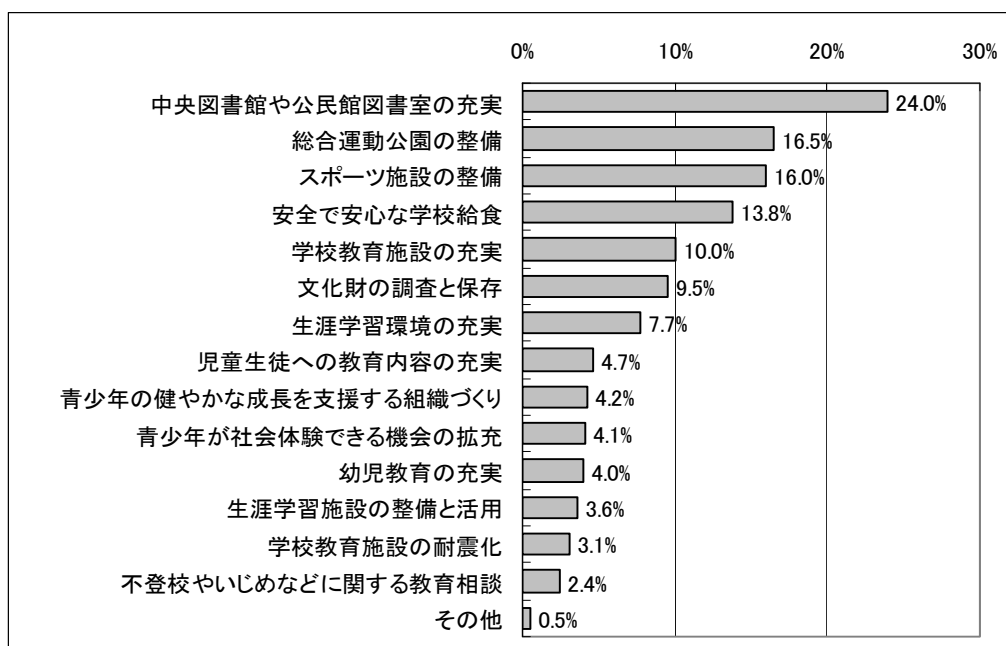
## (2) 進んでいる施策

「教育・青少年育成・生涯学習・文化振興に関する分野」において、進捗が評価されているのは「中央図書館や公民館図書室の充実」(24.0%)で、「総合運動公園の整備」(16.5%),「スポーツ施設の整備」(16.0%)が続いている。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
中央図書館や公民館図書室の充実	649	24.0%
総合運動公園の整備	447	16.5%
スポーツ施設の整備	432	16.0%
安全で安心な学校給食	374	13.8%
学校教育施設の充実	272	10.0%
文化財の調査と保存	258	9.5%
生涯学習環境の充実	208	7.7%
児童生徒への教育内容の充実	126	4.7%
青少年の健やかな成長を支援する組織づくり	114	4.2%
青少年が社会体験できる機会の拡充	111	4.1%
幼児教育の充実	109	4.0%
生涯学習施設の整備と活用	98	3.6%
学校教育施設の耐震化	85	3.1%
不登校やいじめなどに関する教育相談	65	2.4%
その他	13	0.5%
合計	3,361	—

\*注1：複数回答可能(2項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

荳崎地区を除いて、「中央図書館や公民館図書室の充実」を評価する回答が最多となっている。荳崎地区では「総合運動公園の整備」に対する評価が高くなっている。

類型	進捗がみられる上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	中央図書館や公民館図書室の充実 (72件 21.8%)	安全で安心な学校給食 (52件 15.7%)	文化財の調査と保存 (45件 13.6%)
大穂地区 (n=256)	中央図書館や公民館図書室の充実 (71件 27.7%)	総合運動公園の整備 (45件 17.6%)	安全で安心な学校給食 (39件 15.2%)
豊里地区 (n=277)	中央図書館や公民館図書室の充実 (72件 26.0%)	安全で安心な学校給食 (52件 18.8%)	総合運動公園の整備 (38件 13.7%)
桜地区 (n=318)	中央図書館や公民館図書室の充実 (95件 29.9%)	スポーツ施設の整備 (58件 18.2%)	安全で安心な学校給食 総合運動公園の整備 (50件 15.7%)
谷田部地区 (n=440)	中央図書館や公民館図書室の充実 (98件 22.3%)	総合運動公園の整備 (86件 19.5%)	スポーツ施設の整備 (78件 17.7%)
荳崎地区 (n=344)	総合運動公園の整備 (86件 25.0%)	中央図書館や公民館図書室の充実 (61件 17.7%)	スポーツ施設の整備 (57件 16.6%)
学園地区 (n=599)	中央図書館や公民館図書室の充実 (160件 26.7%)	スポーツ施設の整備 (122件 20.4%)	総合運動公園の整備 (100件 16.7%)

\*注：()内の%は地区回収数(=n)に対する各項目の回答数の割合である。

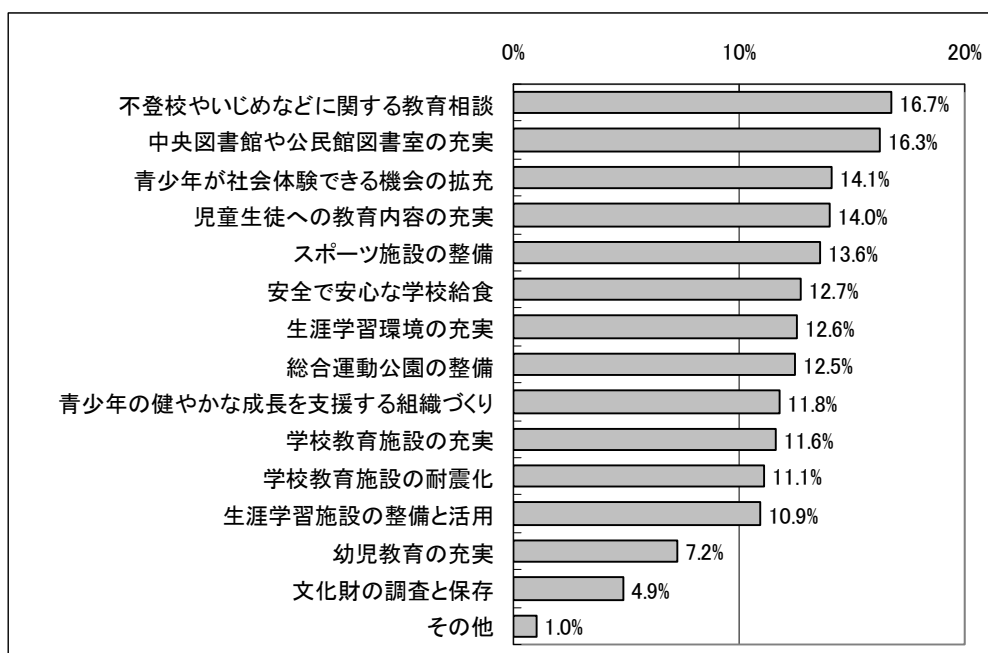
### (3) 充実してほしい施策

「教育・青少年育成・生涯学習・文化振興に関する分野」において、充実が要望されているのは「不登校やいじめなどに関する教育相談」（16.7%）、「中央図書館や公民館図書室の充実」（16.3%）などが相対的に高いが、施策相互の差異は大きくない。

類型	回答数（件）	選択割合（%）
不登校やいじめなどに関する教育相談	453	16.7%
中央図書館や公民館図書室の充実	440	16.3%
青少年が社会体験できる機会の拡充	381	14.1%
児童生徒への教育内容の充実	380	14.0%
スポーツ施設の整備	369	13.6%
安全で安心な学校給食	344	12.7%
生涯学習環境の充実	341	12.6%
総合運動公園の整備	338	12.5%
青少年の健やかな成長を支援する組織づくり	320	11.8%
学校教育施設の充実	315	11.6%
学校教育施設の耐震化	301	11.1%
生涯学習施設の整備と活用	296	10.9%
幼児教育の充実	196	7.2%
文化財の調査と保存	133	4.9%
その他	28	1.0%
合計	4,635	—

\*注1：複数回答可能（2項目まで）のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数（=2,707票）に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

様々な項目について、充実を求める回答がみられ、地区ごとの特徴はあまり見られない。

類型	充実が要望されている上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	総合運動公園の整備 (61件 18.4%)	不登校やいじめなどに関する教育相談 (50件 15.1%)	スポーツ施設の整備 (49件 14.8%)
大穂地区 (n=256)	総合運動公園の整備 (47件 18.4%)	不登校やいじめなどに関する教育相談 (45件 17.6%)	中央図書館や公民館図書室の充実 (43件 16.8%)
豊里地区 (n=277)	不登校やいじめなどに関する教育相談 (54件 19.5%)	スポーツ施設の整備 (49件 17.7%)	学校教育施設の充実 (40件 14.4%)
桜地区 (n=318)	生涯学習環境の充実 (53件 16.7%)	青少年の健やかな成長を支援する組織づくり (49件 15.4%) 中央図書館や公民館図書室の充実 (49件 15.4%)	
谷田部地区 (n=440)	中央図書館や公民館図書室の充実 (69件 15.7%)	不登校やいじめなどに関する教育相談 (68件 15.5%)	児童生徒への教育内容の充実 (65件 14.8%)
荃崎地区 (n=344)	中央図書館や公民館図書室の充実 (62件 18.0%)	青少年が社会体験できる機会の拡充 (61件 17.7%)	不登校やいじめなどに関する教育相談 (56件 16.3%)
学園地区 (n=599)	中央図書館や公民館図書室の充実 (136件 22.7%)	不登校やいじめなどに関する教育相談 (104件 17.4%)	児童生徒への教育内容の充実 (95件 15.9%)

\*注：()内の%は地区回収数(=n)に対する各項目の回答数の割合である。

問 22 効率的・効果的で健全な都市経営（行財政改革・電子市役所の構築・地方分権への対応・情報の共有と市民参加）

(1) 特に重要な施策

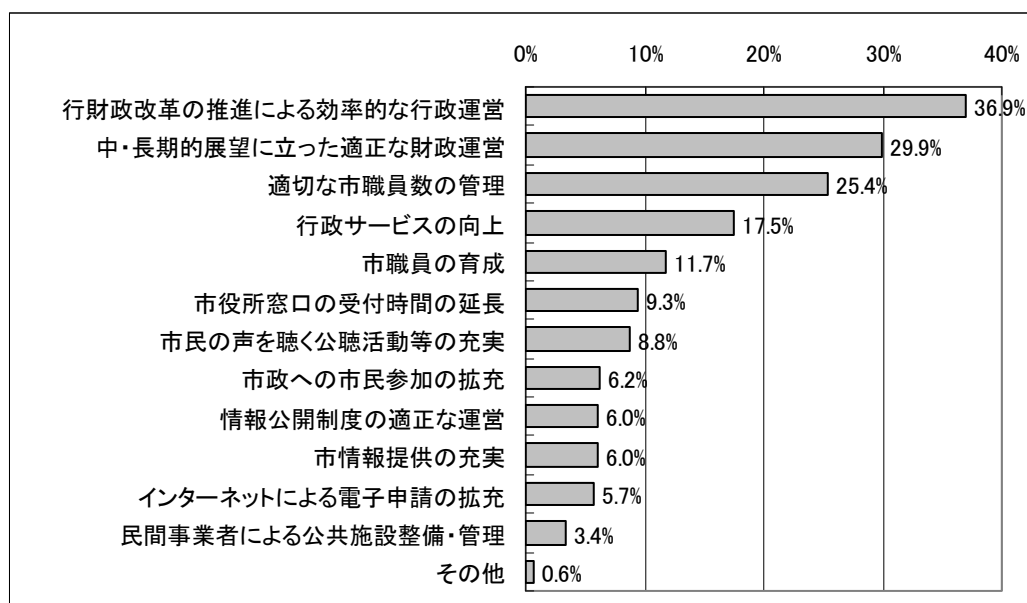
「行財政改革・電子市役所の構築・地方分権への対応・情報の共有と市民参加に関する分野」において、最も重要な施策とされたのは「行財政改革の推進による効率的な行政運営」（36.9%）となっている。

次いで、「中・長期的展望に立った適正な財政運営」（29.9%）、「適切な市職員数の管理」（25.4%）が続いている。

類型	回答数（件）	選択割合（%）
行財政改革の推進による効率的な行政運営	999	36.9%
中・長期的展望に立った適正な財政運営	810	29.9%
適切な市職員数の管理	688	25.4%
行政サービスの向上	473	17.5%
市職員の育成	317	11.7%
市役所窓口の受付時間の延長	253	9.3%
市民の声を聴く公聴活動等の充実	237	8.8%
市政への市民参加の拡充	168	6.2%
情報公開制度の適正な運営	163	6.0%
市情報提供の充実	162	6.0%
インターネットによる電子申請の拡充	154	5.7%
民間事業者による公共施設整備・管理	91	3.4%
その他	17	0.6%
合計	4,532	—

\*注1：複数回答可能（2項目まで）のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数（=2,707票）に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

すべての地区で「行財政改革の推進による効率的な行政運営」を重要視する回答が最多となっている。また、多くの地区で「中・長期的な展望に立った適正な財政運営」が続いている。

類型	重要とされている上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	行財政改革の推進による効率的な行政運営 (122件 36.9%)	適切な市職員数の管理 (90件 27.2%)	中・長期的展望に立った適正な財政運営 (83件 25.1%)
大穂地区 (n=256)	行財政改革の推進による効率的な行政運営 (87件 34.0%)	適切な市職員数の管理 (76件 29.7%)	中・長期的展望に立った適正な財政運営 (58件 22.7%)
豊里地区 (n=277)	行財政改革の推進による効率的な行政運営 (91件 32.9%)	適切な市職員数の管理 (85件 30.7%)	中・長期的展望に立った適正な財政運営 (76件 27.4%)
桜地区 (n=318)	行財政改革の推進による効率的な行政運営 (121件 38.1%)	中・長期的展望に立った適正な財政運営 (103件 32.4%)	適切な市職員数の管理 (80件 25.2%)
谷田部地区 (n=440)	行財政改革の推進による効率的な行政運営 (151件 34.3%)	中・長期的展望に立った適正な財政運営 (145件 33.0%)	適切な市職員数の管理 (122件 27.7%)
荃崎地区 (n=344)	行財政改革の推進による効率的な行政運営 (153件 44.5%)	中・長期的展望に立った適正な財政運営 (109件 31.7%)	適切な市職員数の管理 (79件 23.0%)
学園地区 (n=599)	行財政改革の推進による効率的な行政運営 (237件 39.6%)	中・長期的展望に立った適正な財政運営 (207件 34.6%)	行政サービスの向上 (127件 21.2%)

\*注：()内の%は地区回収数(=n)に対する各項目の回答数の割合である。



## (2) 進んでいる施策

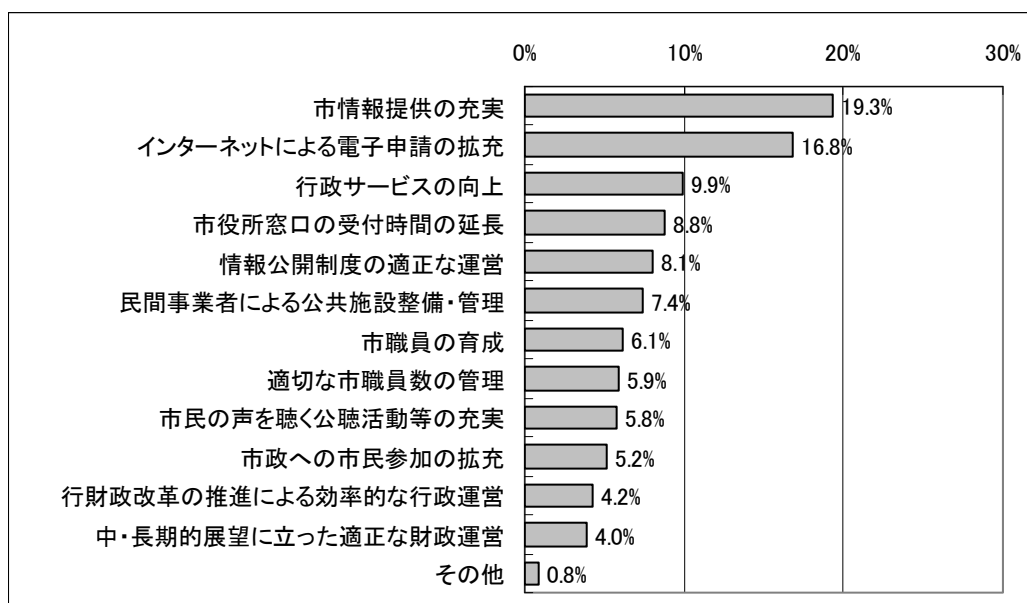
「行財政改革・電子市役所の構築・地方分権への対応・情報の共有と市民参加に関する分野」において、進捗が評価されているのは「市情報提供の充実」(19.3%)となっている。

「インターネットによる電子申請の拡充」(16.8%)が続いている。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
市情報提供の充実	522	19.3%
インターネットによる電子申請の拡充	456	16.8%
行政サービスの向上	267	9.9%
市役所窓口の受付時間の延長	239	8.8%
情報公開制度の適正な運営	218	8.1%
民間事業者による公共施設整備・管理	201	7.4%
市職員の育成	166	6.1%
適切な市職員数の管理	159	5.9%
市民の声を聴く公聴活動等の充実	158	5.8%
市政への市民参加の拡充	141	5.2%
行財政改革の推進による効率的な行政運営	114	4.2%
中・長期的展望に立った適正な財政運営	107	4.0%
その他	23	0.8%
合計	2,771	—

\*注1：複数回答可能(2項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

多くの地区で、「市情報提供の充実」を評価する割合が高くなっている。また、「インターネットによる電子申請の拡充」も、多くの地区で高い評価となっている。

類型	進捗がみられる上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	市情報提供の充実 (74件 22.4%)	インターネットによる 電子申請の拡充 (55件 16.6%)	行政サービスの向上 (38件 11.5%)
大穂地区 (n=256)	インターネットによる 電子申請の拡充 (63件 24.6%)	市情報提供の充実 (53件 20.7%)	市役所窓口の受付時間の延長 (30件 11.7%)
豊里地区 (n=277)	市情報提供の充実 (59件 21.3%)	インターネットによる 電子申請の拡充 (54件 19.5%)	行政サービスの向上 (31件 11.2%)
桜地区 (n=318)	インターネットによる 電子申請の拡充 (60件 18.9%)	市情報提供の充実 (54件 17.0%)	行政サービスの向上 (34件 10.7%)
谷田部地区 (n=440)	市情報提供の充実 (92件 20.9%)	インターネットによる 電子申請の拡充 (76件 17.3%)	行政サービスの向上 (42件 9.5%)
荃崎地区 (n=344)	市情報提供の充実 (79件 23.0%)	インターネットによる 電子申請の拡充 (56件 16.3%)	行政サービスの向上 (37件 10.8%)
学園地区 (n=599)	市情報提供の充実 (100件 16.7%)	インターネットによる 電子申請の拡充 (79件 13.2%)	市役所窓口の受付時間の延長 (65件 10.9%)

\*注：()内の%は地区回収数(=n)に対する各項目の回答数の割合である。

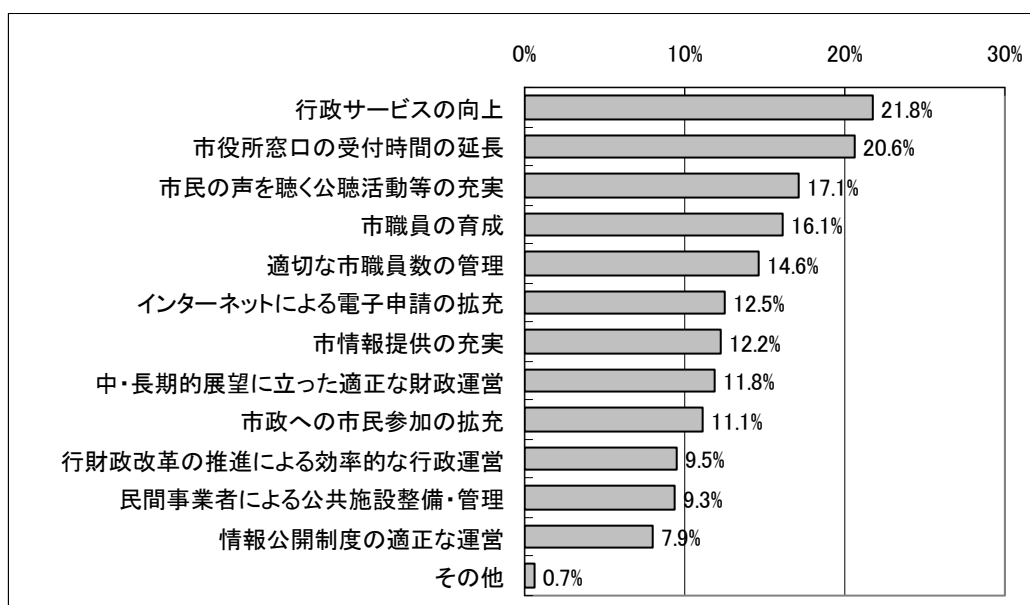
### (3) 充実してほしい施策

「行財政改革・電子市役所の構築・地方分権への対応・情報の共有と市民参加に関する分野」において、充実が要望されているのは、「行政サービスの向上」(21.8%)となっている。次いで、「市役所窓口の受付時間の延長」(20.6%)が続いているが、施策相互の差異は、あまり大きくない。

類型	回答数(件)	選択割合(%)
行政サービスの向上	589	21.8%
市役所窓口の受付時間の延長	558	20.6%
市民の声を聴く公聴活動等の充実	464	17.1%
市職員の育成	437	16.1%
適切な市職員数の管理	396	14.6%
インターネットによる電子申請の拡充	339	12.5%
市情報提供の充実	331	12.2%
中・長期的展望に立った適正な財政運営	320	11.8%
市政への市民参加の拡充	301	11.1%
行財政改革の推進による効率的な行政運営	257	9.5%
民間事業者による公共施設整備・管理	253	9.3%
情報公開制度の適正な運営	215	7.9%
その他	18	0.7%
合計	4,478	—

\*注1：複数回答可能(2項目まで)のため、回答数の合計値は回収数を上回る。

\*注2：「選択割合」は回収数(=2,707票)に対する各類型項目の回答数の割合である。



## ○ 地区別集計結果

「行政サービスの向上」を望む回答と「市役所窓口の受付時間の延長」を望む回答を第1位に選ぶ地区とに分かれている。

類型	充実が要望されている上位3項目		
	第1位	第2位	第3位
筑波地区 (n=331)	行政サービスの向上 (84件 25.4%)	適切な市職員数の管理 (64件 19.3%)	市役所窓口の受付時間の延長 (63件 19.0%)
大穂地区 (n=256)	市役所窓口の受付時間の延長 (53件 20.7%)	行政サービスの向上 (51件 19.9%)	市民の声を聴く公聴活動等の充実 (49件 19.1%)
豊里地区 (n=277)	市役所窓口の受付時間の延長 (68件 24.5%)	市職員の育成 (58件 20.9%)	市民の声を聴く公聴活動等の充実 (54件 19.5%)
桜地区 (n=318)	行政サービスの向上 (69件 21.7%)	市民の声を聴く公聴活動等の充実 (59件 18.6%)	市職員の育成 (53件 16.7%)
谷田部地区 (n=440)	行政サービスの向上 (102件 23.2%)	市役所窓口の受付時間の延長 (90件 20.5%)	市民の声を聴く公聴活動等の充実 (77件 17.5%)
葦崎地区 (n=344)	行政サービスの向上 (79件 23.0%)	市民の声を聴く公聴活動等の充実 (71件 20.6%)	市役所窓口の受付時間の延長 (59件 17.2%)
学園地区 (n=599)	市役所窓口の受付時間の延長 (153件 25.5%)	インターネットによる電子申請の拡充 (136件 22.7%)	行政サービスの向上 (134件 22.4%)

\*注：()内の%は地区回収数(=n)に対する各項目の回答数の割合である。

## 2-5 記述式回答の結果

つくば市の「良いところ」「悪いところ」及び「自由意見」についての回答は、極めて多岐にわたっている。その内容は別冊の参考資料に一覧表形式で整理しているが、大きく類型化すると、以下に示すとおりである。

なお、以下表中の「選択割合」は「良いところ」「悪いところ」及び「自由意見」の回答数合計に対する各類型項目の回答数の割合である。

## I つくば市の「良いところ」

つくば市の「良いところ」に関する回答は 1,325 件寄せられている。これらの意見について、総括するとともに総合計画の体系に従い整理した。

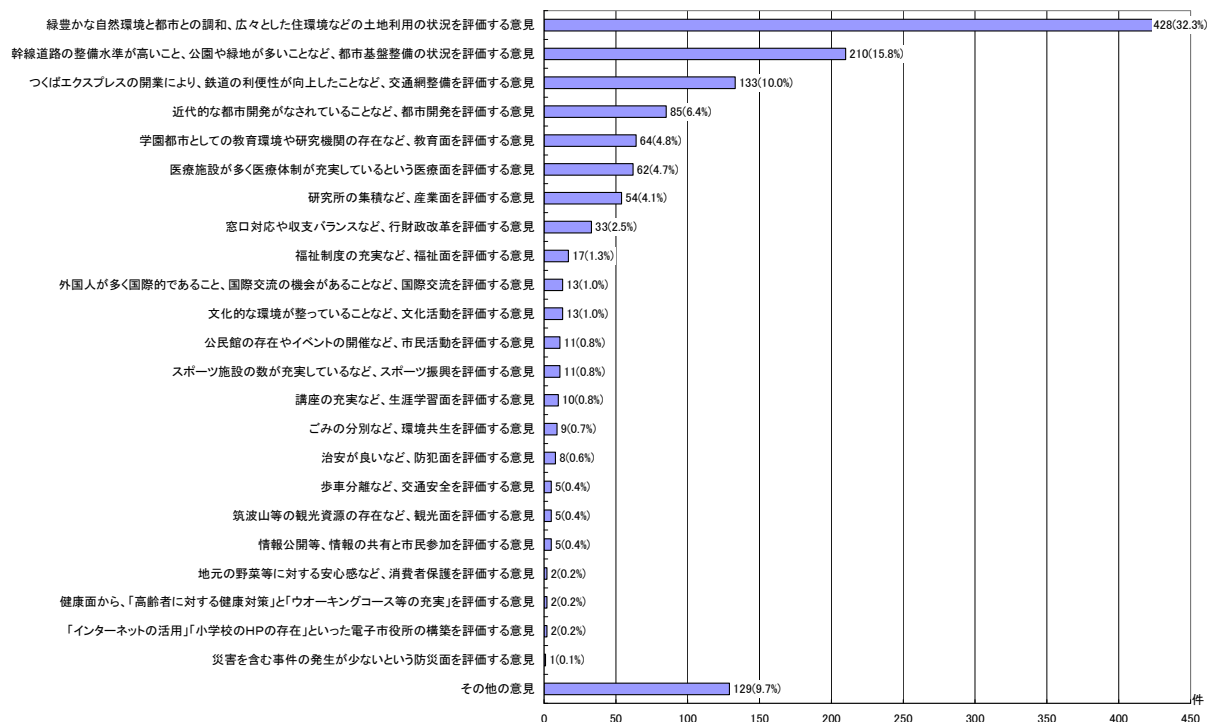
全体では、「緑豊かな自然環境と都市との調和、広々とした住環境などの土地利用の状況を評価する意見」が 428 件（32.3%）と最も多く、次いで「幹線道路の整備水準が高いこと、公園や緑地が多いことなど、都市基盤整備の状況を評価する意見」が 210 件（15.8%）、「つくばエクスプレスの開業により、鉄道の利便性が向上したことなど、交通網整備の状況を評価する意見」が 133 件（10.0%）と続いている。

### ○ 総括表

回答者総数 1,325 件

NO	類型	回答数(件)	選択割合(%)
1	緑豊かな自然環境と都市との調和、広々とした住環境などの土地利用の状況を評価する意見	428	32.3%
2	幹線道路の整備水準が高いこと、公園や緑地が多いことなど、都市基盤整備の状況を評価する意見	210	15.8%
3	つくばエクスプレスの開業により、鉄道の利便性が向上したことなど、交通網整備を評価する意見	133	10.0%
4	近代的な都市開発がなされていることなど、都市開発を評価する意見	85	6.4%
5	学園都市としての教育環境や研究機関の存在など、教育面を評価する意見	64	4.8%
6	医療施設が多く医療体制が充実しているという医療面を評価する意見	62	4.7%
7	研究所の集積など、産業面を評価する意見	54	4.1%
8	窓口対応や収支バランスなど、行財政改革を評価する意見	33	2.5%
9	福祉制度の充実など、福祉面を評価する意見	17	1.3%
10	外国人が多く国際的であること、国際交流の機会があることなど、国際交流を評価する意見	13	1.0%
11	文化的な環境が整っていることなど、文化活動を評価する意見	13	1.0%
12	公民館の存在やイベントの開催など、市民活動を評価する意見	11	0.8%
13	スポーツ施設の数が増えているなど、スポーツ振興を評価する意見	11	0.8%

NO	類型	回答数(件)	選択割合(%)
14	講座の充実など、生涯学習面を評価する意見	10	0.8%
15	ごみの分別など、環境共生を評価する意見	9	0.7%
16	治安が良いなど、防犯面を評価する意見	8	0.6%
17	歩車分離など、交通安全を評価する意見	5	0.4%
18	筑波山等の観光資源の存在など、観光面を評価する意見	5	0.4%
19	情報公開等、情報の共有と市民参加を評価する意見	5	0.4%
20	地元の野菜等に対する安心感など、消費者保護を評価する意見	2	0.2%
21	健康面から、「高齢者に対する健康対策」と「ウォーキングコース等の充実」を評価する意見	2	0.2%
22	「インターネットの活用」「小学校のHPの存在」といった電子市役所の構築を評価する意見	2	0.2%
23	災害を含む事件の発生が少ないという防災面を評価する意見	1	0.1%
24	その他の意見	129	9.7%



## ○総合計画の体系ごとの分類

### (1)「自然と都市が調和した快適で住み良いまちづくり」関連 (638 件)

類型	回答数 (件)	選択割合 (%)
①緑豊かな自然環境と都市との調和, 広々とした住環境などの土地利用の状況を評価する意見	428	32.3%
②幹線道路の整備水準が高いこと, 公園や緑地が多いことなど, 都市基盤整備の状況を評価する意見	210	15.8%

### (2)「つくばエクスプレスをいかした活力のあるまちづくり」関連 (218 件)

類型	回答数 (件)	選択割合 (%)
①つくばエクスプレスの開業により, 鉄道の利便性が向上したことなど, 交通網整備を評価する意見	133	10.0%
②近代的な都市開発がなされていることなど, 都市開発を評価する意見	85	6.4%

### (3)「環境に優しく人と文化がふれあうまちづくり」関連 (59 件)

類型	回答数 (件)	選択割合 (%)
①公民館の存在やイベントの開催など, 市民活動を評価する意見	11	0.8%
②外国人が多く国際的であること, 国際交流の機会があることなど, 国際交流を評価する意見	13	1.0%
③文化的な環境が整っていることなど, 文化活動を評価する意見	26	2.0%
④ごみの分別など, 環境共生を評価する意見	9	0.7%

### (4)「災害や犯罪に強い安全なまちづくり」関連 (16 件)

類型	回答数 (件)	選択割合 (%)
①治安が良いなど, 防犯面を評価する意見	8	0.6%
②災害を含む事件の発生が少ないという防災面を評価する意見	1	0.1%
③歩車分離など, 交通安全を評価する意見	5	0.4%
④地元の野菜等に対する安心感など, 消費者保護を評価する意見	2	0.2%



(5)「互いに助け合う心安らくまちづくり」関連 (81 件)

類型	回答数 (件)	選択割合 (%)
①福祉制度の充実など、福祉面を評価する意見	17	1.3%
②健康面から、「高齢者に対する健康対策」と「ウォーキングコース等の充実」を評価する意見	2	0.2%
③医療施設が多く医療体制が充実しているという医療面を評価する意見	62	4.7%

(6)「安定した暮らしを支える生き生きとしたまちづくり」関連 (59 件)

類型	回答数 (件)	選択割合 (%)
①研究所の集積など、産業面を評価する意見	54	4.1%
②筑波山等の観光資源の存在など、観光面を評価する意見	5	0.4%

(7)「健やかな人を育む教育・スポーツのまちづくり」関連 (85 件)

類型	回答数 (件)	選択割合 (%)
①学園都市としての教育環境や研究機関の存在など、教育面を評価する意見	64	4.8%
②講座の充実など、生涯学習面を評価する意見	10	0.8%
③スポーツ施設の数が増えているなど、スポーツ振興を評価する意見	11	0.8%

(8)「効率的・効果的で健全な都市経営」関連 (40 件)

類型	回答数 (件)	選択割合 (%)
①窓口対応や収支バランスなど、行財政改革を評価する意見	33	2.5%
②「インターネットの活用」「小学校のHPの存在」といった電子市役所の構築を評価する意見	2	0.2%
③情報公開等、情報の共有と市民参加を評価する意見	5	0.4%

(9)「その他」(129 件)

類型	回答数 (件)	選択割合 (%)
その他の意見	129	9.7%

## Ⅱ つくば市の「悪いところ」

つくば市の「悪いところ」に関する回答は 1,359 件寄せられている。これらの意見について、総括するとともに総合計画の体系に従い整理した。

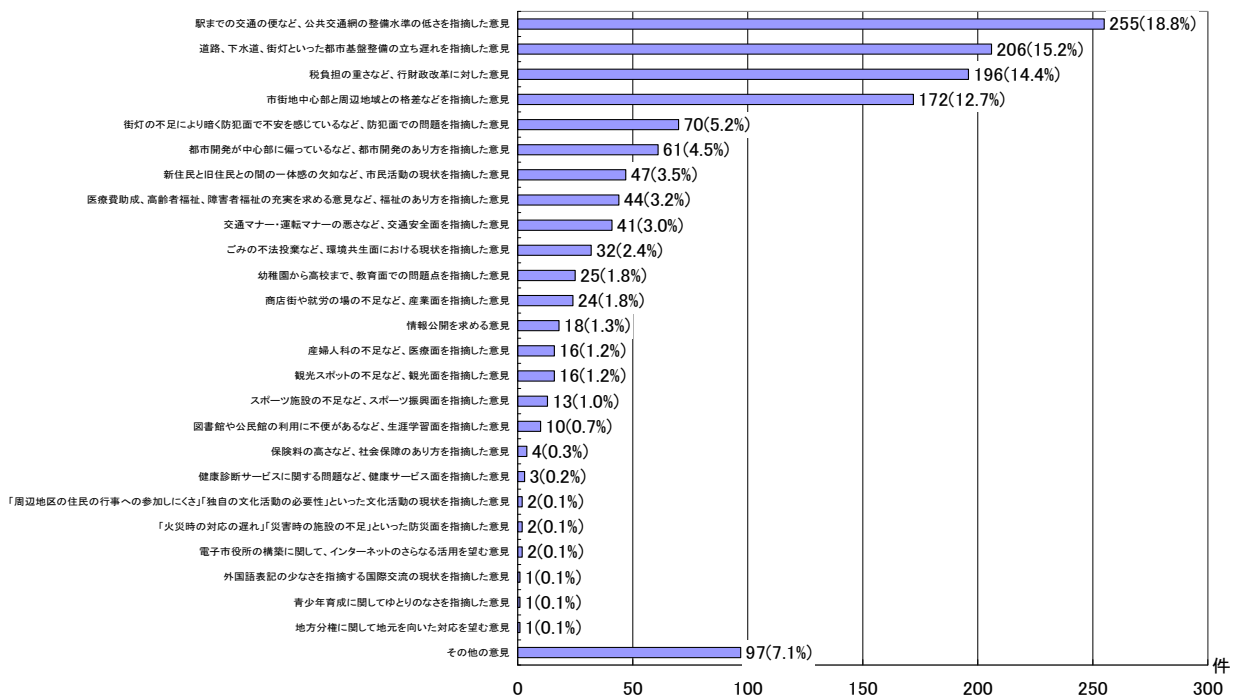
全体では、「駅までの交通の便など、公共交通網の整備水準の低さを指摘した意見」が 255 件（18.8%）と最も多く、次いで「道路、下水道、街灯といった都市基盤整備の立ち後れを指摘した意見」が 206 件（15.2%）、「税負担の重さなど、行財政改革に対する意見」が 196 件（14.4%）となっている。

### ○ 総括表

回答者総数 1,359件

NO	類型	回答数(件)	選択割合(%)
1	駅までの交通の便など、公共交通網の整備水準の低さを指摘した意見	255	18.8%
2	道路、下水道、街灯といった都市基盤整備の立ち遅れを指摘した意見	206	15.2%
3	税負担の重さなど、行財政改革に対する意見	196	14.4%
4	市街地中心部と周辺地域との格差などを指摘した意見	172	12.7%
5	街灯の不足により暗く防犯面で不安を感じているなど、防犯面での問題を指摘した意見	70	5.2%
6	都市開発が中心部に偏っているなど、都市開発のあり方を指摘した意見	61	4.5%
7	新住民と旧住民との間の一体感の欠如など、市民活動の現状を指摘した意見	47	3.5%
8	医療費助成、高齢者福祉、障害者福祉の充実を求める意見など、福祉のあり方を指摘した意見	44	3.2%
9	交通マナー・運転マナーの悪さなど、交通安全面を指摘した意見	41	3.0%
10	ごみの不法投棄など、環境共生面における現状を指摘した意見	32	2.4%
11	幼稚園から高校まで、教育面での問題点を指摘した意見	25	1.8%
12	商店街や就労の場の不足など、産業面を指摘した意見	24	1.8%
13	情報公開を求める意見	18	1.3%
14	産婦人科の不足など、医療面を指摘した意見	16	1.2%
15	観光スポットの不足など、観光面を指摘した意見	16	1.2%

NO	類型	回答数(件)	選択割合(%)
16	スポーツ施設の不足など、スポーツ振興面を指摘した意見	13	1.0%
17	図書館や公民館の利用に不便があるなど、生涯学習面を指摘した意見	10	0.7%
18	保険料の高さなど、社会保障のあり方を指摘した意見	4	0.3%
19	健康診断サービスに関する問題など、健康サービス面を指摘した意見	3	0.2%
20	「周辺地区の住民の行事への参加しにくさ」「独自の文化活動の必要性」といった文化活動の現状を指摘した意見	2	0.1%
21	「火災時の対応の遅れ」「災害時の施設の不足」といった防災面を指摘した意見	2	0.1%
22	電子市役所の構築に関して、インターネットのさらなる活用を望む意見	2	0.1%
23	外国語表記の少なさを指摘する国際交流の現状を指摘した意見	1	0.1%
24	青少年育成に関してゆとりのなさを指摘した意見	1	0.1%
25	地方分権に関して地元を向いた対応を望む意見	1	0.1%
26	その他の意見	97	7.1%



## ○総合計画の体系ごとの分類

### (1)「自然と都市が調和した快適で住み良いまちづくり」関連 (378件)

類型	回答数(件)	選択割合(%)
①市街地中心部と周辺地域との格差などを指摘した意見	172	12.7%
②道路、下水道、街灯といった都市基盤整備の立ち遅れを指摘した意見	206	15.2%

### (2)「つくばエクスプレスをいかした活力のあるまちづくり」関連 (316件)

類型	回答数(件)	選択割合(%)
①駅までの交通の便など、公共交通網の整備水準の低さを指摘した意見	255	18.8%
②都市開発が中心部に偏っているなど、都市開発のあり方を指摘した意見	61	4.5%

### (3)「環境に優しく人と文化がふれあうまちづくり」関連 (82件)

類型	回答数(件)	選択割合(%)
①新住民と旧住民との間の一体感の欠如など、市民活動の現状を指摘した意見	47	3.5%
②外国語表記の少なさを指摘する国際交流の現状を指摘した意見	1	0.1%
③「周辺地区の住民の行事への参加しにくさ」「独自の文化活動の必要性」といった文化活動の現状を指摘した意見	2	0.1%
④ごみの不法投棄など、環境共生面における現状を指摘した意見	32	2.4%

### (4)「災害や犯罪に強い安全なまちづくり」関連 (113件)

類型	回答数(件)	選択割合(%)
①街灯の不足により暗く防犯面で不安を感じているなど、防犯面での問題を指摘した意見	70	5.2%
②「火災時に対応の遅れ」「災害時の施設の不足」といった防災面を指摘した意見	2	0.1%
③交通マナー・運転マナーの悪さなど、交通安全面を指摘した意見	41	3.0%

(5)「互いに助け合う心安らくまちづくり」関連 (67件)

類型	回答数 (件)	選択割合 (%)
①医療費助成, 高齢者福祉, 障害者福祉の充実を求める意見など, 福祉のあり方を指摘した意見	44	3.2%
②健康診断サービスに関する問題など, 健康サービス面を指摘した意見	3	0.2%
③産婦人科の不足など, 医療面を指摘した意見	16	1.2%
④保険料の高さなど, 社会保障のあり方を指摘した意見	4	0.3%

(6)「安定した暮らしを支える生き生きとしたまちづくり」関連 (40件)

類型	回答数 (件)	選択割合 (%)
①商店街や就労の場の不足など, 産業面を指摘した意見	24	1.8%
②観光スポットの不足など, 観光面を指摘した意見	16	1.2%

(7)「健やかな人を育む教育・スポーツのまちづくり」関連 (49件)

類型	回答数 (件)	選択割合 (%)
①幼稚園から高校まで, 教育面での問題点を指摘した意見	25	1.8%
②青少年育成に関してゆとりのなさを指摘した意見	1	0.1%
③図書館や公民館の利用に不便があるなど, 生涯学習面を指摘した意見	10	0.7%
④スポーツ施設の不足など, スポーツ振興面を指摘した意見	13	1.0%

(8)「効率的・効果的で健全な都市経営」関連 (217件)

類型	回答数 (件)	選択割合 (%)
①税負担の重さなど, 行財政改革に対する意見	196	14.4%
②電子市役所の構築に関して, インターネットのさらなる活用を望む意見	2	0.1%
③地方分権に関して地元を向いた対応を望む意見	1	0.1%
④情報公開を求める意見	18	1.3%

(9)「その他」(97件)

類型	回答数 (件)	選択割合 (%)
その他の意見	97	7.1%

### Ⅲ 自由意見

「自由意見」の回答数は 1,270 件である。これらの意見について、総括するとともに総合計画の体系に従い整理した。

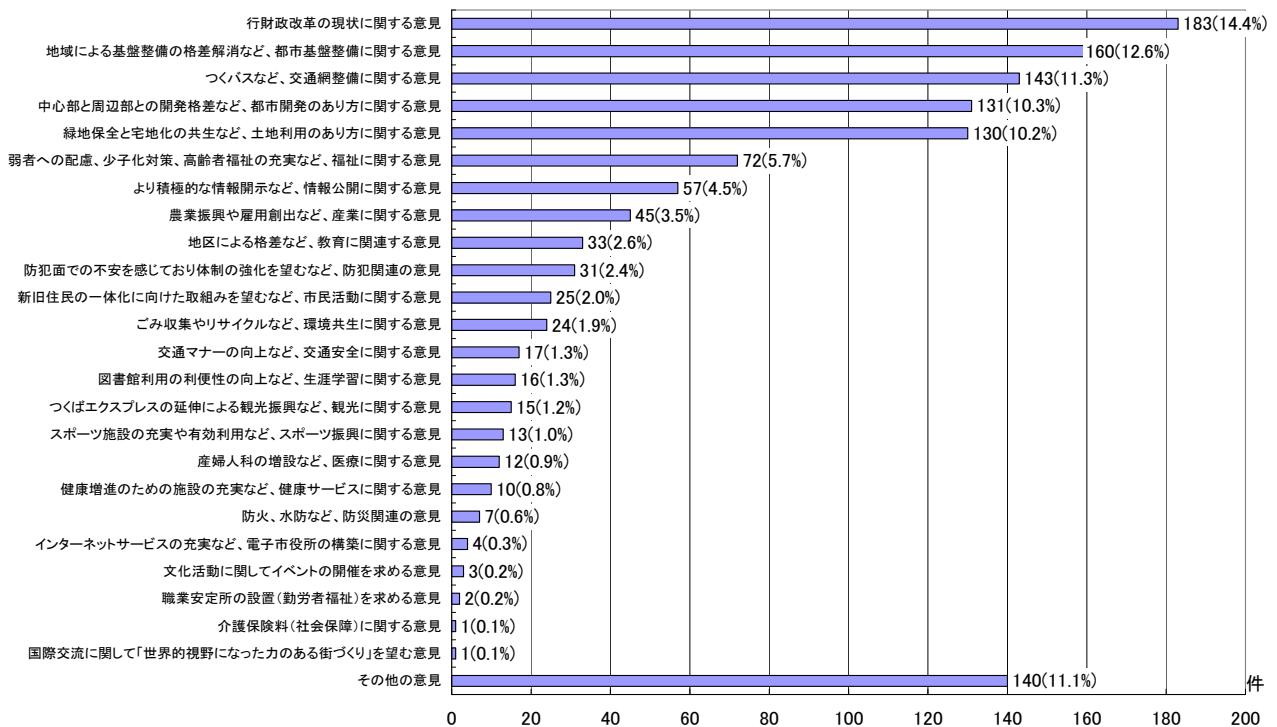
全体では、「行財政改革の現状に関する意見」が 183 件（14.4%）と最も高く、次いで、「地域による基盤整備の格差解消など、都市基盤整備に関する意見」が 160 件（12.6%）,「つくバスなど、交通網整備に関する意見」が 143 件（11.3%）と続いている。

#### ○ 総括表

回答者総数 1,270件

NO	類型	回答数(件)	選択割合(%)
1	行財政改革の現状に関する意見	183	14.4%
2	地域による基盤整備の格差解消など、都市基盤整備に関する意見	160	12.6%
3	つくバスなど、交通網整備に関する意見	143	11.3%
4	中心部と周辺部との開発格差など、都市開発のあり方に関する意見	131	10.3%
5	緑地保全と宅地化の共生など、土地利用のあり方に関する意見	130	10.2%
6	弱者への配慮、少子化対策、高齢者福祉の充実など、福祉に関する意見	72	5.7%
7	より積極的な情報開示など、情報公開に関する意見	57	4.5%
8	農業振興や雇用創出など、産業に関する意見	45	3.5%
9	地区による格差など、教育に関連する意見	33	2.6%
10	防犯面での不安を感じており体制の強化を望むなど、防犯関連の意見	31	2.4%
11	新旧住民の一体化に向けた取組みを望むなど、市民活動に関する意見	25	2.0%
12	ごみ収集やリサイクルなど、環境共生に関する意見	24	1.9%
13	交通マナーの向上など、交通安全に関する意見	17	1.3%
14	図書館利用の利便性の向上など、生涯学習に関する意見	16	1.3%
15	つくばエクスプレスの延伸による観光振興など、観光に関する意見	15	1.2%

NO	類型	回答数(件)	選択割合(%)
16	スポーツ施設の充実や有効利用など、スポーツ振興に関する意見	13	1.0%
17	産婦人科の増設など、医療に関する意見	12	0.9%
18	健康増進のための施設の充実など、健康サービスに関する意見	10	0.8%
19	防火、水防など、防災関連の意見	7	0.6%
20	インターネットサービスの充実など、電子市役所の構築に関する意見	4	0.3%
21	文化活動に関してイベントの開催を求める意見	3	0.2%
22	職業安定所の設置（勤労者福祉）を求める意見	2	0.2%
23	介護保険料（社会保障）に関する意見	1	0.1%
24	国際交流に関して「世界的視野になった力のある街づくり」を望む意見	1	0.1%
25	その他の意見	140	11.0%



## ○総合計画の体系ごとの分類

### (1)「自然と都市が調和した快適で住み良いまちづくり」関連 (290件)

類型	回答数(件)	選択割合(%)
①緑地保全と宅地化の共生など、土地利用のあり方に関する意見	130	10.2%
②地域による基盤整備の格差解消など、都市基盤整備に関する意見	160	12.6%

### (2)「つくばエクスプレスをいかした活力のあるまちづくり」関連 (274件)

類型	回答数(件)	選択割合(%)
①つくバスなど、交通網整備に関する意見	143	11.3%
②中心部と周辺部との開発格差など、都市開発のあり方に関する意見	131	10.3%

### (3)「環境に優しく人と文化がふれあうまちづくり」関連 (53件)

類型	回答数(件)	選択割合(%)
①新旧住民の一体化に向けた取組みを望むなど、市民活動に関する意見	25	2.0%
②国際交流に関して「世界的視野になった力のある街づくり」を望む意見	1	0.1%
③文化活動に関してイベントの開催を求める意見	3	0.2%
④ごみ収集やリサイクルなど、環境共生に関する意見	24	1.9%

### (4)「災害や犯罪に強い安全なまちづくり」関連 (45件)

類型	回答数(件)	選択割合(%)
①防犯面での不安を感じており体制の強化を望むなど、防犯関連の意見	31	2.4%
②防火、水防など、防災関連の意見	7	0.6%
③交通マナーの向上など、交通安全に関する意見	17	1.3%

### (5)「互いに助け合う心安らくまちづくり」関連 (95件)

類型	回答数(件)	選択割合(%)
①弱者への配慮、少子化対策、高齢者福祉の充実など、福祉に関する意見	72	5.7%
②健康増進のための施設の充実など、健康サービスに関する意見	10	0.8%
③産婦人科の増設など、医療に関する意見	12	0.9%
④介護保険料(社会保障)に関する意見	1	0.1%



(6)「安定した暮らしを支える生き生きとしたまちづくり」関連 (62件)

類型	回答数(件)	選択割合(%)
①農業振興や雇用創出など、産業に関する意見	45	3.5%
②つくばエクスプレスの延伸による観光振興など、観光に関する意見	15	1.2%
③職業安定所の設置(勤労者福祉)を求める意見	2	0.2%

(7)「健やかな人を育む教育・スポーツのまちづくり」関連 (62件)

類型	回答数(件)	選択割合(%)
①地区による格差など、教育に関連する意見	33	2.6%
②図書館利用の利便性の向上など、生涯学習に関する意見	16	1.3%
③スポーツ施設の充実や有効利用など、スポーツ振興に関する意見	13	1.0%

(8)「効率的・効果的で健全な都市経営」関連 (244件)

類型	回答数(件)	選択割合(%)
①行財政改革の現状に関する意見	183	14.4%
②インターネットサービスの充実など、電子市役所の構築に関する意見	4	0.3%
③より積極的な情報開示など、情報公開に関する意見	57	4.5%

(9)「その他」(140件)

類型	回答数(件)	選択割合(%)
その他の意見	140	11.0%

## 参考資料 アンケート票

### ①協力依頼文

#### 市民意識調査について（お願い）

皆様には、日頃より市政に対してご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

つくば市では、平成16年度に第3次つくば市総合計画を策定し、市民が愛着を持ち、安全に、安心して、快適に暮らせる「健康で健全なまち・つくば」を目指し、まちづくりを進めているところです。

今回、その総合計画の前期基本計画に掲げられている施策及び主要施策（少子・高齢化、環境・地球温暖化、安心・安全なまちづくり）について、市民の皆様が何を重要と考えておられるか、またその取り組みに対しどのような評価をしておられるかをお伺いし、後期基本計画策定の資料とするため市民意識調査を実施することとしました。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成21年3月

つくば市長 市原 健一

#### ご回答にあたってのお願い

- ・ この調査は、20歳以上の市民の方から無作為に5千人を選ばせていただき、調査票を郵送させていただきました。
- ・ ご回答の内容は、統計的に処理いたしますので、個人情報の保護はもとより、他の目的には利用いたしませんので、ご安心ください。
- ・ ご本人（アンケートのあて名の方）がご記入ください（どなたかに代筆していただいても結構です）。それも無理な場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。
- ・ 調査票へのご記入は、20分程度で終わります。
- ・ 調査票をご記入後は、同封の返信用封筒に入れて、3月22日（日）までに切手を貼らずに郵便ポストに投かんしてください。

このアンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いいたします

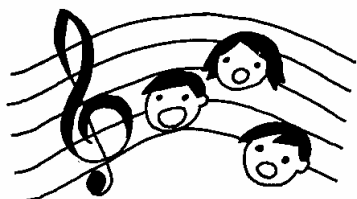
つくば市市長公室 行政経営課 行政経営グループ  
TEL 029-836-1111（内線2735）  
Fax 029-836-9474

②アンケート票

送付したアンケート票は、以下に示すとおりである。

平成 20 年度 つくば市 市民意識調査票

平成 21 年 (2009 年) 3 月



## 平成 20 年度 つくば市 市民意識調査票

1. まず、現在お住まいの環境やつくば市の市政運営全般についておたずねします。

問1 あなたは、以前（10 年位前）と比べて、つくば市が住み良くなったと思いますか。次の中からお選びください（あてはまる番号に○をつけてください。問2 以下も同様です。）。また、その理由があれば（ ）にご記入ください。（○は1つ）

- 1 住み良くなった
  - 2 どちらかと言えば住み良くなった
  - 3 あまり変わらない
  - 4 どちらかと言えば住みにくくなった
  - 5 住み始めて日が浅いのでよくわからない
- （理由： ）

問2 あなたは、これからもつくば市に住み続けたいと思いますか。次の中からお選びください。また、その理由があれば（ ）にご記入ください。（○は1つ）

- 1 住み続けたい
  - 2 どちらかと言えば住み続けたい
  - 3 どちらかと言えば住み続けたくない
  - 4 住み続けたくない
  - 5 どちらともいえない
- （理由： ）

問3 市の市政情報（市の出来事や各種手続きに関する情報等）は十分伝わっていると思いますか。次の中からお選びください。（○は1つ）

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 十分伝わっている   | 4 あまり伝わっていない  |
| 2 まあまあ伝わっている | 5 ほとんど伝わっていない |
| 3 どちらともいえない  |               |

問4 市の市政情報を何から得ていますか。次の中から該当するものすべてを選びください。(〇はいくつでも)

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1 広報つくば         | 9 市のホームページ         |
| 2 市民べんり帳        | 10 HP 以外のインターネット情報 |
| 3 FM ラヂオつくば     | 11 公共施設にあるチラシ、ポスター |
| 4 ラジオ           | 12 民間の情報誌          |
| 5 ケーブルテレビ(ACCS) | 13 情報公開コーナー        |
| 6 テレビ           | 14 直接担当課から         |
| 7 新聞記事          | 15 その他 ( )         |
| 8 自治会の回覧        |                    |

問5 つくば市の「優れている点」、「劣っている点」は何だと思えますか。次の中からそれぞれ3つまで選び ( ) 内にご記入ください。

「優れている点」の番号	( )	( )	( )
「劣っている点」の番号	( )	( )	( )

- |                |            |
|----------------|------------|
| 1 人づきあい        | 13 子育て環境   |
| 2 市全体のまとまり     | 14 教育環境    |
| 3 まちづくりの方向性    | 15 スポーツ環境  |
| 4 通勤・通学の便      | 16 文化的環境   |
| 5 買い物の便        | 17 余暇活動の環境 |
| 6 交通の便         | 18 食の環境    |
| 7 銀行など金融機関の便   | 19 医療環境    |
| 8 市役所などの行政官庁の便 | 20 就業の場    |
| 9 研究学園地区の雰囲気   | 21 道路整備環境  |
| 10 田園集落地区の雰囲気  | 22 防犯      |
| 11 自然環境        | 23 防災      |
| 12 福祉環境        | 24 その他 ( ) |

問6 市政全般において、特に力を入れてほしいと思う施策は何だと思えますか。  
次の中から3つまでお選びください。(○は3つまで)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 学校教育         | 18 自然環境の保護       |
| 2 青少年の健全育成     | 19 地球温暖化対策       |
| 3 生涯学習         | 20 清掃事業（ごみ、し尿処理） |
| 4 文化施設・文化事業    | 21 公害対策          |
| 5 スポーツの振興      | 22 不法投棄対策        |
| 6 国際化の推進       | 23 公園・緑化         |
| 7 コミュニティづくり    | 24 道路整備          |
| 8 男女共同参画社会づくり  | 25 上下水道          |
| 9 保健・医療        | 26 都市景観          |
| 10 介護保険        | 27 農業の振興         |
| 11 社会福祉        | 28 商工業の振興        |
| 12 高齢者福祉       | 29 観光の振興         |
| 13 障害者福祉       | 30 就業の場の拡大       |
| 14 少子化対策・子育て支援 | 31 住宅対策          |
| 15 交通安全対策      | 32 電子自治体の推進      |
| 16 防犯対策        | 33 行財政改革         |
| 17 防災対策        | 34 その他（          |
|                | 35 特にない          |

問7 市が進めている行財政改革において、特に力を入れてほしいと思う施策は何だと思えますか。次の中から2つまでお選びください。(○は2つまで)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 市民意見の市政への反映 | 7 出資団体の改革・改善  |
| 2 市政への市民参加の充実 | 8 職員数の削減      |
| 3 民間活力の導入     | 9 職員待遇の向上     |
| 4 公共施設の利便性の向上 | 10 事務事業の改善    |
| 5 公共事業の削減     | 11 市政情報の提供・公開 |
| 6 公共事業の拡大     | 12 その他（       |

問8 市職員の仕事への取り組み方について、何が重要だと思いますか。次の中から2つまでお選びください。(〇は2つまで)

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1 公平・公正さ   | 6 柔軟な発想        |
| 2 正確・迅速な対応 | 7 強い責任感        |
| 3 接客態度     | 8 職務遂行意欲       |
| 4 市民との対話   | 9 市民の生活感覚を意識する |
| 5 コスト意識    | 10 その他 ( )     |

問9 市内の医療供給体制(病院数、診療科目など)についてどう思いますか。次の中からお選びください。(〇は1つ)

また、3に回答された方は、その理由を記入してください。

- |               |  |
|---------------|--|
| 1 充実していると思う   |  |
| 2 ほぼ充実していると思う |  |
| 3 充実していないと思う  |  |
| 理由 ( )        |  |
| 4 どちらともいえない   |  |

問 10 つくば市には市立病院(つくば市北条)があります。あなたは、市立病院で受診されたことがありますか。次の中からお選びください。(〇は1つ)

- |                |
|----------------|
| 1 現在も受診している    |
| 2 過去に受診したことがある |
| 3 受診したことがない    |

問 11 税金や保険料などの金銭的な負担と、受けられる行政サービスの水準との関係は、どうあってほしいと思いますか。次の中からお選びください。(〇は1つ)

- |   |
|---|
| 1 負担が増えても現在以上の行政サービスを望む                     |
| 2 負担は現在程度のみで、現在の水準の行政サービスを望む                |
| 3 負担は減らしてほしい。そのことによって、多少サービス水準が低くなくてもやむを得ない |
| 4 どちらともいえない                                 |

## 2. 次に、つくば市が進めている主要施策についておたずねします。

問 12 市では少子・高齢化対策を重要課題であると認識して、次のような施策を推進しているところです。どの施策が特に重要だと思いますか。次の中から2つまでお選びください。(○は2つまで)

- 1 高齢者に対する健康支援や在宅サービス
- 2 高齢者の健康づくり
- 3 高齢者生きがい活動の支援事業
- 4 高齢者医療保険制度、介護保険制度の充実
- 5 妊婦健康診査への助成の拡充
- 6 未就学児の医療費助成
- 7 保育所、児童館、子育て支援センターなど児童福祉施設の充実
- 8 子育てに関する相談体制の充実
- 9 その他 ( )

問 13 環境・地球温暖化対策については、どの施策が特に重要だと思いますか。次の中から2つまでお選びください。(○は2つまで)

- 1 環境美化活動の推進
- 2 自転車のまちづくりの推進
- 3 環境に対する啓発事業
- 4 レジ袋削減など身近な取り組みの推進
- 5 省エネルギーの推進
- 6 自然エネルギーの活用
- 7 遊休農地の活用、里山の保全
- 8 水を汚さない環境づくり
- 9 リサイクルの推進
- 10 その他 ( )



問 14 安心・安全なまちづくりについては、どの施策が特に重要であると思いますか。次の中から2つまでお選びください。(○は2つまで)

- 1 防災意識の高揚
- 2 災害予防の推進
- 3 防犯体制の整備
- 4 防犯施設の整備
- 5 消防・救急体制の充実
- 6 交通安全体制の整備
- 7 通学路の安全確保
- 8 消費トラブルに対する相談や啓発活動
- 9 医療体制の充実
- 10 食の安全確保
- 11 その他 ( )

3. 次に、つくば市が現在の総合計画に基づいて進めている個別のまちづくり施策についておたずねします。

ここでは、つくば市が現在の基本構想で掲げている8つの政策分野ごとに定められている個別の施策についてお伺いします。

\*なお、総合計画の詳細をご覧になりたい方は、市のホームページに掲載してあります。

<http://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/13/883/002318.html>

問 15 「自然と都市が調和した快適で住み良いまちづくり（土地利用と都市基盤整備）」の中で取り組んでいる次の施策のうち、「特に重要な施策」「進んでいると思う施策」「もっと充実してほしい施策」は何だと思えますか。選択肢の中から該当する番号を、それぞれ2つまで選び（ ）内にご記入ください。

「特に重要な施策」の番号	( )	( )
「進んでいる施策」の番号	( )	( )
「充実してほしい施策」の番号	( )	( )

- 1 道路の整備
- 2 河川・水辺の整備
- 3 公園・緑地の整備
- 4 平地林・樹木の保全と活用
- 5 市街地景観の整備
- 6 田園景観の保全
- 7 居住環境の整備
- 8 地域にあった土地利用の推進
- 9 中心市街地の形成
- 10 市営住宅の整備
- 11 上水道整備
- 12 下水道の整備
- 13 合併浄化槽の設置促進
- 14 その他 ( )

問 16 「つくばエクスプレスをいかした活力のあるまちづくり（交通網整備と都市開発）」についてはいかがですか。問 15 と同様に，該当する番号を，それぞれ2つまで選び（ ）内にご記入ください。

「特に重要な施策」の番号	( )	( )
「進んでいる施策」の番号	( )	( )
「充実してほしい施策」の番号	( )	( )

- 1 バス交通の充実
- 2 駅前駐車場の整備
- 3 駅前駐輪場の整備
- 4 つくば駅周辺の歩行者道路の再整備
- 5 つくば駅前広場の整備
- 6 駅周辺のバリアフリー化
- 7 自転車用レーンの整備
- 8 沿線開発地域の環境に優しいまちづくり
- 9 いろいろな働く機会の確保
- 10 沿線開発地区における，田園環境をいかしたまちづくり
- 11 新しい産業の創出・育成
- 12 国際会議の誘致
- 13 その他（ )

問 17 「環境に優しく人と文化がふれあうまちづくり（市民活動・国際交流・文化活動・環境共生）」についてはいかがですか。同様に、該当する番号を、それぞれ2つまで選び（ ）内にご記入ください。

「特に重要な施策」の番号	( )	( )
「進んでいる施策」の番号	( )	( )
「充実してほしい施策」の番号	( )	( )

- 1 市民のまちづくり参加の充実
- 2 地区集会所整備の支援
- 3 地域での防犯，防災活動の強化
- 4 男女共同の社会づくり
- 5 国際交流の促進
- 6 文化・芸術の振興
- 7 環境に対する啓発事業
- 8 環境を保護する活動の支援
- 9 遊休農地の活用，里山の保全
- 10 水を汚さない環境づくり
- 11 リサイクルの推進
- 12 不法投棄の防止
- 13 省エネルギーの推進
- 14 自然エネルギーの活用
- 15 公害を出さないための取り組み
- 16 その他（ )

問 18 「災害や犯罪に強い安全なまちづくり（防犯・防災・交通安全・消費者保護）」についてはいかがですか。同様に、該当する番号を、それぞれ 2 つまで選び（ ）内にご記入ください。

「特に重要な施策」の番号	( )	( )
「進んでいる施策」の番号	( )	( )
「充実してほしい施策」の番号	( )	( )

- 1 危機管理体制の整備
- 2 防犯施設の整備
- 3 防犯対策の強化
- 4 建物や構造物の耐震化
- 5 消防・救急体制の充実
- 6 避難場所の整備
- 7 食料等の備蓄品の確保
- 8 防災意識の高揚
- 9 交通安全教育
- 10 交通安全運動の推進
- 11 交通安全施設の整備
- 12 消費トラブルに対する相談や啓発活動
- 13 食の安全確保
- 14 その他 ( )

問 19 「互いに助け合う心安らぐまちづくり（福祉・健康・医療・社会保障）」  
 についてはいかがですか。同様に、該当する番号を、それぞれ 2 つまで選  
 び（ ）内にご記入ください。

「特に重要な施策」の番号	( )	( )
「進んでいる施策」の番号	( )	( )
「充実してほしい施策」の番号	( )	( )

- 1 地域福祉の充実
- 2 子育てに関する相談体制の充実
- 3 保育所，児童館，子育て支援センターなど児童福祉施設の充実
- 4 母子・父子家庭支援
- 5 高齢者に対する健康支援や在宅サービス
- 6 高齢者の健康づくり
- 7 高齢者生きがい活動支援
- 8 高齢者福祉施設の充実
- 9 高齢者医療保険制度の充実
- 10 介護保険制度の充実
- 11 障害者（児）の社会参加や就労への支援
- 12 障害者（児）福祉施設の充実
- 13 市民の健康づくり
- 14 疾病予防対策の充実
- 15 医療体制の充実
- 16 乳幼児医療費の助成
- 17 国民健康保険制度の充実
- 18 その他（ )

問 20 「安定した暮らしを支える生き生きとしたまちづくり（産業と観光振興・勤労者福祉）」についてはいかがですか。同様に、該当する番号を、それぞれ2つまで選び（ ）内にご記入ください。

「特に重要な施策」の番号	( )	( )
「進んでいる施策」の番号	( )	( )
「充実してほしい施策」の番号	( )	( )

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1 農業経営の安定化</li> <li>2 農業後継者の確保</li> <li>3 農業生産基盤の整備</li> <li>4 特産品の販売推進</li> <li>5 畜産の振興</li> <li>6 身近な商店街の活性化</li> <li>7 大規模な商業施設の充実</li> <li>8 中小事業者への支援</li> <li>9 企業の誘致</li> <li>10 観光の振興</li> <li>11 観光イベントの開催</li> <li>12 新しい技術や産業の開発への支援</li> <li>13 働く人の福祉・余暇活動の充実</li> <li>14 その他 ( )</li> </ul> |
|--|

問 21 「健やかな人を育む教育・スポーツのまちづくり（教育・青少年育成・生涯学習・文化振興）」についてはいかがですか。同様に、該当する番号を、それぞれ2つまで選び（ ）内にご記入ください。

「特に重要な施策」の番号	( )	( )
「進んでいる施策」の番号	( )	( )
「充実してほしい施策」の番号	( )	( )

- 1 幼児教育の充実
- 2 児童生徒への教育内容の充実
- 3 不登校やいじめなどに関する教育相談
- 4 学校教育施設の充実
- 5 学校教育施設の耐震化
- 6 安全で安心な学校給食
- 7 青少年の健やかな成長を支援する組織づくり
- 8 青少年が社会体験できる機会の拡充
- 9 生涯学習環境の充実
- 10 生涯学習施設の整備と活用
- 11 文化財の調査と保存
- 12 中央図書館や公民館図書室の充実
- 13 スポーツ施設の整備
- 14 総合運動公園の整備
- 15 その他（ )



問 22 「効率的・効果的で健全な都市経営（行財政改革・電子市役所の構築・地方分権への対応・情報の共有と市民参加）」についてはいかがですか。同様に、該当する番号を、それぞれ 2 つまで選び（ ）内にご記入ください。

「特に重要な施策」の番号	( )	( )
「進んでいる施策」の番号	( )	( )
「充実してほしい施策」の番号	( )	( )

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1 行財政改革の推進による効率的な行政運営</li> <li>2 適切な市職員数の管理</li> <li>3 中・長期的展望に立った適正な財政運営</li> <li>4 インターネットによる電子申請の拡充</li> <li>5 市役所窓口の受付時間の延長</li> <li>6 行政サービスの向上</li> <li>7 市職員の育成</li> <li>8 市情報提供の充実</li> <li>9 情報公開制度の適正な運営</li> <li>10 市民の声を聴く公聴活動等の充実</li> <li>11 民間事業者による公共施設整備・管理</li> <li>12 市政への市民参加の拡充</li> <li>13 その他 ( )</li> </ul> |
|--|

4. 次に、自己紹介をお願いします。

問 23 あなたの性別はどちらですか。次の中からお選びください。(〇は1つ)

- 1 男
- 2 女

問 24 あなたは、何歳ですか。次の中からお選びください。(〇は1つ)

- 1 20～29 歳
- 2 30～39 歳
- 3 40～49 歳
- 4 50～59 歳
- 5 60～69 歳
- 6 70 歳以上

問 25 あなたがお住まいの地区はどこですか。下の( )の中に町名をご記入ください。

\*ご住所：つくば市( )

記入例：春日 1 丁目 8 番地の場合 → ( 春日 1 丁目 )  
谷田部 4741 番地の場合 → ( 谷田部 )



【市のキャラクター「ツクツク」】

5. 次に、他の市町村と比べてつくば市の「良いところ」「悪いところ」があれば、ご記入ください。

良いところ： \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

悪いところ： \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

6. 最後に、自由意見をご記入ください。

【ご意見欄】 つくば市のまちづくりに関して、ご意見やご提案があればご記入ください。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

質問は以上です。お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

つくば市 市長公室行政経営課

〒305-8555 茨城県つくば市谷田部 4741

Phone 029 (836) 1111

Fax 029 (836) 9474

URL <http://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/>

E-mail [pln010@info.tsukuba.ibaraki.jp](mailto:pln010@info.tsukuba.ibaraki.jp)